

DURA PRINTER S1600

THERMAL PRINTER

取扱説明書

Nitto Nitto Denko Corporation

はじめに

はじめに

このたびは、(Nitto)DURA PRINTER SI600 をご利用いただき、誠にありがとうございます。

DURA PRINTER SI600 はラベルなどをきれいにかつ高速に印字し、操作性および耐久性に優れた熱転写ラベルプリンタです。

本書は DURA PRINTER SI600 をいつまでも最良の状態でお使いいただけますよう、取り扱い方法、管理方法などを説明しています。ご使用前に必ず、この「取扱説明書」をご一読ください。

本取扱説明書は大切に保管してください。

DURA PRINTER SI600 を使用するには、次の 2 つの方法があります。

1) Windows ドライバをパソコンにインストールして使用する。

パソコンに、DURA PRINTER SI600 のプリンタドライバをインストールして、イメージデータを印字可能な Windows アプリケーションから印字します。

Windows ドライバのインストールと設定方法は、付属 CD 内の「DURA PRINTER SI600 プリンタドライバ取扱説明書」を参照してください。

尚、簡単にラベル発行できる FA 用ラベル発行ソフト“Label Studio”を用意しています。

2) パソコン機器等から、専用コマンド(キャラクタデータ)をプリンタに送信し、プリンタ内のフォント、バーコードを使用します。

専用コマンドについては、付属 CD 内の「DURA PRINTER SI600 コマンドリファレンスマニュアル」、専用コマンド使用時のインターフェースは、「DURA PRINTER SI600 インターフェースマニュアル」を参照してください。印字するには、コマンドを理解してプリンタに送信する必要があります。

- 本書の内容を無断で転載することを固くお断りします。
- 製品の改良などにより、本書の内容の一部、製品と合致しない箇所の生じる場合があります。ご了承ください。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 万全を期して本書を作成していますが、内容に関して、万一間違いやお気づきの点がございましたら、ご連絡いただきますようお願い申し上げます。

・Microsoft[®]および Windows[®]は米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標または商標です。

・Acrobat Reader、Adobe は Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の商標です。

・『QR コード』は株式会社デンソーの登録商標です。『PDF417』はシンボルテクノロジー社の登録商標です。

・『Maxi コード』は UPS 社の登録商標です。『Data Matrix』は米国アイ・ディ・マトリックス社の登録商標です。

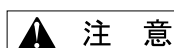
重要なお知らせ



警告

- ・本製品には、潜在する危険があります。本製品の据付、操作および保守・点検を行う場合には、必ず本書に従ってください。
- ・もし本書に従わないか、あるいは不注意や誤用・無断改造によって発生したいかなる怪我や損害についても、日東電工株式会社およびその販売会社は責任を負いません。

- 現在の産業装置業界では、新しい材料や加工方法、および機械の高速化によって潜在する危険が増加しています。これらの危険について、すべての状況を予測することはできません。また「できないこと」や「してはいけないこと」は極めて多くあり、取扱説明書にすべてを書くことはできません。取扱説明書に「できる」と書いていない限り、「できない」と考えてください。製品の据付、操作、または保守・点検を行う場合は、本書に書かれていること、および製品本体に表示されていることだけでなく、安全対策に関しては十分な配慮をしてください。
- オプションのカッタユニットにはラベルを切断するための刃物が組み込まれており、この部分に指先などを近づけると、挟まれや切断などのケガをする恐れがあります。カッタユニットの取り付けや取り外し作業を行なうときは、必ず電源スイッチを OFF にしてください。
- トラブルや故障を未然に防止するために日常のお手入れを行ってください。
本書の第4章に記載の「4.1 装置内部のクリーニング」をご参照ください。
- 本書の著作権は日東電工株式会社が有し、その権利は留保されています。事前に文書で日東電工株式会社の承諾を受けずに図面、および技術資料を複写、または公開することはしないでください。
- 本書についてのご質問がある場合、またより詳しい情報が必要な場合は、購入先、または当社お客様窓口にて製品銘板にある機種(型式)名、製造番号をお調べの上、お問い合わせいただき、回答を得るまでは作業を進めないでください。



注意

本機は、米国連邦通信委員会規制 FCC Part15 Class B への適合性を試験で確認済です。この規制値は、居住環境でありうる妨害への適切な保護が行える値として制定されています。本機は、ラジオ周波数帯域のエネルギーを発生、使用、もしくは幅射させる可能性がありますので、この取扱説明書に記載の使用方法を守って使用いただけない場合、ラジオ通信への有為な妨害を与える場合があります。しかしながら、これは、特定の設置状態で妨害が生じないことを保証するものではありません。万一、本機がラジオあるいはテレビの受信への妨害を与えていることが、本機の電源入切で判明した場合、以下の対策の、いずれか 1 つ以上を試みていただけますようお願い申し上げます。





- 受信アンテナの位置を変更してください。
- 本機と受信機との間を離してください。
- 受信機が使用しているコンセントとは別のコンセントに、本機を接続してください。
- 弊社販売店および／またはラジオテレビ専門業者にご相談ください。

保証の限定

- 日東電工株式会社は、当社が納入した製品の材料、または仕上げに欠陥があると認めた場合に限り、その部分について以下のように修理または交換いたします。
 - ・不具合の原因が明らかに納品した製品の設計・製作の欠陥、または製造途中、輸送途中の傷である場合は、該当部分についての部品提供または修理を無償で行います。
 - ・不具合の原因が不可抗力、または当社が納入していない製品等である場合は除外します。
 - ・不具合の原因が不明確な場合は、協議の上、処置を決定します。
- 当社は、納品した製品が原因で発生した、直接または間接の障害および費用については、責任のないものとします。
また、本体トラブルによる作業ストップなどの副次的な障害および費用については責任のないものとします。
- 保証期間は、納品後半年とします。

警告用語の種類と意味

本書に記載している警告用語は、危険度の高さや想定される事故の大きさによって、次の 2 段階に分類しています。以下の警告用語が持つ意味を理解し、本書または機械本体に貼り付けてある警告シールの指示に従ってください。

警告用語	意 味
 警 告	回避しないと死亡または重傷を招く可能性がある危険な状況の場合に使用しています。
 注 意	回避しないと軽傷または中程度の障害を招く可能性がある危険な状況の場合、または、機器・装置が損傷する場合に使用しています。
注 記	特に注意を促したり、強調したい情報について使用しています。
 参 考	操作を行うときに参考になる情報について使用しています。
 参 照	操作を行うときに参照するページについて使用しています。

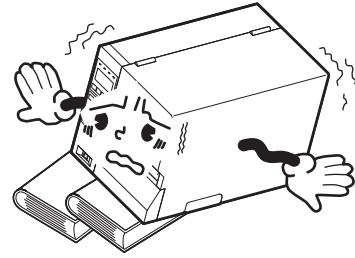
ご使用上の注意

本機を安全に取り扱っていただくために、守らなければいけない注意事項について説明します。

警告

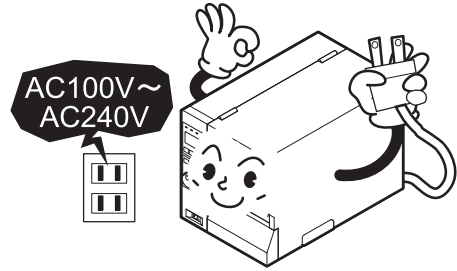
- ・本体は必ず振動のない場所に、水平に設置してお使いください。

水平で振動のない場所に設置しないと、きれいな印字が行えません。
また、本体が落下するとケガ、故障の原因にもなります。

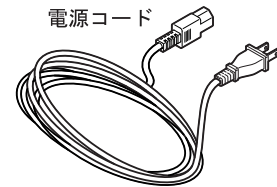


- ・電源は必ず AC100V～AC240V をご使用ください。

AC100V～AC240V 以外の電源を使用すると火災の原因になります。

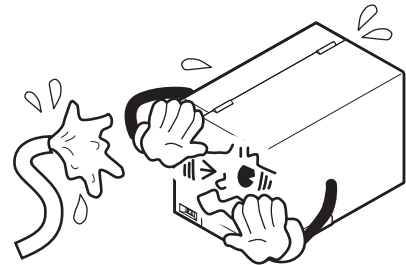


- ・電源コードは必ず付属品をご使用ください。



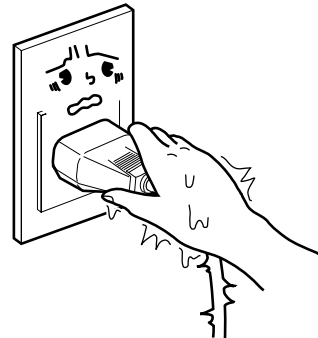
- ・本体、端子などに水がかからないように注意してください。

水をかけると火災、故障の原因になります。



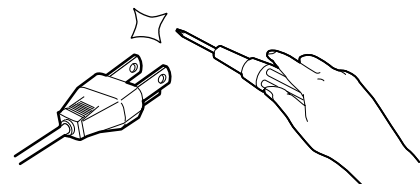
- ・濡れた手でコンセントを抜き差ししないでください。

感電、ショートの原因になります。



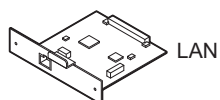
- ・コンセントおよび電源コードは加工しないでください。

火災、感電の原因になります。

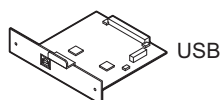


・オプション取付時は必ずコンセントを抜いてください。

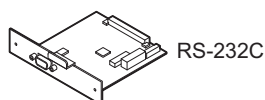
●オプションインターフェース



LAN

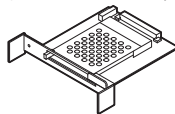


USB

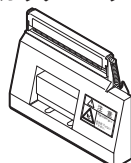


RS-232C

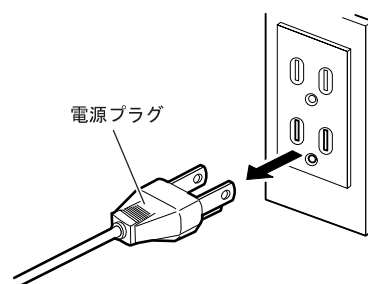
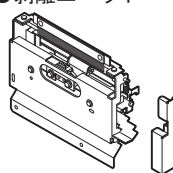
●CFカードスロット



●カッターユニット



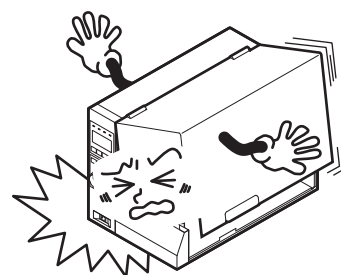
●剥離ユニット



・本体を持ち運ぶときは、サイドカバーを持たないでください。

本体が落下したり、サイドカバーが開き、ケガや故障の原因となります。

必ずサイドカバーを閉めた状態で、本体底面部を持って持ち運びしてください。

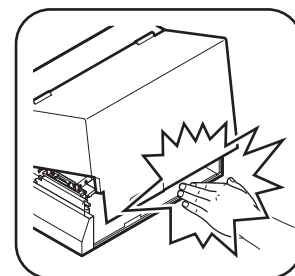


・サイドカバーの開閉に注意してください。

サイドカバーの開閉する箇所に手を置くと、ケガの原因となります。

また、サイドカバーを開くときは、カバー上面と本体がくっつくまで完全に開いた状態にし、閉じるときは取っ手を持ってゆっくりと閉じてください。

途中まで開いた状態や開閉途中で手を離すと、カバーが倒れてケガや故障の原因となります。

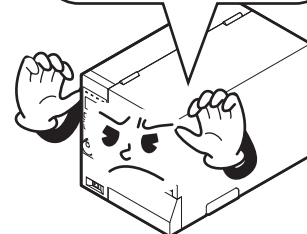


・サーマルヘッド、押さえ部の開閉に注意してください。

サーマルヘッドが上下する箇所に指、手を置くとケガの原因となります。

また、押さえ部を開くときは、押さえ部が完全に開いてマグネットで固定されていることを確認してください。閉じるときは、取手を持ってゆっくりと閉じてください。

途中まで開いた状態や開閉途中で手を離すと、押さえ部が倒れてケガや故障の原因となります。



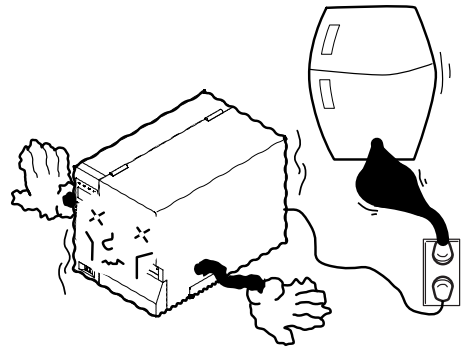
・サーマルヘッドが高温時にはサーマルヘッドに触らないでください。

・印字中や用紙送り中はプラテンローラなどの駆動部分に触らないでください。

▲ 注意

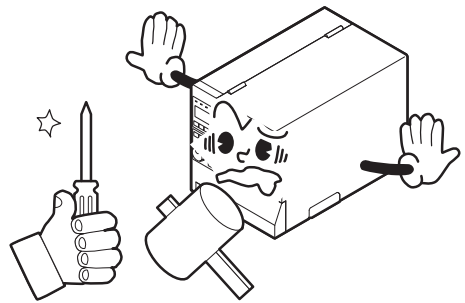
- ・電圧の低下などの変動が少ない電源から電気を供給してください。

ヒーター、冷蔵庫、クレーン、プレス機など、消費電力の大きい電気製品と同じ電源や、その近くの電源から電気を供給しないでください。
誤動作をおこしたり、故障の原因となります。



- ・精密機械ですので、急激なショックを与えないでください。

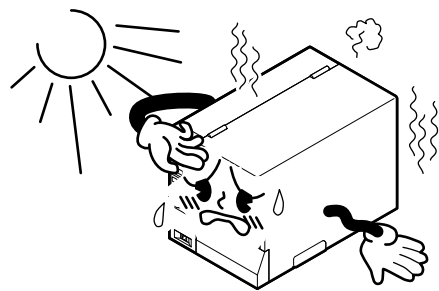
故障の原因となりますので、絶対に分解しないでください。



- ・本体の運送や持ち運ぶときは、ラベルと熱転写リボンを必ず取り外してください。

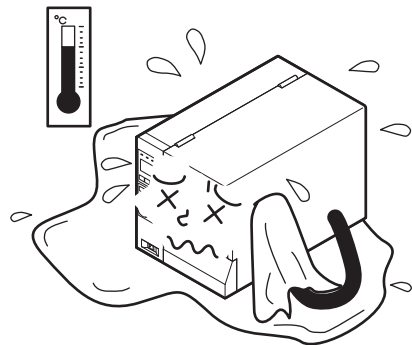
- ・直射日光を長時間受けるところでは使用しないでください。

故障の原因となります。



- ・高温・多湿な場所では使用しないでください。

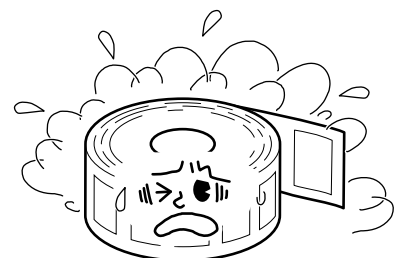
故障の原因となります。



- ・ラベル・熱転写リボンは日東電工製品をお使いください。

- ・高温・多湿な場所にラベルおよび熱転写リボンを保管しないでください。

エラーの原因となります。



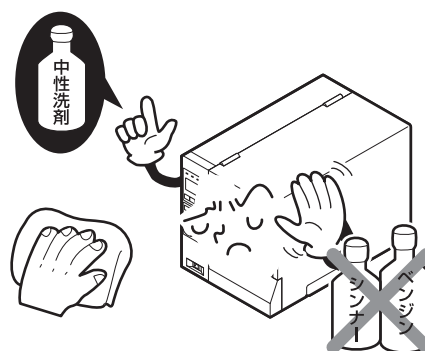
・ほこりの多い場所で使用しないでください。

ほこりがつくときれいに印字できなくなることがあります。故障の原因になるだけでなく、プリンタの寿命を短くする恐れがあります。



・本体のお手入れには、固く絞った柔らかい布で拭き取るか、中性洗剤をご使用ください。

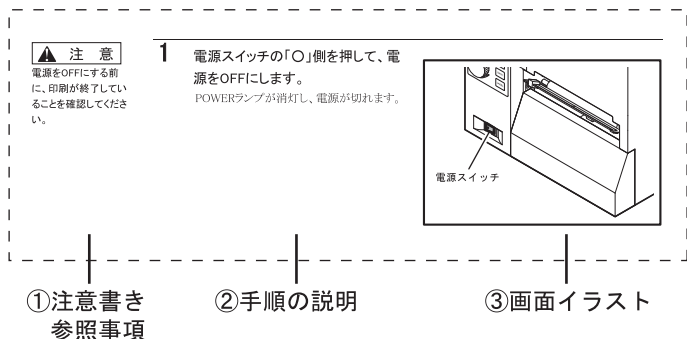
シンナーなどを使用すると変形したり、故障の原因となるため、絶対に使用しないでください。



本書の表記について

この取扱説明書の各ページの操作説明欄は、次のような構成になっています。

●操作説明欄の構成



- ①各ページの左側には、特に注意していただきたいことや、参考文、参照ページなどを示しています。
- ②操作手順を説明しています。
- ③操作手順に沿った LCD 表示やイラストを示します。

目次

はじめに.....	I
重要なお知らせ	II
保証の限定	III
警告用語の種類と意味	IV
ご使用上の注意	V
本書の表記について.....	IX
目次.....	X
第1章 ご使用になる前に	1-1
1.1 各部の名称と機能.....	1-2
正面	1-2
後面	1-3
操作パネル部	1-4
1.2 付属品の確認／消耗品／オプション品.....	1-5
1.2.1 付属品の確認.....	1-5
1.2.2 消耗品.....	1-5
1.2.3 オプションユニット.....	1-6
1.3 設置のしかた	1-7
1.3.1 ケーブルのつなぎかた.....	1-7
1.3.2 電源の入れかた.....	1-9
1.3.3 電源の切りかた.....	1-9
1.4 熱転写リボンの取り付け	1-10
1.4.1 熱転写リボンの取り付け.....	1-10
1.5 ラベルロールの取り付け	1-14
1.5.1 ラベルロールの取り付け.....	1-14

第2章 基本的な使いかた	2-1
2.1 作業前の準備	2-2
2.1.1 作業前の点検	2-2
2.2 オンラインとオフライン	2-3
2.2.1 オンライン操作	2-4
・ オンライン状態に切り替える	2-4
2.2.2 オフライン操作	2-5
・ オフライン状態に切り替える	2-6
・ ラベルの頭出しをする	2-6
・ ラベルを再発行する	2-6
・ 受信データを消去する	2-7
・ 印字条件(ラベルNo.)を変更する	2-7
・ ラベルの停止位置を補正する	2-8
・ ティアオフ位置／カット位置／ハクリ位置を補正する	2-9
・ 印字濃度を補正する	2-10
・ 単体発行する	2-11
第3章 設定のしかた	3-1
3.1 設定モードについて	3-4
3.1.1 設定モードの種類	3-4
3.1.2 設定モードの選択	3-5
3.1.3 設定モードのメニューフロー	3-6
3.2 ラベルセットモードの操作	3-7
3.2.1 印字条件を新規登録する	3-8
3.2.2 印字条件を編集する	3-9
・ 印字条件の設定メニュー	3-10
3.2.3 印字条件を削除する	3-11
3.3 印字条件の各設定について	3-12
・ 台紙付きラベルを使用する場合	3-12
・ アイマーク付きラベルを使用する場合	3-12
・ 連続紙を使用する場合	3-13
3.3.1 プリンタモードの設定	3-14
3.3.2 カット位置の設定	3-15
3.3.3 ハクリ位置の設定	3-16
3.3.4 ハクリ時間の設定	3-17
3.3.5 ティアオフ位置の設定	3-18
3.3.6 停止位置の設定	3-19
3.3.7 印字方法の設定	3-20
3.3.8 ラベルサイズの設定	3-21
・ ラベル幅を設定する	3-21
・ ラベルの長さを設定する	3-22
・ ラベルピッチを設定する	3-23
・ 自動測長を設定する	3-23
3.3.9 ラベルセンサの設定	3-24

3.3.10	透過センサ／反射センサの調整	3-25
	・ラベルセンサの自動調整	3-26
	・ラベルセンサの手動調整	3-27
3.3.11	ラベル検出位置の設定	3-28
3.3.12	印字速度の設定	3-29
3.3.13	印字濃度の設定	3-30
3.3.14	プラテンローラの調整	3-31
3.3.15	QRコードの印字設定	3-32
3.3.16	連続紙の設定	3-33
	・印字用紙の選択	3-34
	・ページ間ギャップ長の設定	3-35
3.3.17	基点開始位置の補正	3-35
	・基点開始位置(幅)の設定	3-36
	・基点開始位置(長さ)の設定	3-36
3.3.18	印字条件の設定	3-37
3.3.19	ティアオフ時間の設定	3-38
3.3.20	パルス分割印字の設定	3-39
3.3.21	ラベル・リボンの組合せ	3-40
3.3.22	ラベルスキップ	3-41
3.4	アドバンスモードの操作	3-42
3.4.1	プリンタ情報の確認	3-43
3.4.2	カットのバックフィードの設定	3-43
3.4.3	漢字コードの設定	3-44
3.4.4	ゼロスラッシュの設定	3-45
3.4.5	漢字フォントの設定	3-46
3.4.6	印字濃度の調整	3-47
3.4.7	ヘッドチェックの設定	3-48
3.4.8	オンライン起動の設定	3-49
3.4.9	起動時紙送りの設定	3-50
3.4.10	エラー時再発行の設定	3-51
3.4.11	発行ログ機能の設定	3-52
3.4.12	単体発行機能の設定	3-53
3.4.13	JANの可読文字の設定	3-54
3.4.14	外部信号の設定	3-55
3.4.15	総走行距離の確認	3-55
3.4.16	ヘッド走行距離の確認	3-56
3.4.17	プラテン走行距離の確認	3-56
3.4.18	カッタ動作回数の確認	3-56
3.4.19	座標補正の設定	3-57
3.4.20	初期値設定	3-58
3.4.21	LCDの輝度調整	3-59
3.4.22	最終ラベル処理の設定	3-60
3.4.23	ブザー音の設定	3-61
3.4.24	言語表示の設定	3-62

3.4.25	暗証番号の登録.....	3-63
3.4.26	キーロックの設定.....	3-64
3.5	インターフェースモードの操作.....	3-65
3.5.1	プロトコルの設定.....	3-65
3.5.2	LANの通信設定.....	3-66
3.5.3	RS-232Cの通信設定.....	3-67
3.5.4	RS-232Cの通信設定条件の確認.....	3-68
3.6	テスト印字モードの操作.....	3-69
3.6.1	設定内容の印字.....	3-69
3.6.2	バーコードの印字.....	3-70
3.6.3	ヘッド状態の印字.....	3-71
3.6.4	フォントの印字.....	3-72
3.6.5	検査パターンの印字.....	3-72
3.6.6	CFカード内容の印字.....	3-73
3.7	ダンプモードの操作.....	3-74
3.7.1	オンラインダンプの実施.....	3-74
	・ 印字指示の印字.....	3-74
	・ 印字指示の保存.....	3-75
3.7.2	受信済みダンプの実施.....	3-76
	・ 印字指示の印字.....	3-76
	・ 印字指示の保存.....	3-77
3.8	センサチェックモードの操作.....	3-78
3.8.1	透過センサ／反射センサの確認.....	3-79
3.8.2	ヘッドアップセンサの確認.....	3-80
3.8.3	送りローラセンサの確認.....	3-81
3.8.4	リボンセンサの確認.....	3-82
3.8.5	ダンパセンサの確認.....	3-83
3.8.6	ヘッド温度の確認.....	3-84
3.8.7	プリンタ内温度の確認.....	3-84
3.8.8	ハクリセンサの確認.....	3-85
3.8.9	外部信号(入力)の確認.....	3-86
3.8.10	外部信号(出力)の確認.....	3-87
3.8.11	エンドテープセンサの確認.....	3-88
3.9	バージョンアップモードの操作.....	3-89
3.9.1	オンラインによるバージョンアップ.....	3-89
3.9.2	CFカードからのバージョンアップ.....	3-90
第4章 メンテナンス.....		4-1
4.1	装置内部のクリーニング.....	4-2
4.2	サーマルヘッドの交換.....	4-8
4.3	プラテンローラの交換.....	4-12

第5章 オプションユニットの 取り付けと取り外し.....	5-1
5.1 インターフェースの取り付けと取り外し	5-2
5.2 CFカードスロットの取り付けと取り外し.....	5-4
5.3 カッタユニットの取り付けと取り外し.....	5-5
5.3.1 カッタユニットへのラベルロールの通し方.....	5-7
5.4 剥離ユニットの取り付けと取り外し.....	5-8
5.4.1 剥離ユニットへのラベルロールの通し方	5-10
第6章 付録	6-1
6.1 エラーの対処方法	6-2
6.2 仕様	6-4
6.3 出荷設定値一覧.....	6-5

第1章

ご使用になる前に

本機の概要について説明しています。本機を理解し、正しくお使いいただくためにも必ずお読みください。

1.1 各部の名称と機能.....	1-2
正面	1-2
後面	1-3
操作パネル部.....	1-4
1.2 付属品の確認／消耗品／オプション品.....	1-5
1.2.1 付属品の確認	1-5
1.2.2 消耗品	1-5
1.2.3 オプションユニット	1-6
1.3 設置のしかた	1-7
1.3.1 ケーブルのつなぎかた.....	1-7
1.3.2 電源の入れかた.....	1-9
1.3.3 電源の切りかた.....	1-9
1.4 熱転写リボンの取り付け.....	1-10
1.4.1 熱転写リボンの取り付け.....	1-10
1.5 ラベルロールの取り付け.....	1-14
1.5.1 ラベルロールの取り付け.....	1-14

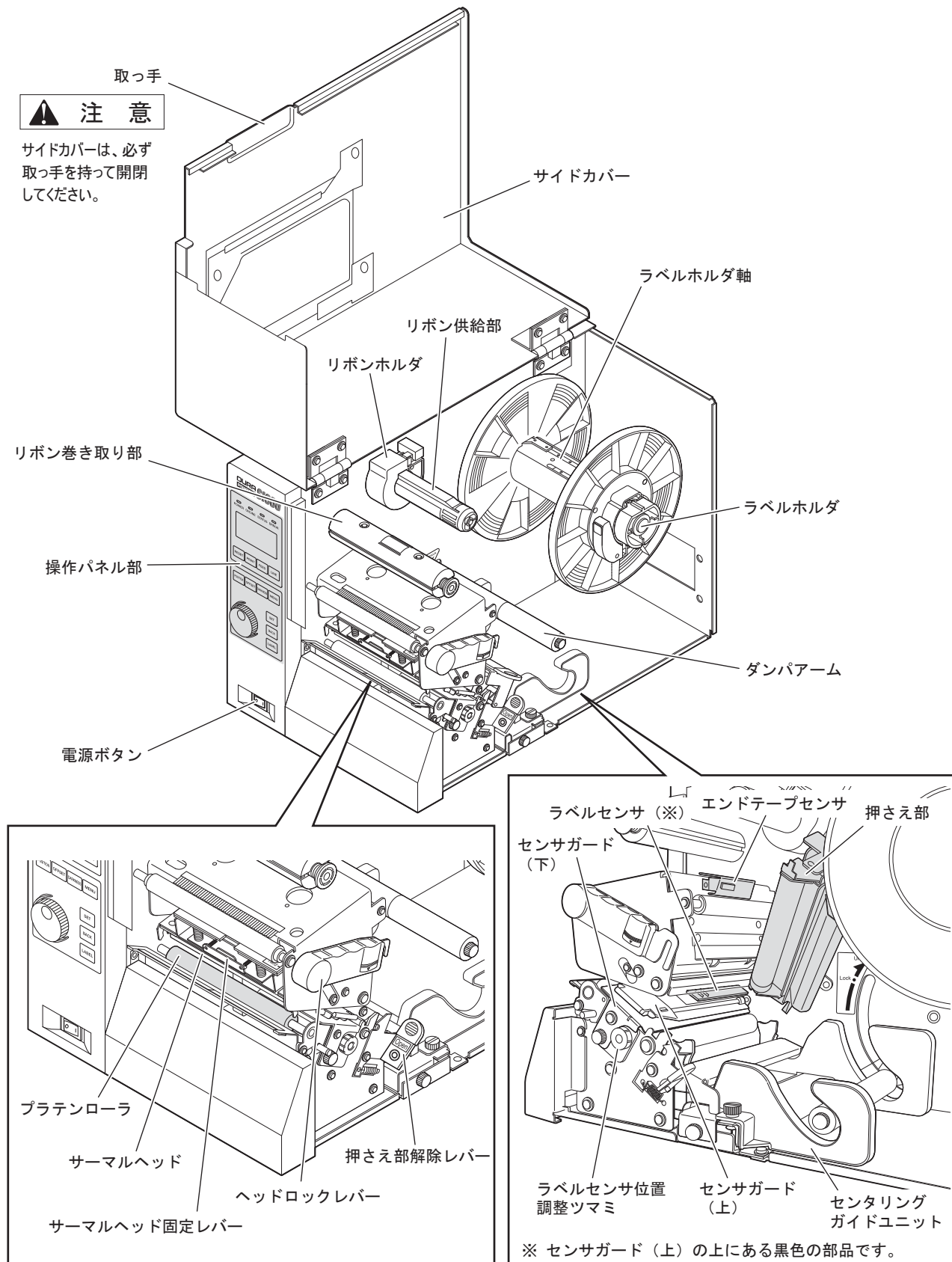
ご使用になる前に

1.1 各部の名称と機能

本機の各部の名称と機能について説明します。

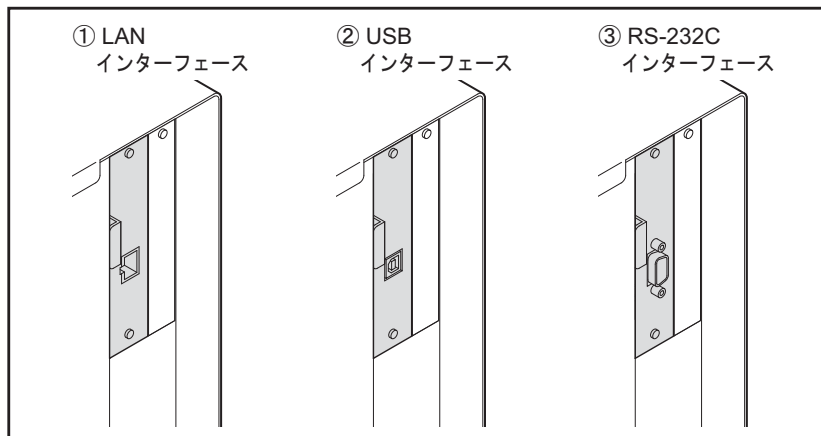
本書は下記の名称を使って説明しますので、ここで各部の名称を理解し、以降のページを読んでください。

正面

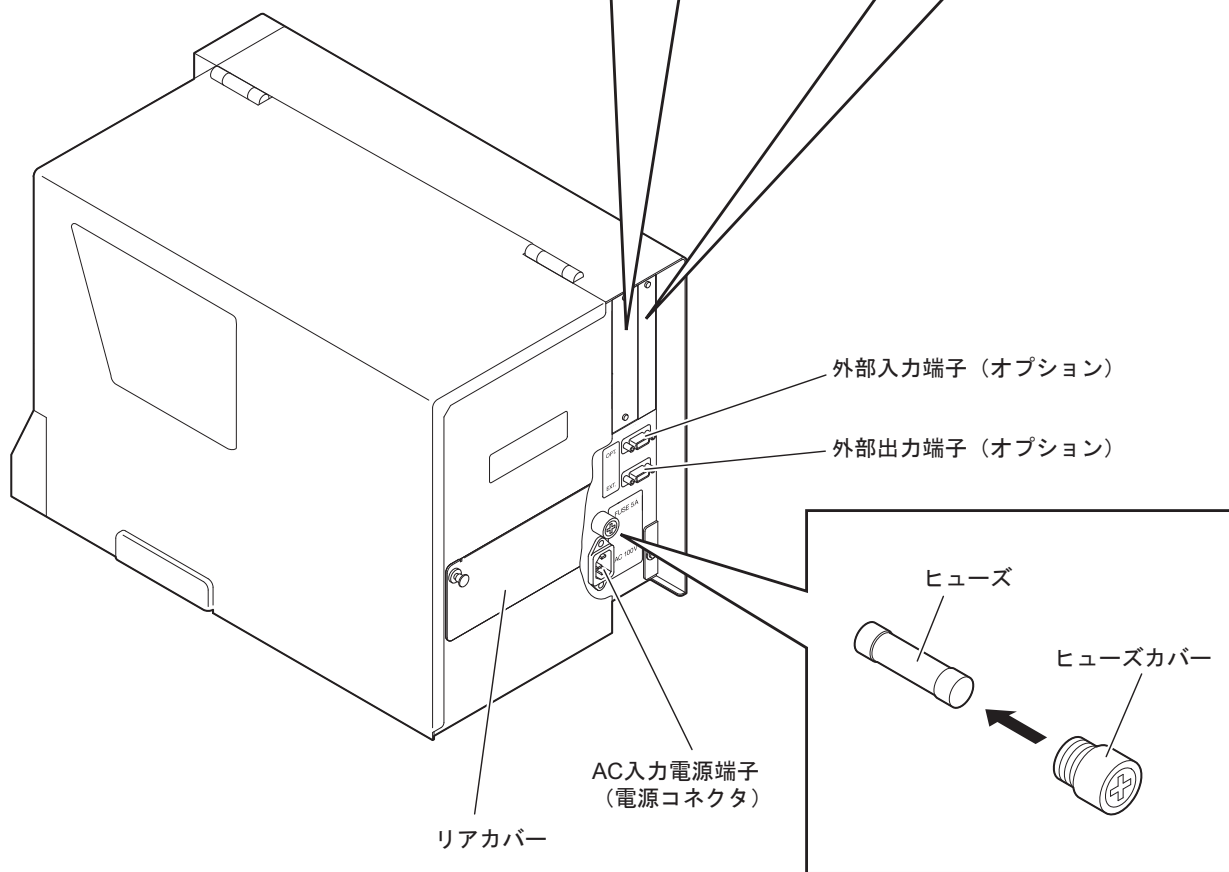
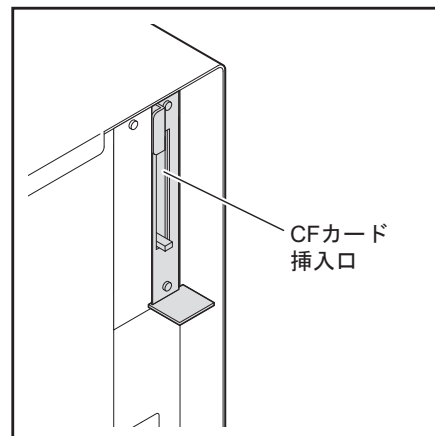


後面

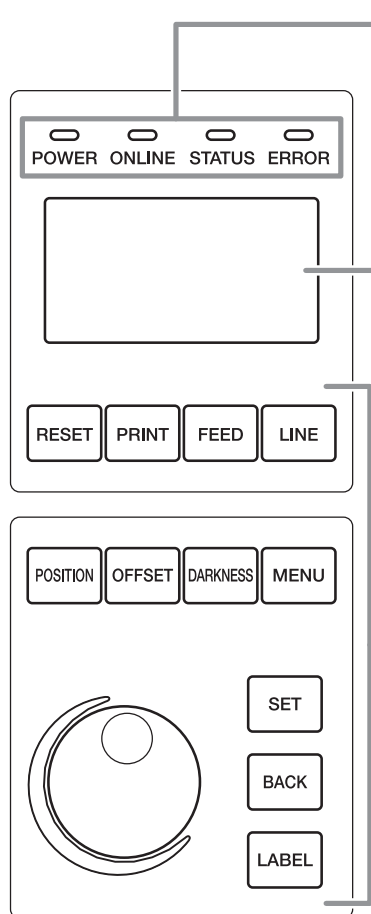
インターフェース (オプション) 装着時



CFカードスロット (オプション) 装着時



操作パネル部



状態表示

- POWERランプ(緑) : 電源が入っているときに点灯します。
- ONLINEランプ(緑) : オンラインのときに点灯します。
- STATUSランプ(緑) : データを受信しているときに点滅します。
また、受信バッファにデータがあるときに点灯します。
- ERRORランプ(赤) : エラーが発生しているときに点灯します。

LCD

- オンライン/オフライン表示、エラーメッセージ、操作メッセージを表示します。
- オンライン/オフライン表示のときは、印刷残枚数(通信プロトコルがステータスLのときは印刷完了枚数)が表示されます。

操作キー

- RESET : オフライン時のみ、受信データを消去します。(P.2-7参照)
- PRINT : オフライン時のみ、直前の印字内容で再発行します。(P.2-6参照)
- FEED : オフライン時のみ、押すごとにラベルを頭出しします。(P.2-6参照)
- LINE : オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。
印刷中に押すと、オフライン状態になり一時停止します。
もう一度押すと、オンライン状態になり印刷を再開します。
- POSITION : オフライン時のみ、ラベルの停止位置を補正する画面を表示します。(P.2-8参照)
- OFFSET : オフライン時のみ、各モード(カット/ハクリ/ティアオフ)の動作停止位置を補正する画面を表示します。(P.2-9参照)
- DARKNESS : 印字濃度を補正する画面を表示します。(P.2-10参照)
- MENU : オフライン時のみ、モードを切り替えます。(第3章参照)
- SET : 変更した内容を確定します。
- BACK : 変更内容を取り消します。
- LABEL : オフライン時のみ、印字条件(ラベルNo.)を選択します。(P.2-7参照)

注 記 POSITION、OFFSET、DARKNESS、MENU、LABELキーは、印字待ちの受信データがある場合、操作できません。



参 照

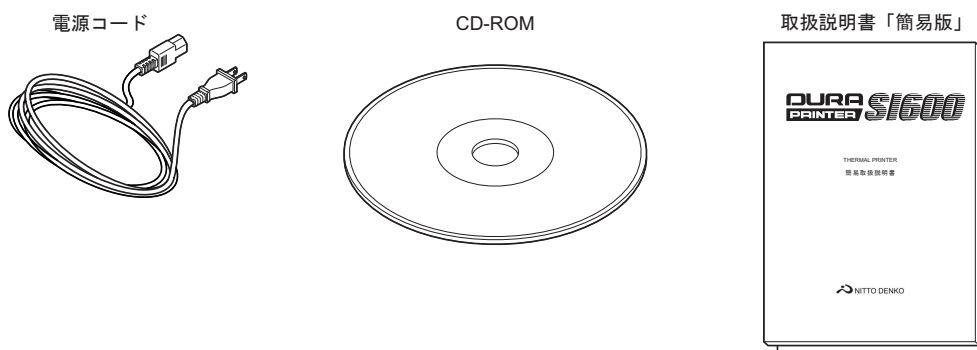
本機の電源投入後は、FEEDキー以外のキー操作に暗証番号(最大8桁)入力が必要です。
暗証番号の設定は「3.4.25 暗証番号の登録」を参照してください。

1.2 付属品の確認／消耗品／オプション品

1.2.1 付属品の確認

箱を開けたとき、次の付属品が揃っているか確認してください。

もし、足りないものがありましたら、購入先、または当社お客さま窓口までお問い合わせください。

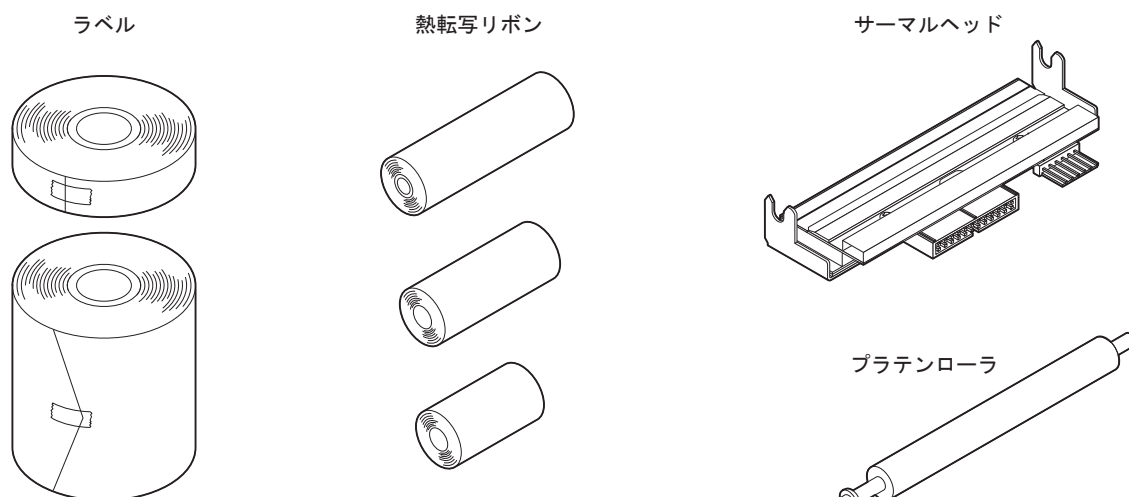


注 記

- ・ 付属品には本機とコンピュータを接続するための接続コードは付属されていません。お使いのコンピュータの機種および本機仕様などによって、接続できる接続コードが異なるため、コンピュータの取扱説明書を参照して別途ご用意ください。

1.2.2 消耗品

ラベル、リボンは日東電工製品をご使用ください。



▲ 注 意

ラベル幅に対してリボン幅が広すぎると、リボンにしわが発生し、印字が欠ける場合があります。熱転写リボンはラベル幅に対して左右に約 5mm ずつ長いものを使用してください。

注 記

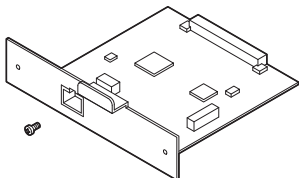
サーマルヘッド・プラテンローラは消耗品です。常に予備品を準備しておいてください。

1.2.3 オプションユニット

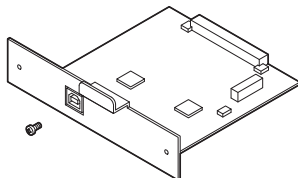
本機には、下記のようなオプションユニットがあります。

オプションユニットをご購入された場合は、その梱包内容が揃っているか確認してください。

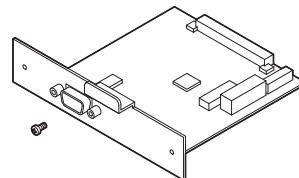
LANインターフェース



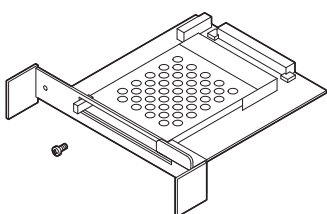
USBインターフェース



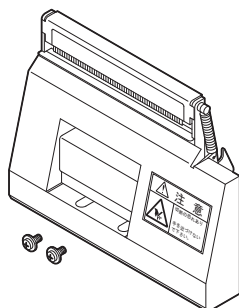
RS-232Cインターフェース



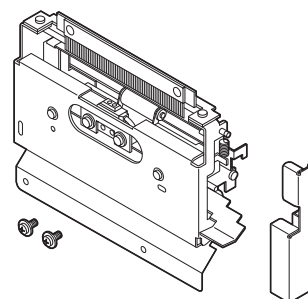
CFカードスロット



カッターユニット



剥離ユニット



※ インターフェースユニットはプリントサーバ機能を備えていません。
したがって複数のコンピュータから同時に印刷を行うことはできません。

1.3 設置のしかた

ここではケーブルのつなぎかた、電源の入れかた、切りかたについて説明します。

1.3.1 ケーブルのつなぎかた

印字命令を送るコンピュータと本機を接続するときは、次の手順に従って行ってください。

▲ 注意

必ず水平な位置に設置してください。きれいな印字ができません。

▲ 注意

本機とコンピュータをつなげるときは、必ず電源スイッチを OFF にしてから行ってください。

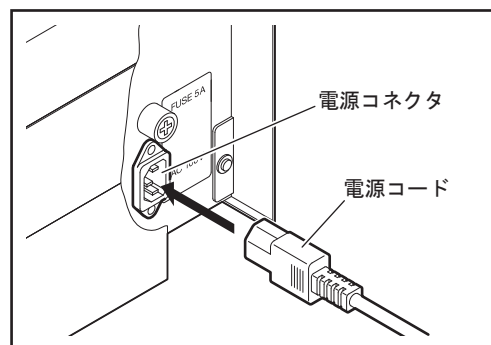
注 記

接続コードは付属されていません。別途ご注意ください。

1 本機を安定した水平な位置に設置します。

2 電源コードを本機に接続します。

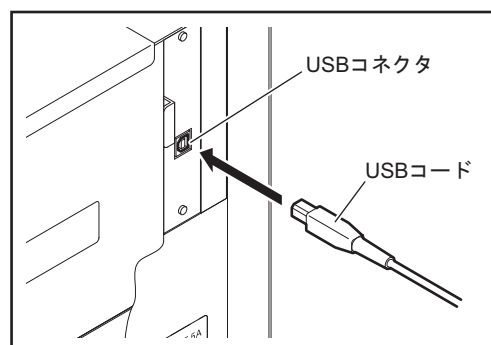
電源コードは電源コネクタに差し込みます。



3 接続コードを本機に接続します。

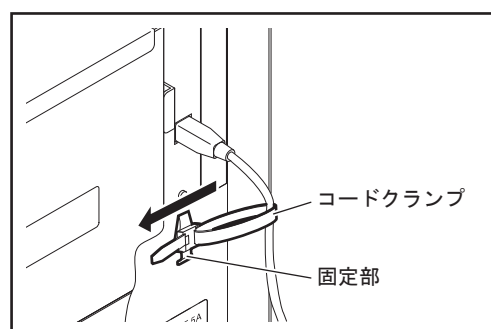
装着しているインターフェースに合った接続コードを本機に差し込んでください。オプションについては購入先、または当社お客様窓口までお問い合わせください。

【例】USB ボードを装着している場合

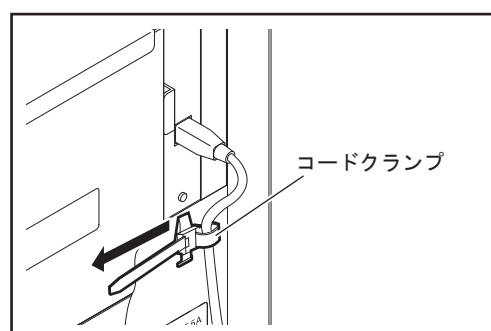


4 接続コードをコードクランプに取り付けます。

- ① コードクランプの先端を固定部に差し込みます。



- ② コードクランプの先端を引っ張り、接続コードを固定します。

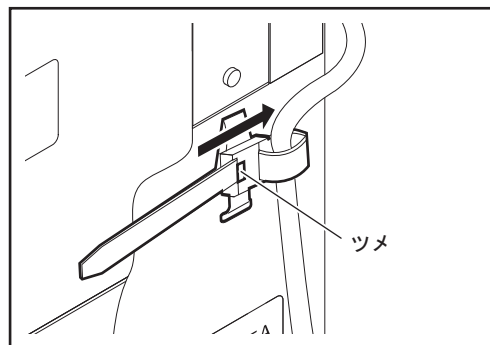


▲ 注意

コードクランプは強く締めないでください。配線が断線する恐れがあります。

コードクランプの取り外し方法

固定部のツメを持ち上げ、コードクランプを引っ張ります。

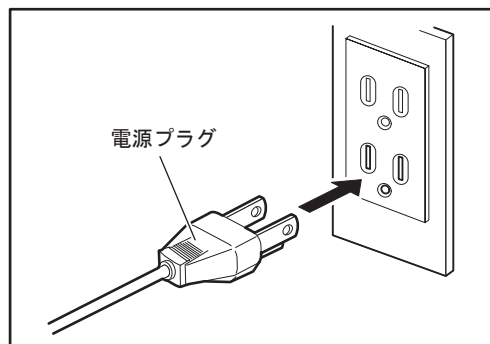


5 コンピュータに接続コードを接続します。

警告

電源コードのタコ足配線は絶対に行わないでください。
火災の恐れがあります。

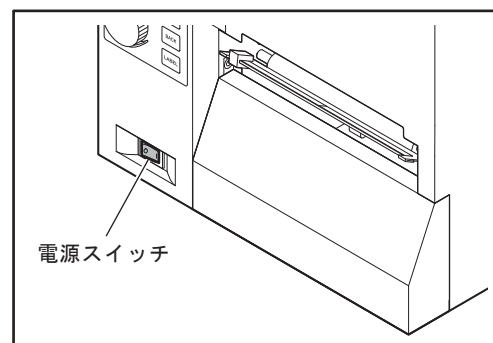
6 電源プラグをコンセントに接続します。



1.3.2 電源の入れかた

1 電源スイッチの「|」側を押して、電源を ON にします。

POWER ランプが点灯し、LCD に商品名、ヘッド密度とバージョン情報が約 2 秒間表示されます。



注 記

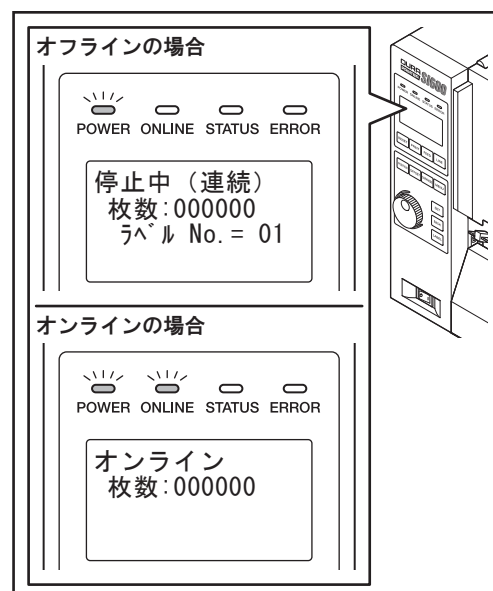
出荷時、言語は日本語に設定されています。言語を英語に切り替えてお使いになりたい場合は、P.3-62「3.4.24 言語表示の設定」をご覧ください。



電源投入後は、FEED と LINE キー以外のキー操作に暗証番号(最大 8 桁)入力が必要です。暗証番号の設定は「3.4.25 暗証番号の登録」を参照してください。

その後、オンラインまたはオフラインで起動します。

- ※ 出荷時はオンライン状態で起動するように設定されています。起動方法(オンライン/オフライン)は設定変更できます。詳しくは、P.3-49「3.4.8 オンライン起動の設定」をご覧ください。



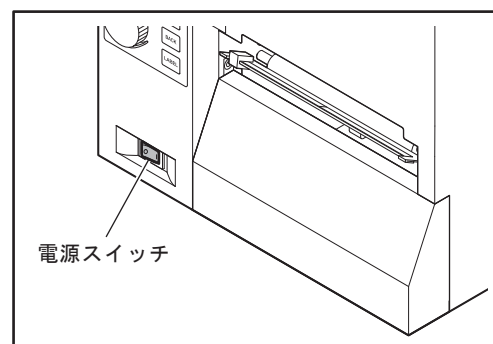
1.3.3 電源の切りかた

▲ 注意

電源を OFF にする前に、印刷が終了していることを確認してください。印刷残枚数が“0”になっていないときは、印刷が終了していません。

1 電源スイッチの「○」側を押して、電源を OFF にします。

POWER ランプが消灯し、電源が切れます。

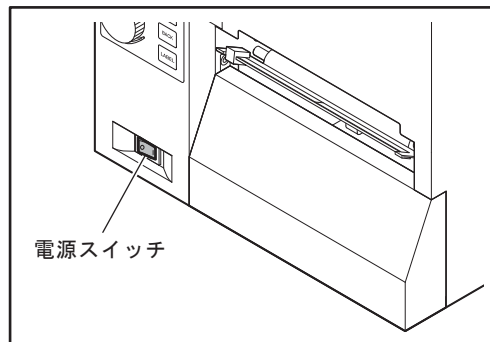


1.4 熱転写リボンの取り付け

ここでは、熱転写リボンの取り付け方法について説明します。
感熱ラベルを使用の場合は、熱転写リボンの取り付けは必要ありません。

1.4.1 熱転写リボンの取り付け

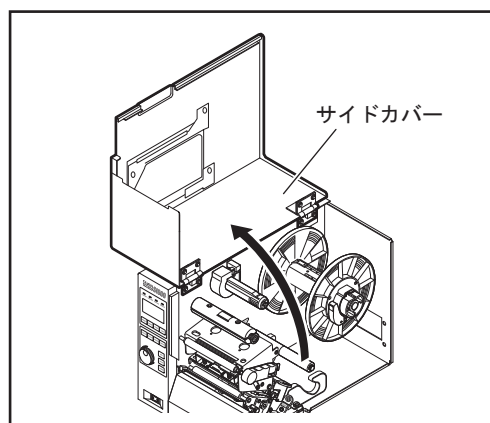
- 1 電源スイッチの「|」側を押して、電源を ON にします。
POWER ランプが点灯し、本機が起動します。



⚠ 注意

サイドカバーは、カバー上面と本体がくっつくまで完全に開いてください。途中まで開いた状態や開閉途中で手を離すと、カバーが倒れてケガや故障の原因となります。

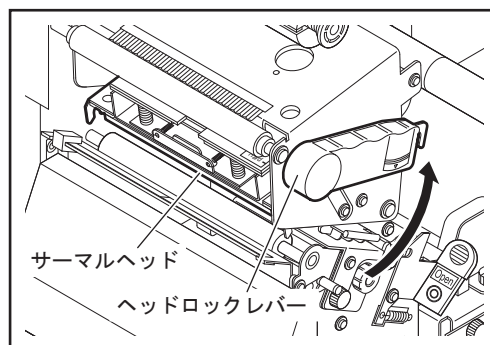
- 2 サイドカバーを開きます。



⚠ 注意

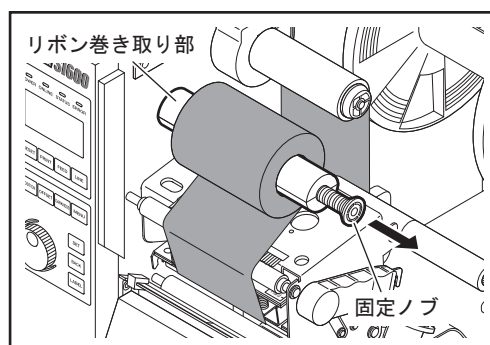
ヘッドロックレバーを操作するとき、サーマルヘッドが上下する箇所に指、手を置かないでください。ケガの原因となります。

- 3 ヘッドロックレバーをフリー方向へ上げます。
サーマルヘッドが上がります。



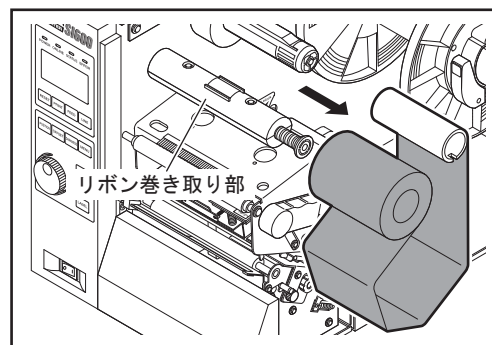
オプションの紙管用リボン巻き取りユニットをご使用の場合は、この操作は不要です。

- 4 リボン巻き取り部の固定ノブを引きます。



5 使用済みリボンと紙管を取り外します。

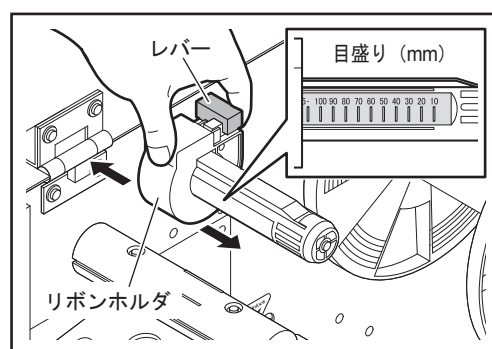
リボン巻き取り部を指で押さえて軸径を収縮させ、使用済みリボンを取り外します。



6 リボン幅を設定します。

リボンホルダのレバーをつまみながら、リボン幅に合った位置までリボンホルダを移動します。

目盛りを参考に移動してください。

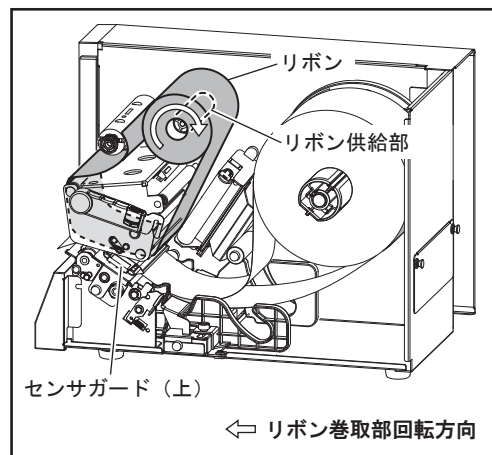


リボンは先端を持って横から差し込むとスムーズにセットすることができます。

注意

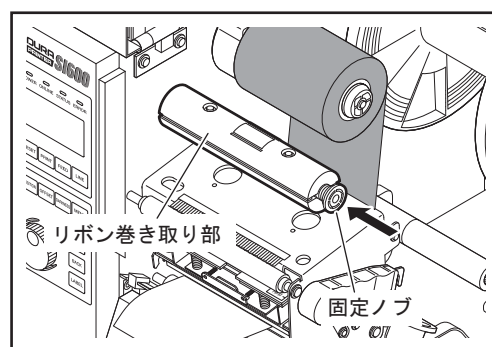
リボンはセンサガード(上)の上を通過させてください。

7 リボンをリボン供給部に取り付け、リボンの先端を図のように通します。



オプションの紙管用リボン巻き取りユニットをご使用の場合は、リボン巻き取り部の軸に内径1インチの紙管を取り付けてください。

8 リボン巻き取り部の固定ノブを押した状態にします。





オプションの紙管用リボン巻き取りユニットをご使用の場合は、紙管部分にリボンの先端を貼り付けてください。



粘着シートの粘着力が弱くなった場合は、粘着シートを交換できます。

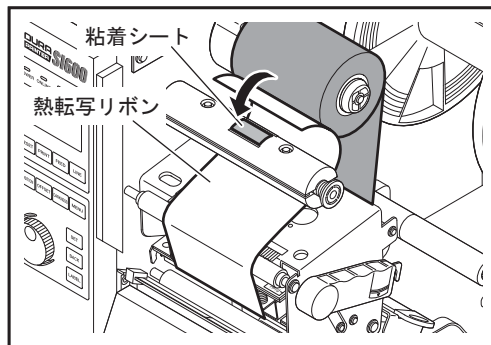
▲ 注意

リボンはリボン巻き取り部からずれないように、たるみがない程度に巻きつけてください。印字不良の原因となります。

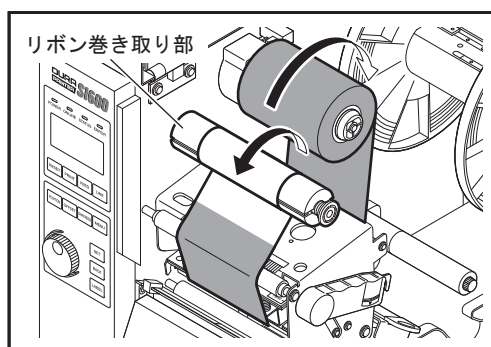


リボン供給部を時計回りに回すと、巻き付けが容易になります。

9 リボン巻き取り部の粘着シートにリボンの先端を貼り付けます。



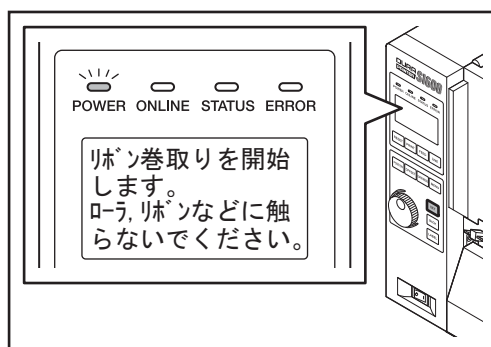
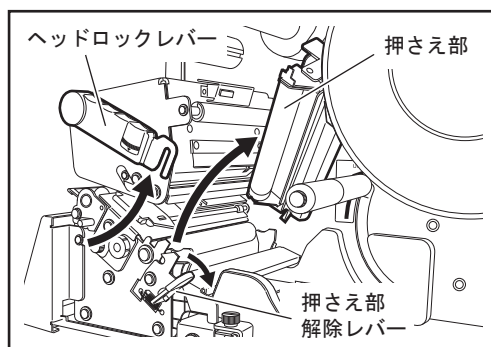
10 リボン巻き取り部を反時計回りの方向に回し、カーボン部分が前面に現れるまでリボンを巻き付けます。



ヘッドロックレバー、押さえ部がフリーの状態では **FEED** を押すと、リボン巻取り開始を告げるメッセージが表示され、**FEED** を押すたびに熱転写リボンを約 100mm 巻取り動作します。

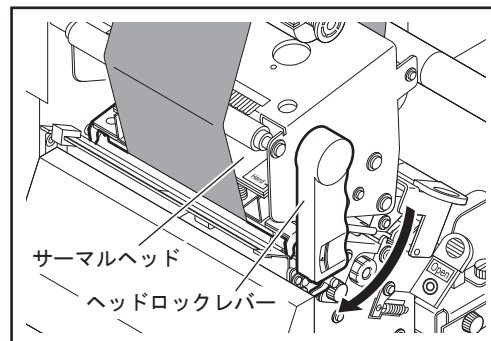
▲ 注意

動作中は、手などがプラテンローラに触れないよう注意してください。



11 ヘッドロックレバーをロック方向へ下げます。

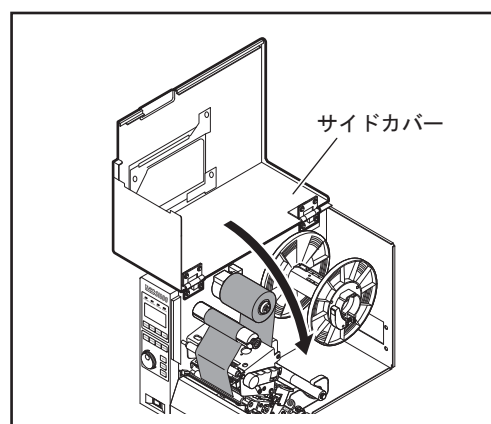
サーマルヘッドが下がります。



12 サイドカバーを閉じます。

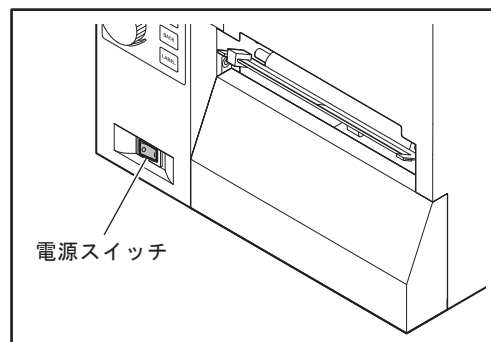
これで熱転写リボンの取り付けは終了です。

※ ラベルロールをまだ取り付けていない場合は、引き続き P.1-14「1.5 ラベルロールの取り付け」をご覧ください、作業を行ってください。



13 電源スイッチの「|」側を押して、電源を ON にします。

POWER ランプが点灯し、本機が起動します。

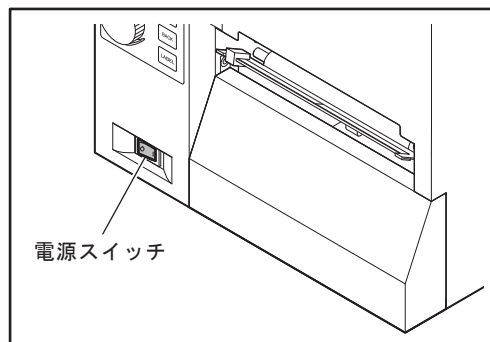


1.5 ラベルロールの取り付け

1.5.1 ラベルロールの取り付け

ここでは、ラベルロールの取り付け方法について説明します。

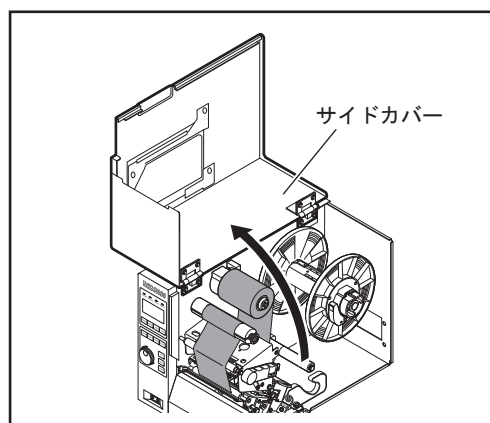
- 1 電源スイッチの「O」側を押して、電源をOFFにします。
POWER ランプが消灯し、電源が切れます。



⚠ 注意

サイドカバーは、カバー上面と本体がくっつくまで完全に開いてください。途中まで開いた状態や開閉途中で手を離すと、カバーが倒れてケガや故障の原因となります。

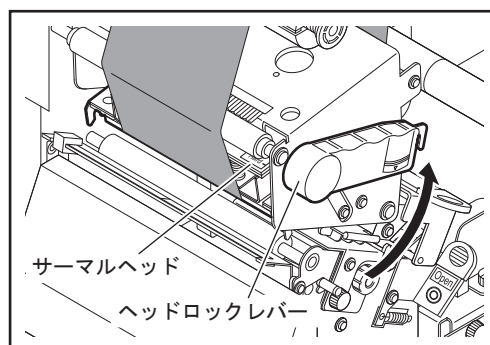
- 2 サイドカバーを開きます。



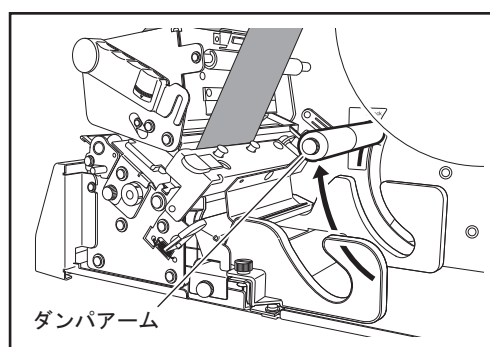
⚠ 注意

ヘッドロックレバーを操作するとき、サーマルヘッドが上下する箇所に指、手を置かないでください。ケガの原因となります。

- 3 ヘッドロックレバーをフリー方向へ上げます。
サーマルヘッドが上がります。



- 4 ダンパームを開放状態にします。
ダンパームを上限まで持ち上げると、「カチッ」と音がして固定されます。



▲ 注意

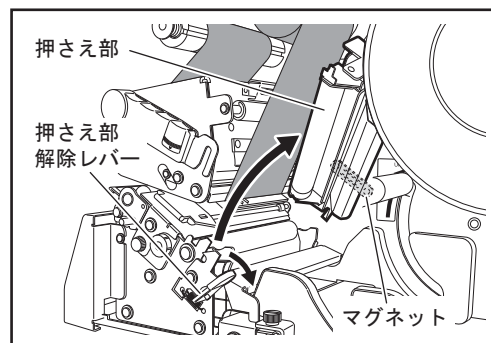
押さえ部を開いた後は、マグネットできちんと固定されていることを確認してください。
開閉途中で手を離すと、押さえ部が倒れてケガの原因となります。

注 記

固定ネジは、3 回転以上回さないでください。

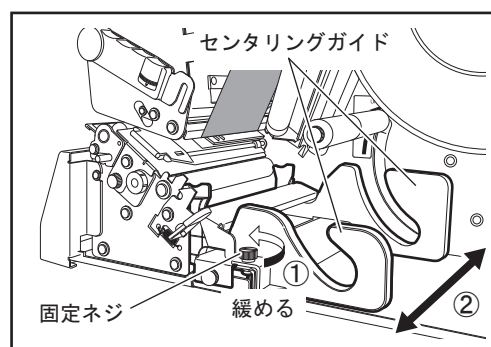
5 押さえ部を解除状態にします。

- ① 押さえ部解除レバーを押し、押さえ部を解除状態にします。
- ② 押さえ部を上げてマグネットで固定します。



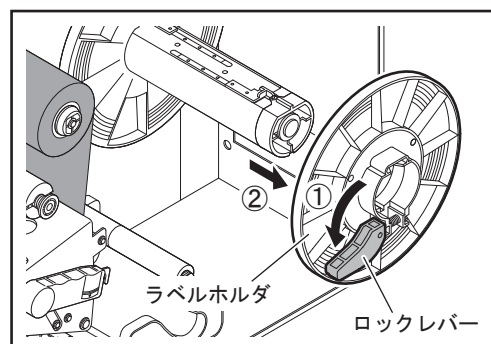
6 センタリングガイドを広げます。

センタリングガイドの固定ネジを指で回して緩め、広げます。
手前のセンタリングガイドを動かすと、奥のセンタリングガイドも連動して動きます。



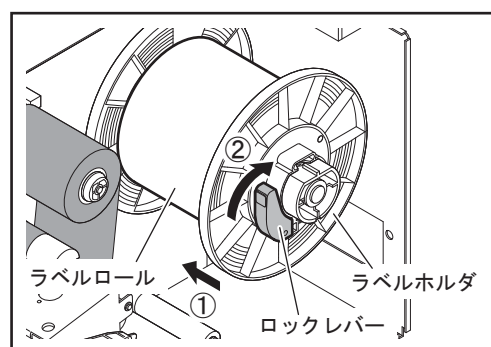
7 ラベルホルダをラベルホルダ軸から取り外します。

ラベルホルダのロックレバーを解除し、ラベルホルダ軸から取り外します。



8 ラベルロールをラベルホルダ軸に取り付け、ラベルホルダで位置決めして固定します。

- ① ラベルロールをラベルホルダ軸に取り付けます。
- ② ラベルホルダをラベルホルダ軸に取り付けて押し込み、ラベルロールとの隙間をなくしてロックレバーで固定します。



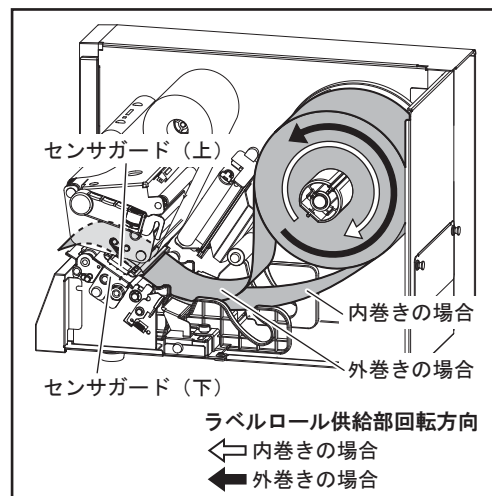
▲ 注意

ラベルロールは必ず、センサガード(上)(下)の間を通過させてください。



ラベルロールは先端を持って、横から差し込むとスムーズにセットすることができます。

9 ラベルロールの先端を図のように通します。

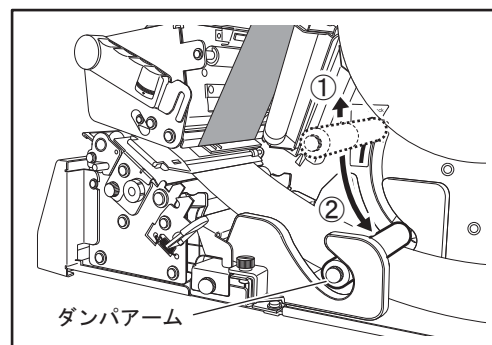


▲ 注意

解除時、むりやり下に引き下げないでください。

10 ダンパアームを下ろします。

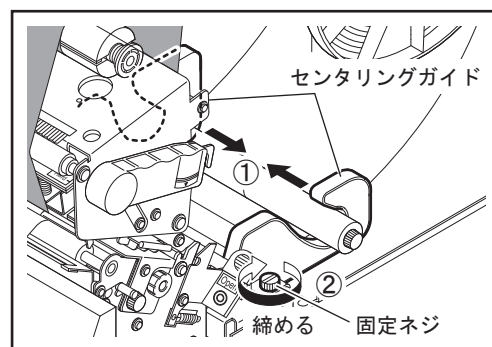
ダンパアームを上限まで持ち上げると、「カチッ」と音がしてロックが解除されますので、手を沿えながらダンパアームを下ろします。



▲ 注意

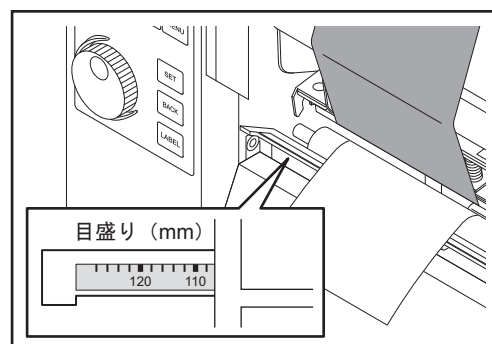
センタリングガイドはラベルがスムーズに通過できる幅に設定してください。ラベル幅を狭くしすぎると、ラベル送りトラブルの原因になります。また、固定ネジは、3回転以上回さないでください。

11 センタリングガイドをラベルに合わせ、固定します。



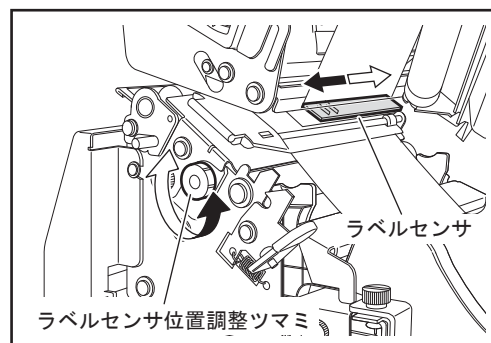
12 ラベル台紙端を目盛りに合わせてます。

ラベル台紙幅寸法と同じ数字のところにラベル台紙幅を合わせてください。



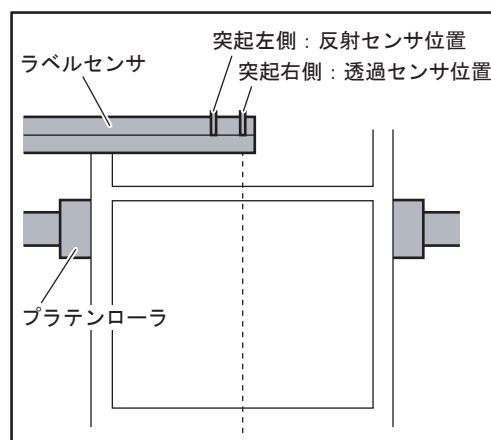
13 ラベルセンサ位置調整ツマミを使って、ラベルセンサ位置を調整します。

ラベルセンサ位置調整ツマミは、時計回りでラベルの中心へ、反時計回りでラベルの端に移動します。



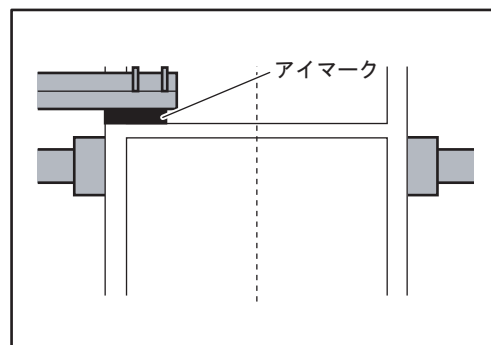
透過センサを使用する場合

透過センサ位置がラベル幅中央になるようにツマミを回してください。



反射センサを使用する場合

反射センサ位置がラベル台紙裏面にあるアイマークの位置の中央になるようにツマミを回してください。



注 記

ラベルがたるまないように、押さえ部をロックするときにラベルを引っ張ってください。

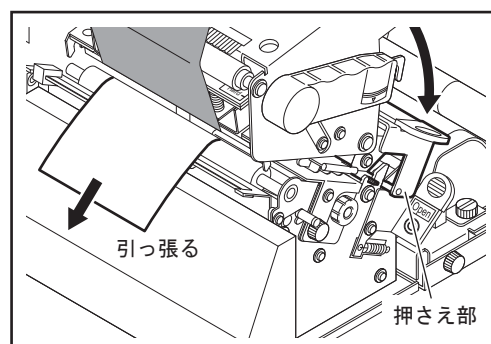


押さえ部の固定は、必ずラベル台紙端を目盛りに合わせてから行ってください。

詳しくは 1-16 ページ手順 12 をご覧ください。

14 押さえ部を固定します。

押さえ部をロック方向に下げ、「カチッ」と音がすると固定されます。

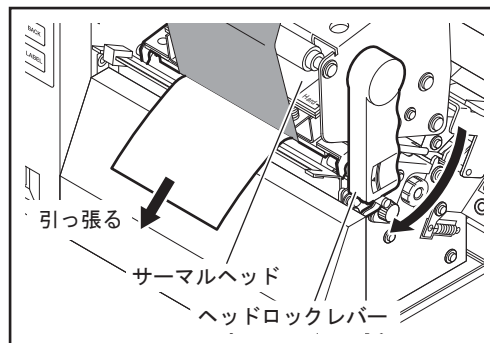


注 記

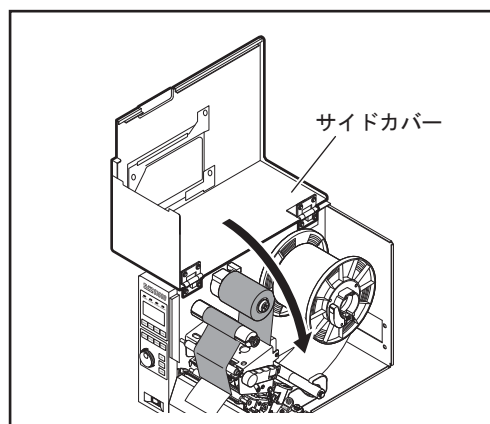
ラベルがたるまないように、サーマルヘッドを下げるときにラベルを引っ張ってください。

15 ヘッドロックレバーをロック方向に下げます。

サーマルヘッドが下がります。

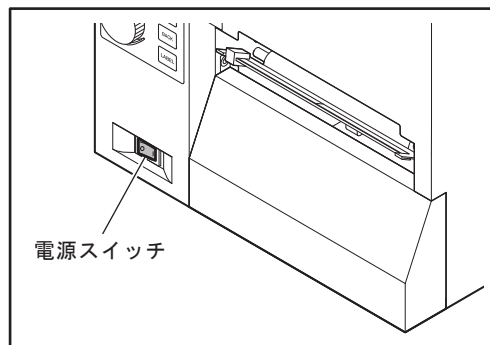


16 サイドカバーを閉じます。



17 電源スイッチの「|」側を押して、電源を ON にします。

POWER ランプが点灯し、本機が起動します。





FEED を数回押すことで、ラベルピッチを記憶させることができます。

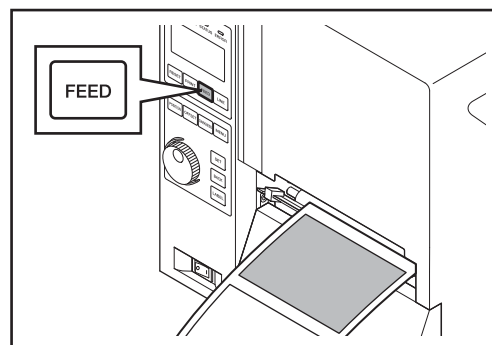


ティアオフモードの場合は、ティアオフ位置までラベルを送り出してから停止します。

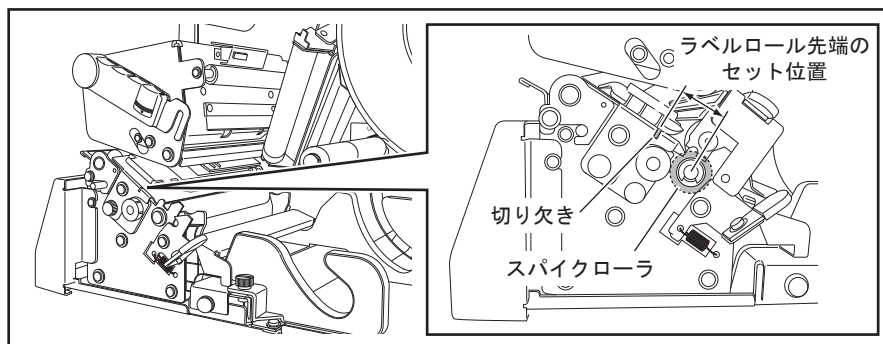
18 ラベルの頭出しをします。

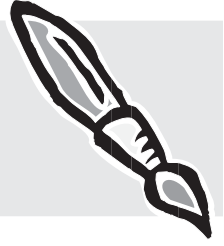
LINE を押してオフラインにし、数回 **FEED** を押します。

※ ラベルがスムーズに送られていることを確認してください。
ラベルロールが斜めにセットされている場合は、ラベルロールの通し方、センターリングガイドの幅を再確認してください。



※ ラベルロールの先端を図の範囲に配置してラベルロールを取り付けた後、**FEED** を押すとラベルの先端が頭出しの位置まで送られて停止します。
ラベルサイズの設定操作 (P.3-21「3.3.8 ラベルサイズの設定」) で、あらかじめラベルピッチが設定されていれば、オンライン状態にしてラベルを発行することができます。





A series of horizontal dotted lines for writing, spanning the width of the page.

第2章

基本的な使いかた

本機を動かすのに必要な操作について説明しています。

2.1 作業前の準備	2-2
2.1.1 作業前の点検	2-2
2.2 オンラインとオフライン	2-3
2.2.1 オンライン操作	2-4
オンライン状態に切り替える	2-4
2.2.2 オフライン操作	2-5
オフライン状態に切り替える	2-6
ラベルの頭出しをする	2-6
ラベルを再発行する	2-6
受信データを消去する	2-7
印字条件(ラベルNo.)を変更する	2-7
ラベルの停止位置を補正する	2-8
ティアオフ位置/カット位置/ハクリ位置を補正する	2-9
印字濃度を補正する	2-10
単体発行する	2-11

2.1 作業前の準備

ここでは、作業前の本機の点検方法、オンライン状態／オフライン状態の切り替えについて説明します。

2.1.1 作業前の点検

常に良好な状態で日常の操作を行っていただくために、実際の作業の前には必ず以下の項目を点検してください。

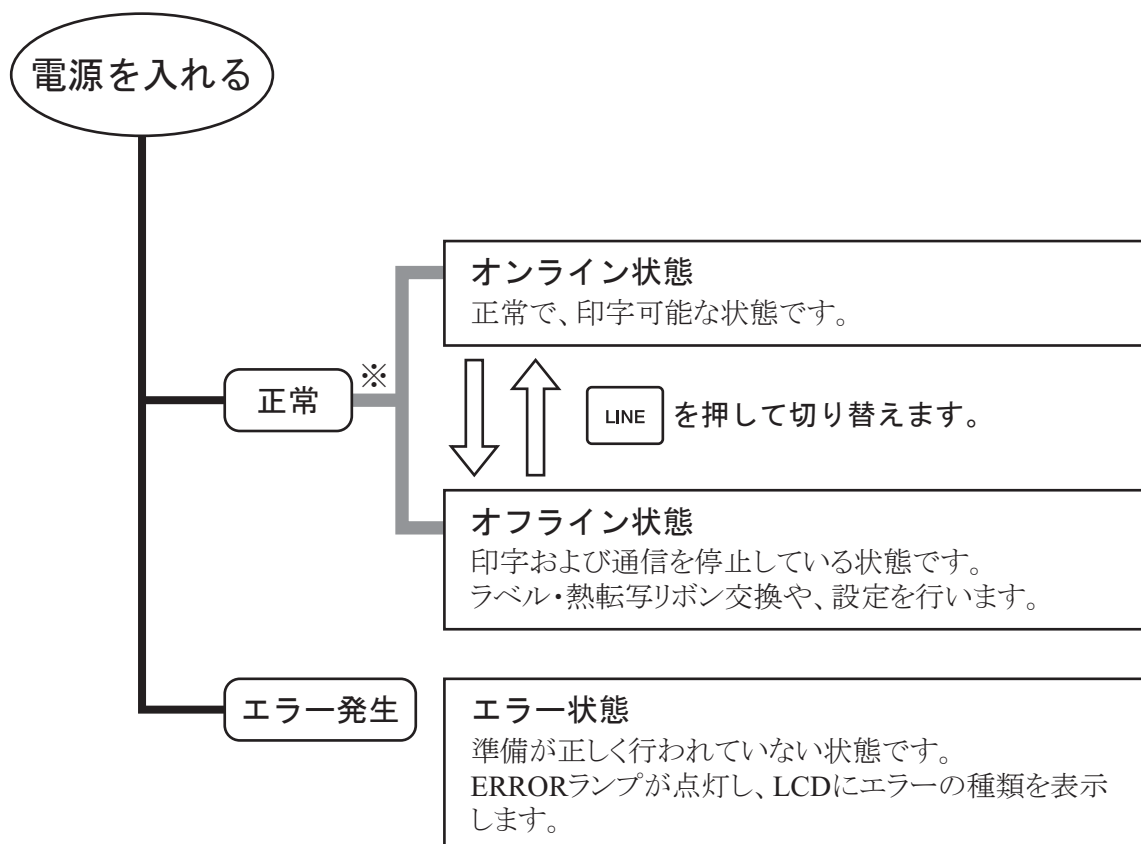
注意

点検する前に、**LINE** を押してオフライン状態にしてください。

点検箇所	対処方法
外装の汚れ	固く絞った柔らかい布で汚れを拭き取ってください。
装置内部の汚れ	装置内部の汚れを布で拭き取ります。 サーマルヘッド、プラテンローラは付着したゴミ、ラベルなどを取り除いた後、イソプロピルアルコールをつけた綿棒等で拭いてください。 詳しくは、P.4-2 ページ「4.1 装置内部のクリーニング」をご覧ください。
ラベル送り状態の確認	LINE を押してオフライン状態にした後、 FEED を押して、印字位置を調整してください。

2.2 オンラインとオフライン

コンピュータからデータを受け取り、印字できる状態を「オンライン」、コンピュータとの接続が切り離され、データが受け取れない状態を「オフライン」といいます。操作パネル部で設定したり、クリーニングするときは「オフライン」にしてから行います。



※ 本機では、起動方法を設定することができます。
出荷時の設定は、オンライン状態です。

2.2.1 オンライン操作

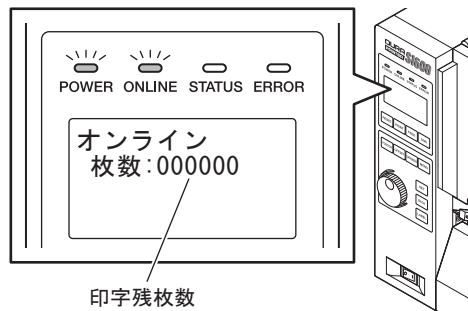
オンライン状態のときは次の操作ができます。

注 記

印字するときは、本機がオンラインになっていることを確認してください。

- コンピュータからデータを受け取り、印字します。
- **LINE** を押して、オフライン状態に切り替えたり、印字を中断することができます。

オンライン状態



オンライン状態になっていないときは、次の手順でオンライン状態にします。

オンライン状態に切り替える

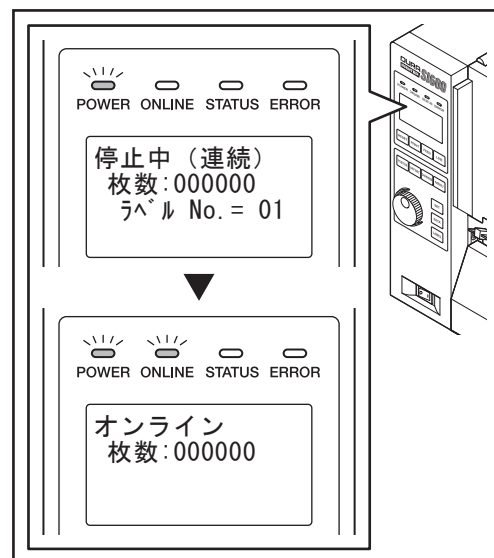
1 **LINE** を押します。

ONLINE ランプが点灯し、LCD に「オンライン」と表示されます。

印刷が残っている場合は印刷が再開され、印刷残枚数が表示されます。

※ 本機がエラー状態 (ERROR ランプが点灯し、LCD にエラーメッセージが表示されている) のときはオンラインになりません。エラーの原因を取り除いてからオンライン状態に切り替えてください。

※ 設定作業中はオンラインになりません。設定作業を完了してからオンライン状態に切り替えてください。



2.2.2 オフライン操作

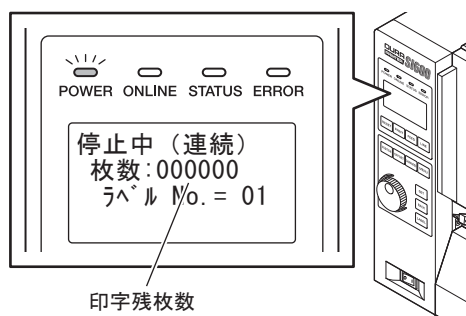
注 記

設定を行ったり、ラベルピッチ調整などを行うときは、オフラインの状態になっている必要があります。

停止中状態のときは次の操作ができます。

- **LINE** を押して、オンライン状態に切り替えます。
印刷が中断されている場合は印刷を再開します。
- **FEED** を押して、ラベルの頭出しをします。
操作については、P.2-6「ラベルの頭出しをする」をご覧ください。
- **PRINT** を押して、直前に印字された設定で1枚だけラベルを再発行します。
操作については、P.2-6「ラベルを再発行する」をご覧ください。
- **RESET** を押して、コンピュータから受け取ったデータを消去します。
操作については、P.2-7「受信データを消去する」をご覧ください。
- **MENU** を押して、本機の動作条件を設定します。
操作については、第3章「設定のしかた」をご覧ください。
- **LABEL** を押して、ラベルの印字条件(ラベル No.)を変更します。
操作については、P.2-7「印字条件(ラベル No.)を変更する」をご覧ください。
- **POSITION** を押して、ラベルの停止位置を補正します。
操作については、P.2-8「ラベルの停止位置を補正する」をご覧ください。
- **OFFSET** を押して、動作位置を補正します。
操作については、P.2-9「ティアオフ位置／カット位置／ハクリ位置を補正する」をご覧ください。
※ 使用している印字条件の設定メニュー「プリンタモード」の動作選択によって、表示される補正項目は異なります。
- **DARKNESS** を押して、印字濃度を補正します。
操作については、P.2-10「印字濃度を補正する」をご覧ください。
- 印字指示データを保存した CF カードを使って本機単体で印字します。
操作については、P.2-11「単体発行する」をご覧ください。
※ CF カードスロット(オプション)を装着しており、単体発行に設定している場合のみ行うことができます。

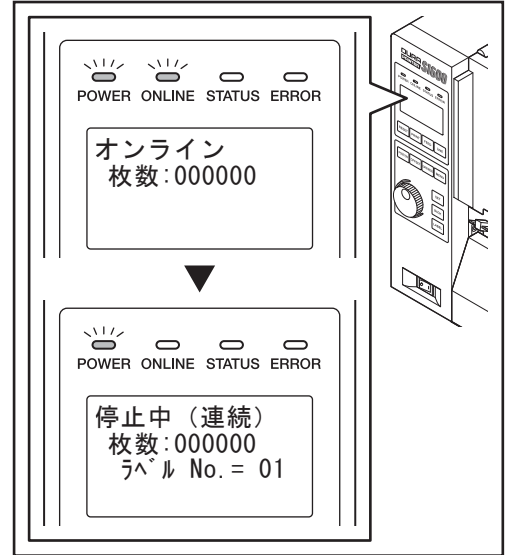
オフライン状態



オフライン状態になっていないときは次の手順でオフライン状態にします。

オフライン状態に切り替える

- 1 **LINE** を押します。
ONLINE ランプが消灯し、LCD に「停止中」と表示されます。
印刷が残っている場合は、印刷が中断されます。



ラベルの頭出しをする

ラベル印字が途中で終わってしまった場合や、ラベル交換をした場合に行います。頭出しを行うことで、ラベルピッチを記憶させることができます。

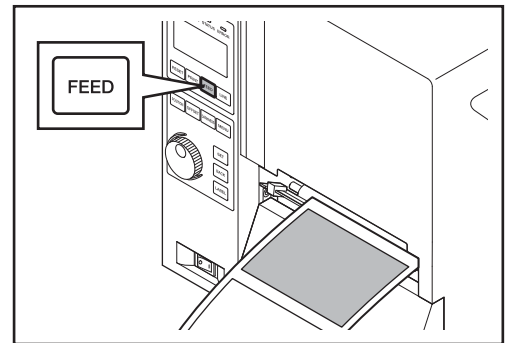
注 記

FEED はオフライン状態のときのみ動作します。

注 記

安定しない場合は、3～4 枚フィードしてください。

- 1 **FEED** を数回押します。
ラベルをフィードし、ラベル開始位置が設定されます。



ラベルを再発行する

直前に印字した内容をもう一度印字します。

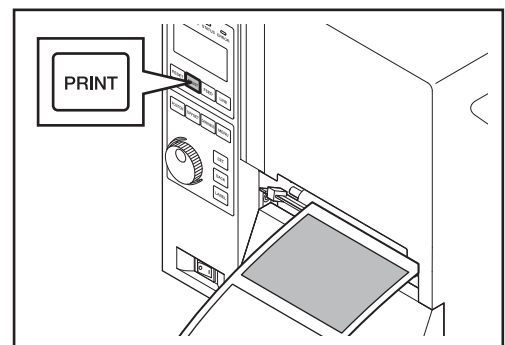
注 記

PRINT はオフライン状態のときのみ動作します。

注 記

電源を OFF にすると、印字内容は消去されます。起動後に再発行はできません。

- 1 **PRINT** を押します。
直前に印字したラベルが 1 枚発行されます。
直前に印字したことが無い場合は無効です。



受信データを消去する

コンピュータから受け取ったデータを消去します。

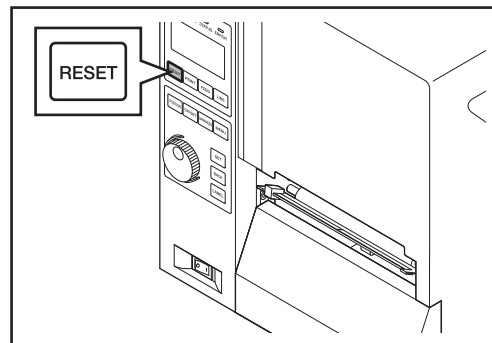


電源を OFF にすることでも同様の操作となります。

注 記

データ受信中は正しく動作しません。コンピュータ側の送信を停止してから押してください。

- 1 **RESET** を 2 秒以上押し続けます。
受信データが消去されます。



印字条件（ラベルNo.）を変更する

使用する印字条件（ラベル No.）を変更します。

【例】ラベル No. を 1 から 3 に変更する場合

注 記

印字待ちのデータがある場合は、操作できません。

データを消去するか、すべての印字を行ってから操作してください。



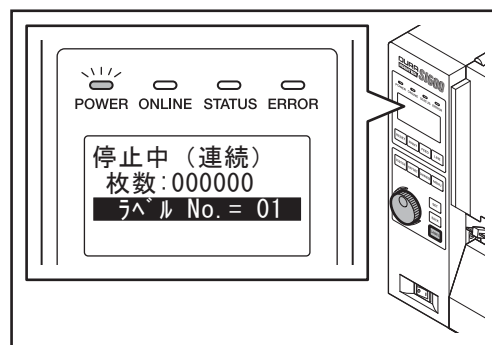
BACK を押すと、操作を中断します。

- 1 **LABEL** を押します。
LCD のラベル No. 欄が反転表示します。

- 2 ダイヤルを回して使用するラベル No. を表示します。



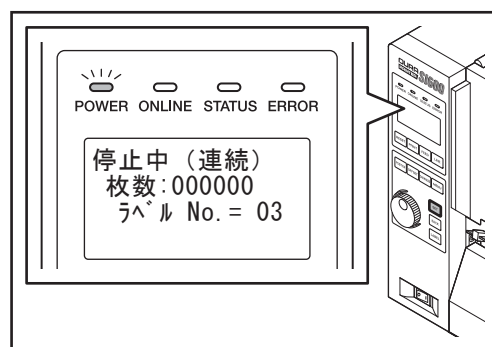
ダイヤルを回すと、登録済みのラベル No. を順に表示します。



- 3 **SET** を押します。

ラベル No. 欄の表示が戻り、使用する印字条件が変更されました。

※ ラベルサイズの異なる印字条件に変更した場合は、P.1-14「1.5 ラベルロールの取り付け」を参照してラベルを交換してください。



ラベルの停止位置を補正する

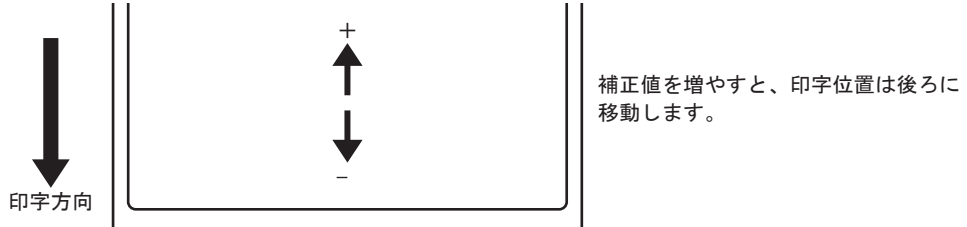
注 記

印字待ちのデータがある場合は、操作できません。

データを消去するか、すべての印字を行ってから操作してください。

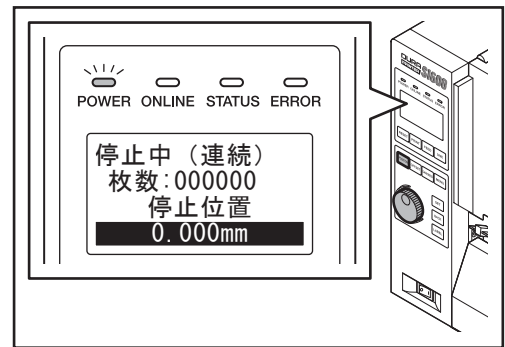
ラベルの印字がずれている場合に、停止位置を補正します。

※ 印字条件ごとに設定しているラベル停止位置に、補正値を加算した位置が実際の停止位置となります。



【例】停止位置を 0.83mm 補正する場合

1 **POSITION** を押します。
LCD に「停止位置」が表示され、数値欄が反転表示します。



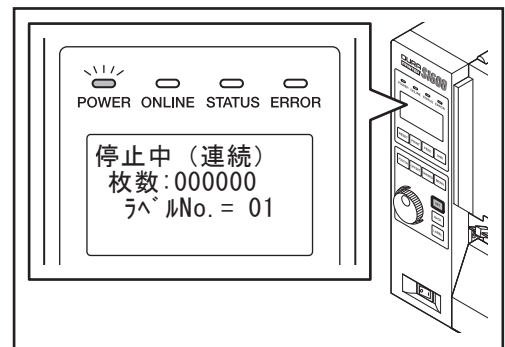
BACK を押すと、操作を中断します。

2 ダイヤルを回して、補正値を変更します。

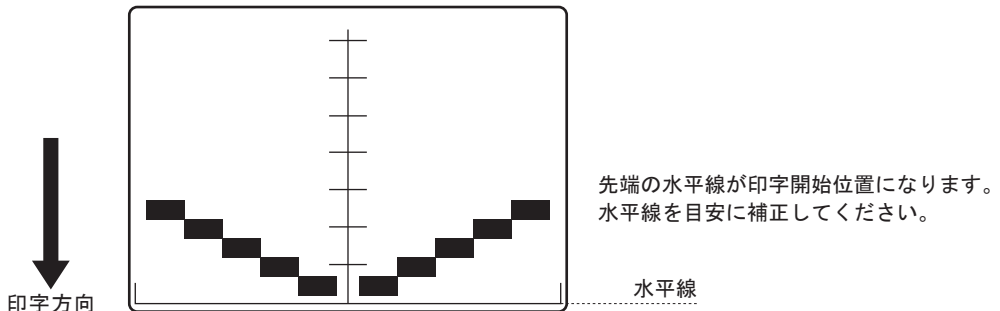


補正可能範囲 : -50.000mm～50.000mm
調整間隔 : 0.042mm

3 **SET** を押します。
補正値を確定して表示が戻り、ラベルが 1 枚テスト印字されます。



発行されたラベルの印字位置を確認し、補正が必要な場合は手順 1 から再度操作してください。



ティアオフ位置／カット位置／ハクリ位置を補正する

注 記

印字待ちのデータがある場合は、操作できません。
データを消去するか、すべての印字を行ってから操作してください。

ラベルの印字がずれている場合に、プリンタモードによる動作位置を補正します。

※ 印字条件ごとに設定している動作位置に、補正値を加算した位置が実際の動作位置となります。



プリンタモードによる動作位置の詳細については、以下をご覧ください。
ティアオフモードの場合:P.3-18「3.3.5 ティアオフ位置の設定」参照
カットモードの場合:P.3-15「3.3.2 カット位置の設定」参照
ハクリモードの場合:P.3-16「3.3.3 ハクリ位置の設定」参照



BACK を押すと、操作を中断します。

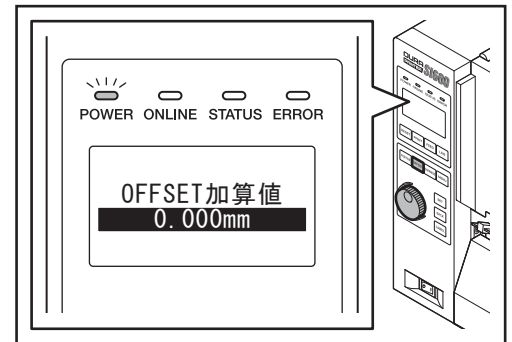
1 OFFSET を押します。

LCD に動作位置名が表示され、数値欄が反転表示します。

2 ダイヤルを回して、補正値を変更します。



補正可能範囲 : -50.000mm～50.000mm
調整間隔 : 0.042mm



3 SET を押します。

補正値を確定して表示が戻り、プリンタモードに応じたテスト処理が行われます。

テスト処理の結果を確認し、補正が必要な場合は手順 1 から再度操作してください。

ティアオフモードの場合

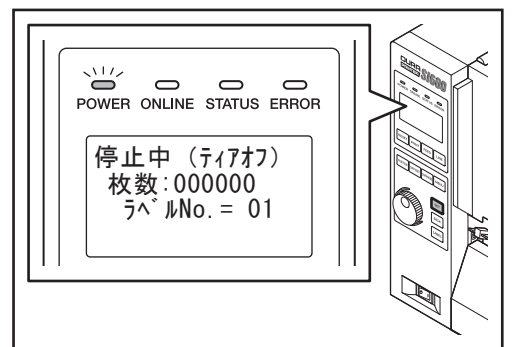
ラベルを 1 枚テスト印字し、ティアオフ動作が行われます。

カットモードの場合

ラベルを 1 枚テスト印字し、カット動作が行われます。

ハクリモードの場合

ラベルを 1 枚テスト印字し、剥離動作が行われます。



印字濃度を補正する

注 記

印字待ちのデータがある場合は、操作できません。
データを消去するか、すべての印字を行ってから操作してください。



印字濃度は 1%単位で調整できます。
ただし、補正された結果の濃度は 10%以下、および 100%以上にはなりません。



BACK を押すと、操作を中断します。

ラベルへの印字が薄いまたは濃い場合に、印字濃度を補正します。

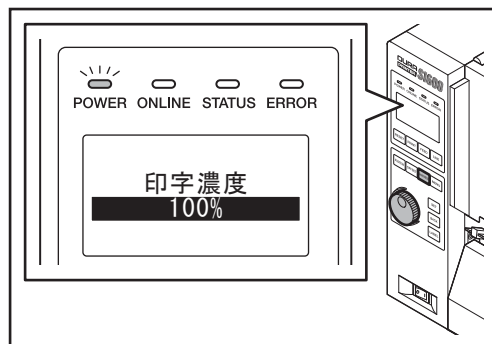
※印字条件ごとに設定している印字濃度に、補正値を加算した値が実際の印字濃度となります。

- 1 **DARKNESS** を押します。
LCD に「印字濃度」が表示され、数値欄が反転表示します。

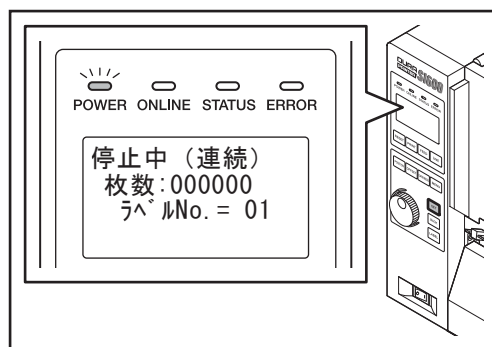
- 2 ダイヤルを回して印字濃度を補正します。



補正可能範囲：-100%～100%



- 3 **SET** を押します。
補正値を確定して表示が戻ります。



単体発行する

印字指示データを保存した CF カードを使って本機単体で印字します。

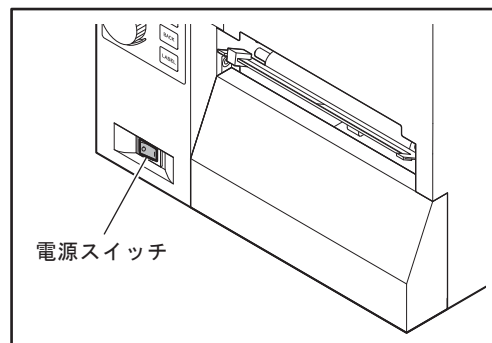
注 記 CF カードスロット(オプション)を装着しており、単体発行に設定している場合のみ行うことができます。
単体発行の設定操作については、P.3-53「3.4.12 単体発行機能の設定」をご覧ください。

▲ 注意

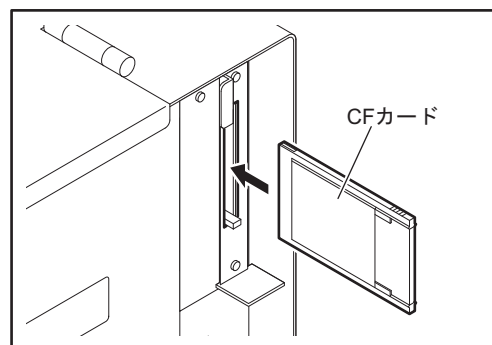
CF カードを抜き差しする場合は、必ず電源を OFF にしてから行ってください。

- 1 電源スイッチの「O」側を押して、電源を OFF にします。

POWER ランプが消灯し、電源が切れます。



- 2 印字指示データを保存した CF カードを本機背面の CF カードスロットにセットします。



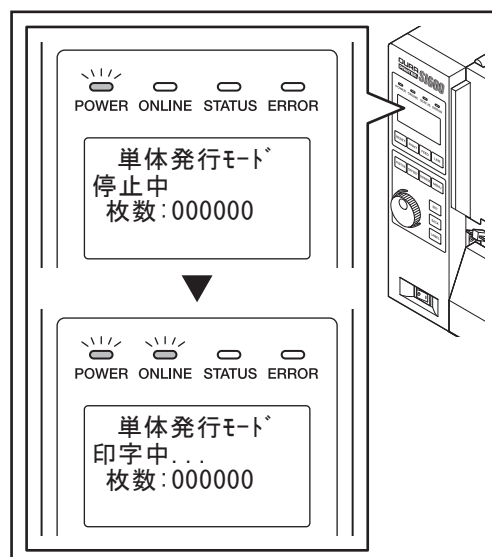
- 3 電源スイッチの「I」側を押して、電源を ON にします。

POWER ランプが点灯し、本機がオフライン状態で起動します。

- 4 **LINE** を押します。

オンライン状態に切り替わり、CF カードの印字指示データを読み取って印字が開始されます。

発行が終了すると、自動的にオフライン状態に切り替わります。



発行後に **LINE** を押してオンライン状態にすると、再発行できます。



A series of horizontal dotted lines for writing practice, consisting of 20 lines spaced evenly down the page.

第3章

設定のしかた

本機の設定方法について説明しています。

3.1 設定モードについて	3-4
3.1.1 設定モードの種類	3-4
3.1.2 設定モードの選択	3-5
3.1.3 設定モードのメニューフロー	3-6
3.2 ラベルセットモードの操作	3-7
3.2.1 印字条件を新規登録する	3-8
3.2.2 印字条件を編集する	3-9
3.2.3 印字条件を削除する	3-11
3.3 印字条件の各設定について	3-12
3.3.1 プリンタモードの設定	3-14
3.3.2 カット位置の設定	3-15
3.3.3 ハクリ位置の設定	3-16
3.3.4 ハクリ時間の設定	3-17
3.3.5 ティアオフ位置の設定	3-18
3.3.6 停止位置の設定	3-19
3.3.7 印字方法の設定	3-20
3.3.8 ラベルサイズの設定	3-21
3.3.9 ラベルセンサの設定	3-24
3.3.10 透過センサ／反射センサの調整	3-25
3.3.11 ラベル検出位置の設定	3-28
3.3.12 印字速度の設定	3-29
3.3.13 印字濃度の設定	3-30
3.3.14 プラテンローラの調整	3-31
3.3.15 QRコードの印字設定	3-32

3.3.16	連続紙の設定	3-33
3.3.17	基点開始位置の補正	3-35
3.3.18	印字条件の設定	3-37
3.3.19	ティアオフ時間の設定	3-38
3.3.20	パルス分割印字の設定	3-39
3.3.21	ラベル・リボンの組合せ	3-40
3.3.22	ラベルスキップ	3-41
3.4	アドバンスモードの操作	3-42
3.4.1	プリンタ情報の確認	3-43
3.4.2	カットのバックフィードの設定	3-43
3.4.3	漢字コードの設定	3-44
3.4.4	ゼロスラッシュの設定	3-45
3.4.5	漢字フォントの設定	3-46
3.4.6	印字濃度の調整	3-47
3.4.7	ヘッドチェックの設定	3-48
3.4.8	オンライン起動の設定	3-49
3.4.9	起動時紙送りの設定	3-50
3.4.10	エラー時再発行の設定	3-51
3.4.11	発行ログ機能の設定	3-52
3.4.12	単体発行機能の設定	3-53
3.4.13	JANの可読文字の設定	3-54
3.4.14	外部信号の設定	3-55
3.4.15	総走行距離の確認	3-55
3.4.16	ヘッド走行距離の確認	3-56
3.4.17	プラテン走行距離の確認	3-56
3.4.18	カッタ動作回数の確認	3-56
3.4.19	座標補正の設定	3-57
3.4.20	初期値設定	3-58
3.4.21	LCDの輝度調整	3-59
3.4.22	最終ラベル処理の設定	3-60
3.4.23	ブザー音の設定	3-61
3.4.24	言語表示の設定	3-62
3.4.25	暗証番号の登録	3-63
3.4.26	キーロックの設定	3-64
3.5	インターフェースモードの操作	3-65
3.5.1	プロトコルの設定	3-65
3.5.2	LANの通信設定	3-66
3.5.3	RS-232Cの通信設定	3-67
3.5.4	RS-232Cの通信設定条件の確認	3-68
3.6	テスト印字モードの操作	3-69
3.6.1	設定内容の印字	3-69

3.6.2	バーコードの印字	3-70
3.6.3	ヘッド状態の印字	3-71
3.6.4	フォントの印字	3-72
3.6.5	検査パターンの印字	3-72
3.6.6	CFカード内容の印字	3-73
3.7	ダンプモードの操作	3-74
3.7.1	オンラインダンプの実施	3-74
3.7.2	受信済みダンプの実施	3-76
3.8	センサチェックモードの操作	3-78
3.8.1	透過センサ／反射センサの確認	3-79
3.8.2	ヘッドアップセンサの確認	3-80
3.8.3	送りローラセンサの確認	3-81
3.8.4	リボンセンサの確認	3-82
3.8.5	ダンパセンサの確認	3-83
3.8.6	ヘッド温度の確認	3-84
3.8.7	プリンタ内温度の確認	3-84
3.8.8	ハクリセンサの確認	3-85
3.8.9	外部信号(入力)の確認	3-86
3.8.10	外部信号(出力)の確認	3-87
3.8.11	エンドテープセンサの確認	3-88
3.9	バージョンアップモードの操作	3-89
3.9.1	オンラインによるバージョンアップ	3-89
3.9.2	CFカードからのバージョンアップ	3-90

3.1 設定モードについて

設定モードで、印字するために必要な設定やテスト印字などを行うことができます。

3.1.1 設定モードの種類

設定モードは、「ラベルセット」「アドバンス」「インターフェース」「テスト印字」「ダンプ」「センサチェック」「バージョンアップ」の 7 種類あり、設定モードを指定することで詳細な設定項目を選択して設定することができます。

設定モード	内 容
ラベルセット	ラベルサイズや印字濃度など、ラベルの印字条件を設定することができます。 印字条件は、用途によってラベル No.01～100 まで登録することができます。
アドバンス	LCD の輝度調整や言語切り替えなど、本機の基本動作について設定することができます。
インターフェース	取り付けしたインターフェースボード(オプション)の通信設定を行うことができます。 インターフェースの種類によって表示内容は異なります。
テスト印字	デモパターン印字やバーコード印字など、印字状態を確認するためにテスト印字することができます。 また、サーマルヘッドのヘッドチェックを行ったり設定内容を印字することもできます。
ダンプ	コンピュータから受信した印字指示の内容を印字、またはファイルとして CF カード(オプション)に書き込むことができます。
センサチェック	各センサが正常かどうか動作チェックを行うことができます。
バージョンアップ	コンピュータまたは CF カードから本機のプログラムを書き換えることができます。

3.1.2 設定モードの選択

ここでは、通常モードから各設定モードへ移行する操作方法について説明します。

1 オフライン状態にします。

LINE を押すごとに、ONLINE ランプが点灯(オンライン状態)⇔消灯(オフライン状態)します。

2 設定操作する印字条件を選択します。

印字条件の選択操作については、P.2-7「印字条件(ラベル No.)を変更する」をご覧ください。

3 **MENU** を押します。

設定モードに移行し、LCD に設定モード「ラベルセット」が表示されます。

4 ダイアルを回して任意の設定モードを表示します。

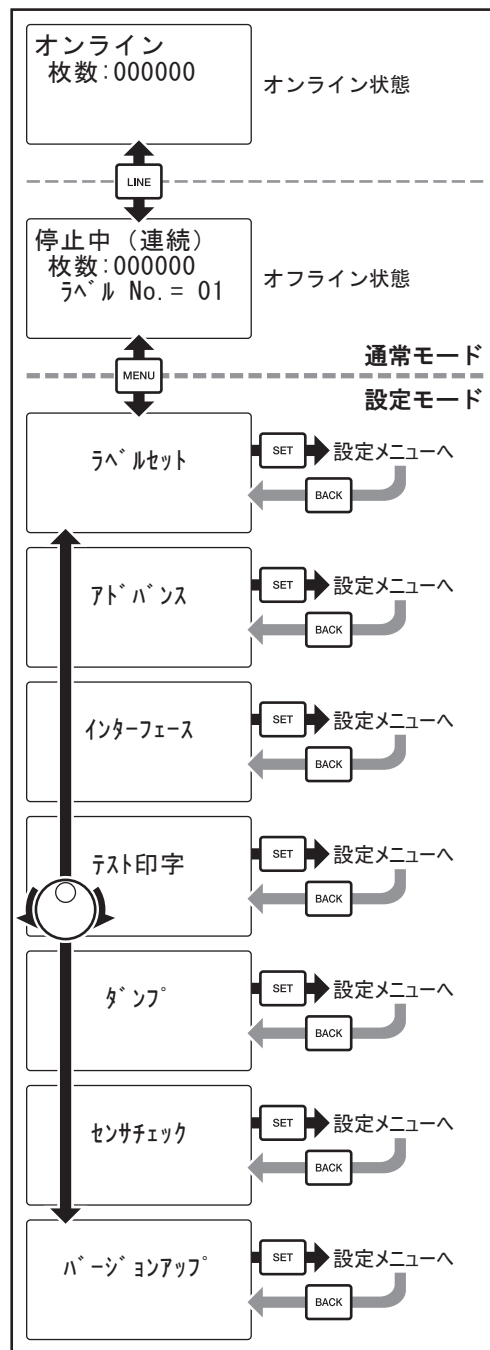


5 **SET** を押します。

設定モードを決定し、設定メニューが表示されます。

各設定メニューの操作については、以下のページをご覧ください。

- ・ **ラベルセットモード**
P.3-7「3.2 ラベルセットモードの操作」をご覧ください。
- ・ **アドバンスモード**
P.3-42「3.4 アドバンスモードの操作」をご覧ください。
- ・ **インターフェースモード**
P.3-65「3.5 インターフェースモードの操作」をご覧ください。
- ・ **テスト印字モード**
P.3-69「3.6 テスト印字モードの操作」をご覧ください。
- ・ **ダンプモード**
P.3-74「3.7 ダンプモードの操作」をご覧ください。
- ・ **センサチェックモード**
P.3-78「3.8 センサチェックモードの操作」をご覧ください。
- ・ **バージョンアップモード**
P.3-89「3.9 バージョンアップモードの操作」をご覧ください。



MENU を押すごとに、通常モード(オフライン状態)⇔設定モード(ラベルセット)に切り替わります。



設定モード決定後に **BACK** を押すと、設定モードの選択に戻ります。

3.1.3 設定モードのメニューフロー



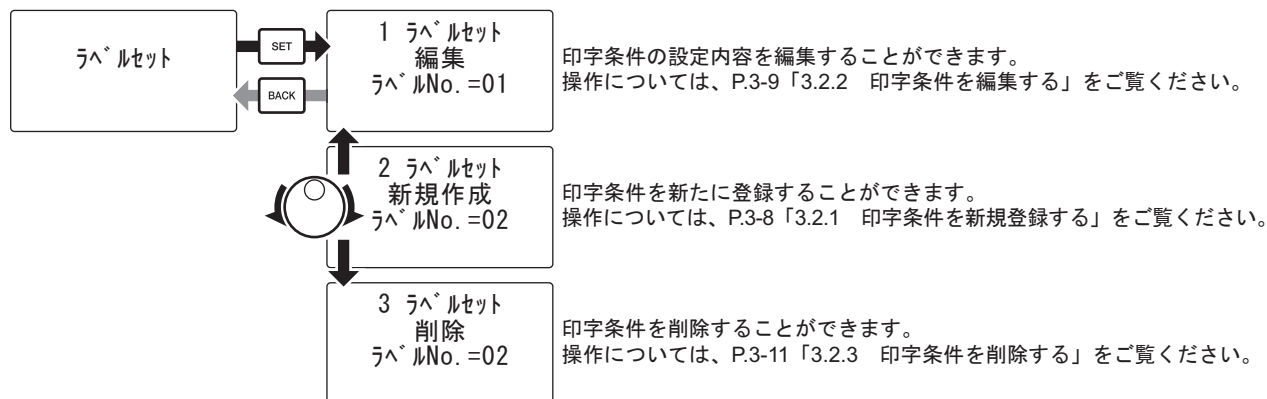
3.2 ラベルセットモードの操作

ラベルセットモードでは、ラベルサイズや印字濃度、ラベルの発行停止位置など、ラベルの印字条件を設定することができます。

印字条件はラベル No.で管理されており、ラベルの種類や用途によって複数登録することができます。

本機では、ラベル No.01～100 まで登録が可能で、出荷時は初期値として No.01 のみ登録されています。

ラベルセットモードに移行後、ダイヤルを回して印字条件の処理区分(編集/新規登録/削除)を選択します。



3.2.1 印字条件を新規登録する

印字条件を新規登録する方法について説明します。

注 記 ここでは、印字条件(ラベル No.)を新規に登録するだけです。
ラベル No.を新規登録後、P.3-9「3.2.2 印字条件を編集する」を参照して印字条件の設定を行ってください。



参考
BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

1 ラベルセットモードで、ダイヤルを回して「新規作成」を表示します。



2 SET を押します。

コピー元の選択操作に移行し、選択欄が反転表示します。

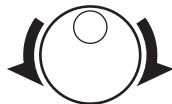
3 ダイアルを回してコピー元となる印字条件を表示します。



4 SET を押します。

コピー元となる印字条件を決定して登録するラベル No.の選択操作に移行し、選択欄が反転表示します。

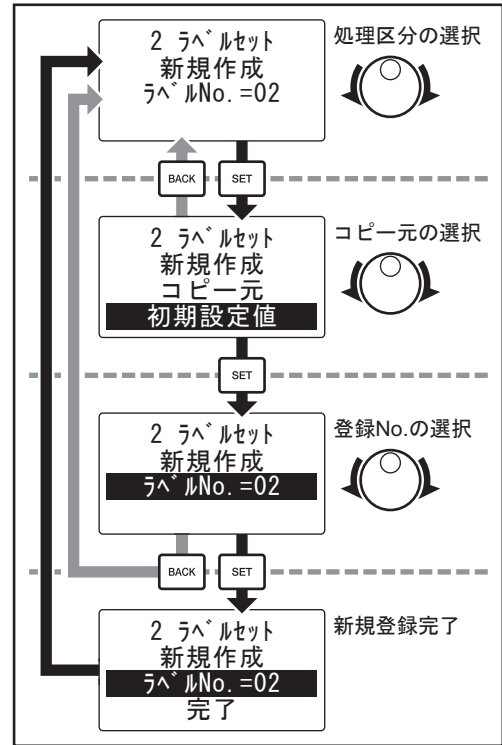
5 ダイアルを回して新規作成する印字条件(ラベル No.)を表示します。



6 SET を押します。

印字条件を新規登録し、処理区分の選択操作に戻ります。

続いて、P.3-9「3.2.2 印字条件を編集する」を参照して新規登録した印字条件の各項目を設定してください。



参考
BACK を押すと、作業を中止して処理区分の選択操作に戻ります。



参考
BACK を押すと、作業を中止して処理区分の操作選択に戻ります。

3.2.2 印字条件を編集する

印字条件を編集する方法について説明します。

注意 変更した印字条件を本機単体では復旧できません。
事前に、コンピュータまたは CF カードにバックアップするなどしておいてください。



参考

BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

- 1 ラベルセットモードで、ダイヤルを回して「編集」を表示します。



- 2 SET を押します。

印字条件の選択操作に移行し、ラベル No. 欄が反転表示します。



参考

BACK を押すと、作業を中止して処理区分の選択操作に戻ります。

- 3 ダイヤルを回して編集する印字条件(ラベル No.)を表示します。



- 4 SET を押します。

編集作業に移行し、LCD の 3 行目に設定メニュー「プリンタモード」が表示されます。



参考

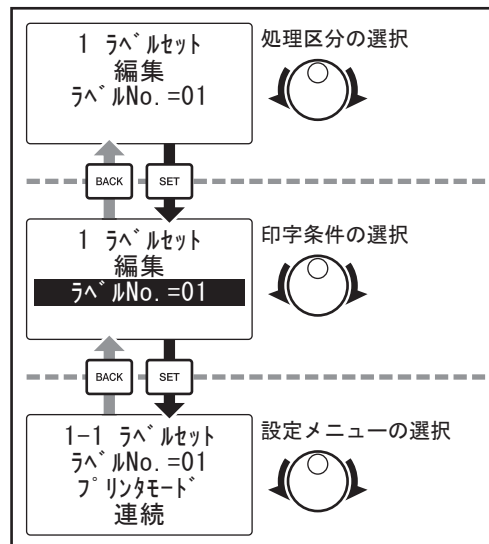
BACK を押すと、印字条件の選択操作に戻ります。

- 5 ダイヤルを回して設定メニューを表示します。



編集が必要な設定メニューをすべて作業してください。

印字条件の設定メニューの種類については、P.3-10「■ 印字条件の設定メニュー」をご覧ください。



■ 印字条件の設定メニュー

設定メニュー	内 容	参照ページ
1-1 プリンタモード	発行後の動作方法を設定します。	P.3-14
1-2 カット位置	印字後、用紙をカットするための動作位置を設定します。 ※ 設定メニュー「1-1 プリンタモード」で“カット”を選択した場合のみ表示・設定 できます。	P.3-15
1-3 ハクリ位置	印字後、用紙を剥離するための動作位置を設定します。 ※ 設定メニュー「1-1 プリンタモード」で“ハクリ”を選択した場合のみ表示・設定 できます。	P.3-16
1-4 ハクリ時間	印字後、用紙を剥離するための待機時間を設定します。 ※ 設定メニュー「1-1 プリンタモード」で“ハクリ”を選択した場合のみ表示・設定 できます。	P.3-17
1-5 ティアオフ位置	印字後、用紙をティアオフ動作するための動作位置を設定します。 ※ 設定メニュー「1-1 プリンタモード」で“ティアオフ”を選択した場合のみ表示・ 設定できます。	P.3-18
1-6 停止位置	ラベルセンサのラベル検出位置を補正します。	P.3-19
1-7 印字方法	印字用紙の種類(感熱式/転写式)を設定します。	P.3-20
1-8 ラベルサイズ	ラベルのサイズ(幅、長さ、ラベル間のピッチ)を設定します。	P.3-21
1-9 ラベルセンサ	ラベル検出に使用するラベルセンサの種類を設定します。	P.3-24
1-10 透過 1 センサ調整	透過 1 センサの感度を調整します。	P.3-25
1-11 透過 2 センサ調整	透過 2 センサの感度を調整します。	P.3-25
1-12 反射 1 センサ調整	反射 1 センサの感度を調整します。	P.3-25
1-13 反射 2 センサ調整	反射 2 センサの感度を調整します。	P.3-25
1-14 ラベル検出位置	ラベル検出位置(先端/後端)を設定します。	P.3-28
1-15 印字速度	印字速度を設定します。	P.3-29
1-16 印字濃度	印字濃度を設定します。	P.3-30
1-17 プラテン調整	プラテンローラの周長を補正します。	P.3-31
1-18 QR コード印字	QR コードを印字するときの印字品質を設定します。	P.3-32
1-19 連続紙仕様	連続紙の使用許可、および使用時の紙送り動作に関する補正値を設定します。	P.3-33
1-20 基点開始位置補正	印字の開始位置を補正します。	P.3-35
1-21 指定印字条件	本機とコンピュータ側アプリケーションのどちらで設定した印字条件を有効にする かを設定します。	P.3-37
1-22 ティアオフ時間	印字後、用紙をティアオフ動作するための遅れ時間を設定します。 ※ 設定メニュー「1-1 プリンタモード」で“ティアオフ”を選択した場合のみ表示・ 設定できます。	P.3-38
1-23 パルス分割印字	サーマルヘッドで印字するときの印字方式を設定します。	P.3-39
1-24 ラベル・リボン組合せ	ラベルとリボンの組合せ番号を設定します。	P.3-40
1-25 ラベルスキップ	ラベルが剥がれたときのエラー条件を設定します。	P.3-41

3.2.3 印字条件を削除する

印字条件を削除する方法について説明します。

注意 削除した印字条件を本機単体では復旧できません。
事前に、コンピュータまたは CF カードにバックアップするなどしておいてください。

注記 ラベル No.01 は初期設定情報を記憶しているため削除できません。



参考
BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

1 ラベルセットモードで、ダイヤルを回して「削除」を表示します。



2 SET を押します。

削除データの選択操作に移行し、選択欄が反転表示します。

3 ダイヤルを回して削除する印字条件(ラベル No.)を表示します。



4 SET を押します。

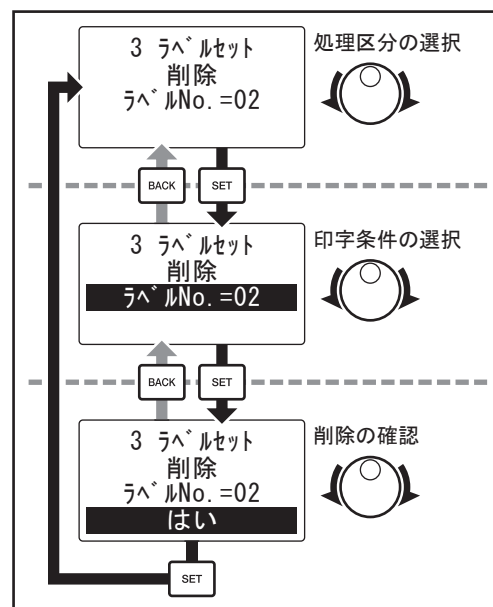
削除の確認画面に移行します。

5 ダイヤルを回して「はい」を表示します。



6 SET を押します。

印字条件を削除し、処理区分の選択操作に戻ります。



参考
BACK を押すと、作業を中止して処理区分の選択操作に戻ります。



参考
BACK を押すと、印字条件の選択操作に戻ります。



参考
「いいえ」を表示して SET を押すと、印字条件を削除せずに処理区分の選択操作に戻ります。

3.3 印字条件の各設定について

ここでは、ラベルセットモードの各設定メニューの操作方法について説明しています。

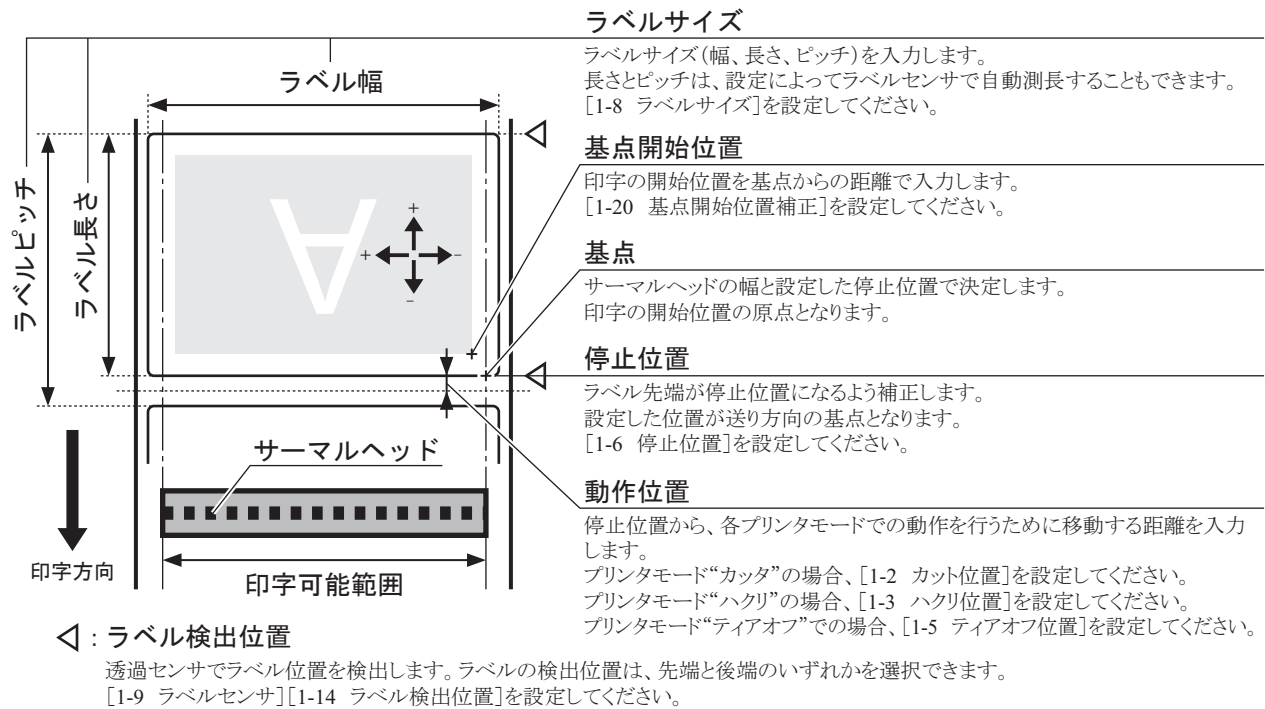
使用する印字用紙やプリンタの動作方法など、用途によって印字条件の設定内容は異なります。

以下に各用紙、プリンタモードでのサイズに関する設定項目について説明します。設定の参考にしてください。

- ※ 設定可能な最大ラベル幅は、印字可能範囲の 109.0mm までです。
 セットできるラベル幅については、P.6-4「6.2 仕様」をご覧ください。

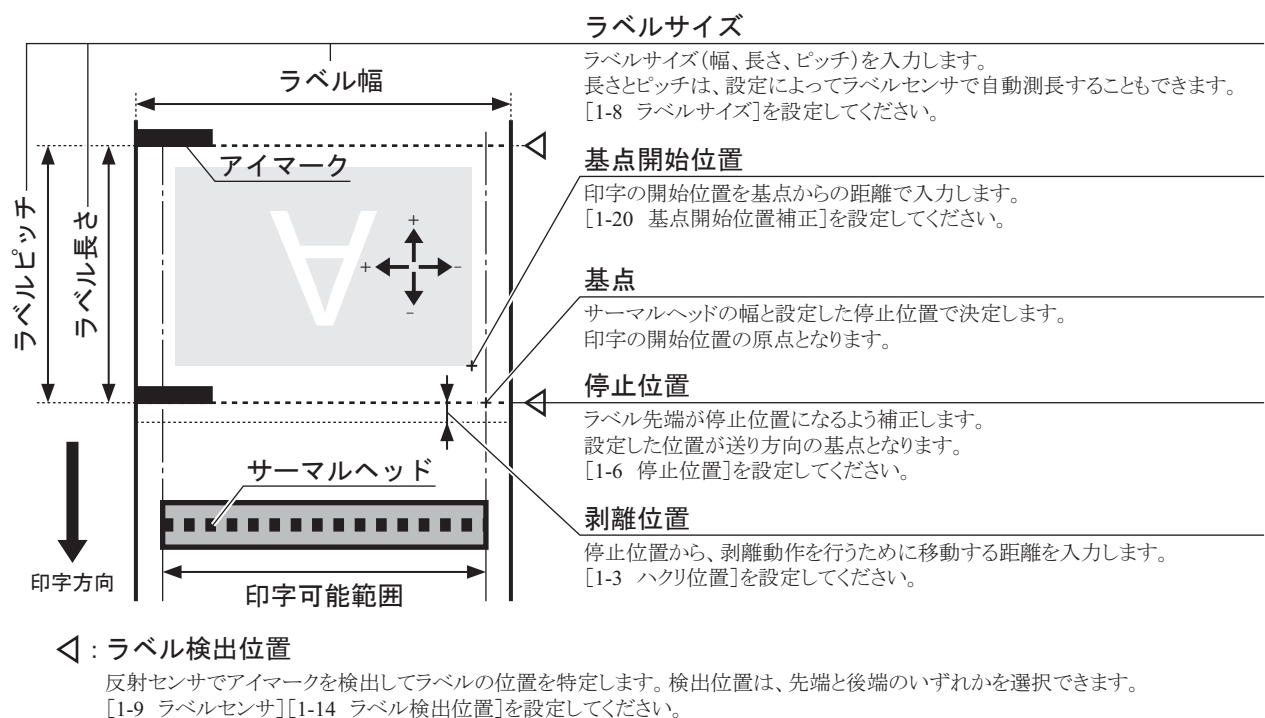
■台紙付きラベルを使用する場合

台紙付きラベルでは、印字位置や発行物のサイズについて以下の設定を行う必要があります。



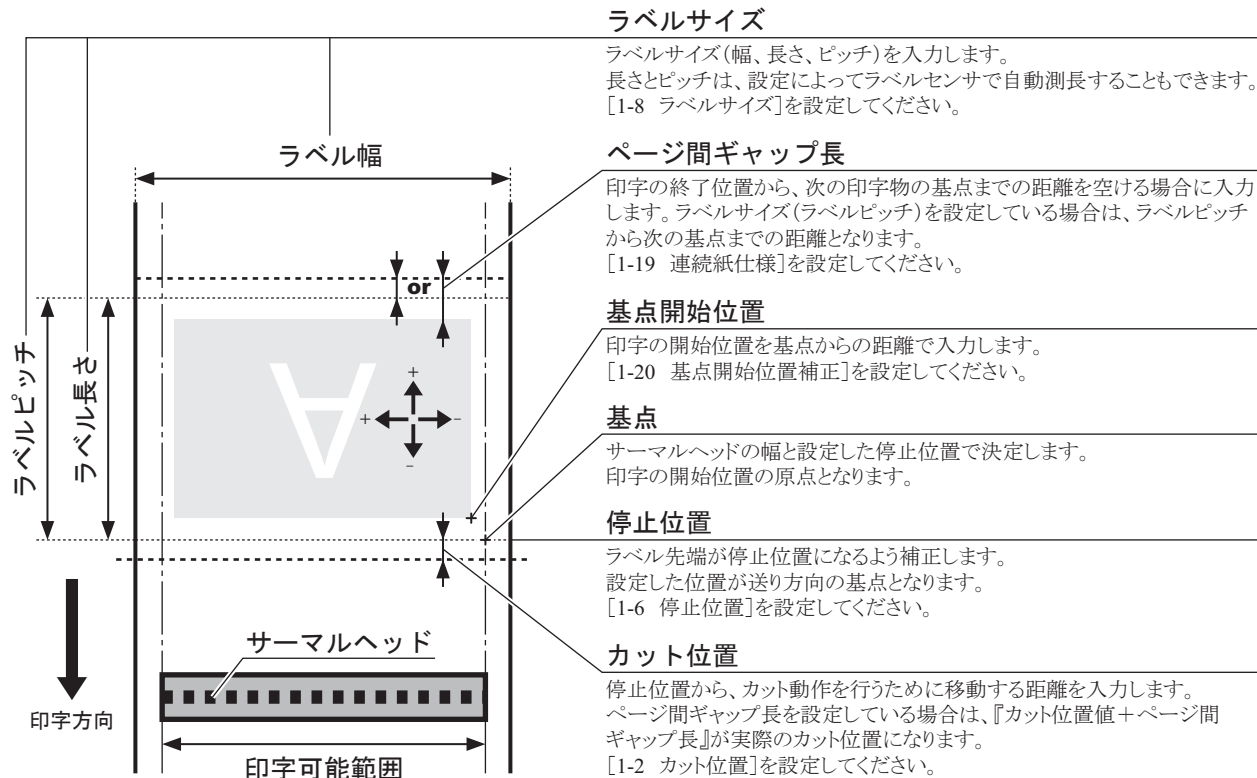
■アイマーク付きラベルを使用する場合

アイマーク付きラベルでは、印字位置や発行物のサイズについて以下の設定を行う必要があります。



■ 連続紙を使用する場合

連続紙では、印字位置や発行物のサイズについて以下の設定を行う必要があります。



ラベルサイズ

ラベルサイズ(幅、長さ、ピッチ)を入力します。
長さやピッチは、設定によってラベルセンサで自動測長することもできます。
[1-8 ラベルサイズ]を設定してください。

ページ間ギャップ長

印字の終了位置から、次の印字物の基点までの距離を空ける場合に入力します。ラベルサイズ(ラベルピッチ)を設定している場合は、ラベルピッチから次の基点までの距離となります。
[1-19 連続紙仕様]を設定してください。

基点開始位置

印字の開始位置を基点からの距離で入力します。
[1-20 基点開始位置補正]を設定してください。

基点

サーマルヘッドの幅と設定した停止位置で決定します。
印字の開始位置の原点となります。

停止位置

ラベル先端が停止位置になるよう補正します。
設定した位置が送り方向の基点となります。
[1-6 停止位置]を設定してください。

カット位置

停止位置から、カット動作を行うために移動する距離を入力します。
ページ間ギャップ長を設定している場合は、『カット位置値+ページ間ギャップ長』が実際のカット位置になります。
[1-2 カット位置]を設定してください。

◁ : ラベル検出位置

連続紙では、ラベル位置を検出しません。
[1-9 ラベルセンサ]を設定してください。

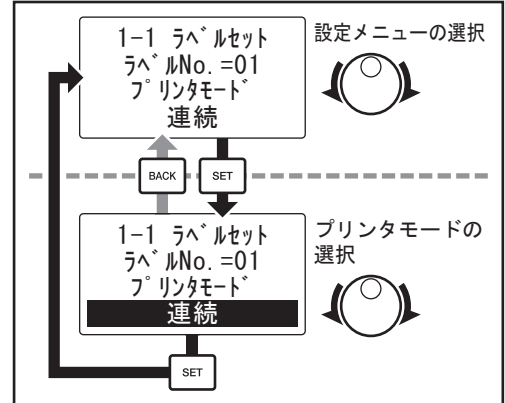
3.3.1 プリンタモードの設定

発行後の動作方法を設定します。

- ラベルセットモード(編集)で「プリンタモード」を表示します。
LCDの4行目には、現在の設定値が表示されています。

- SET** を押します。
プリンタモードの選択操作に移行し、選択欄が反転表示します。

- ダイヤルを回して任意のプリンタモードを表示します。



参考

BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。

プリンタモード	動作内容
連続	用紙を連続して発行します。
ティアオフ	発行した用紙をカット後、印字位置まで戻して次の発行動作に移ります。
カット	発行した用紙をカットし、次の発行動作に移ります。 ※ カッタユニット(オプション)を装着している場合に有効となります。 ※ 最大カット能力は、40回/分です。
ハクリ	発行した用紙を剥離し、一定時間待機して次の発行動作に移ります。 ※ 剥離ユニット(オプション)を装着している場合に有効となります。

- SET** を押します。
プリンタモードを確定し、設定メニューの選択操作に戻ります。

3.3.2 カット位置の設定

印字後、用紙をカットするための動作位置を設定します。

注 記 設定メニュー「1-1 プリンタモード」で“カット”を選択した場合のみ、表示されます。
 選択操作については、P.3-14「3.3.1 プリンタモードの設定」をご覧ください。

1 ラベルセットモード(編集)で「カット位置」を表示します。

LCD の 4 行目には、現在の設定値が表示されています。

2 **SET** を押します。

カット位置の設定操作に移行し、数値欄が反転表示します。

3 ダイヤルを回して設定値を表示します。

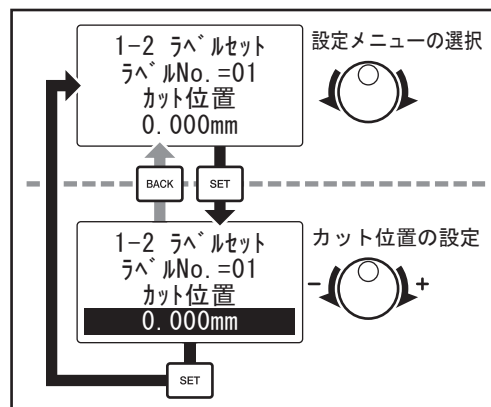


設定可能範囲 : -50.000mm～50.000mm

調整間隔 : 0.042mm

4 **SET** を押します。

カット位置を確定して設定メニューの選択操作に戻り、ラベルが 1 枚テスト印字されます。



BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。

3.3.3 ハクリ位置の設定

印字後、用紙を剥離するための動作位置を設定します。

注 記 設定メニュー「1-1 プリンタモード」で“ハクリ”を選択した場合のみ、表示されます。
選択操作については、P.3-14「3.3.1 プリンタモードの設定」をご覧ください。

- 1 ラベルセットモード(編集)で「ハクリ位置」を表示します。
LCDの4行目には、現在の設定値が表示されています。

- 2 **SET** を押します。
剥離位置の設定操作に移行し、数値欄が反転表示します。

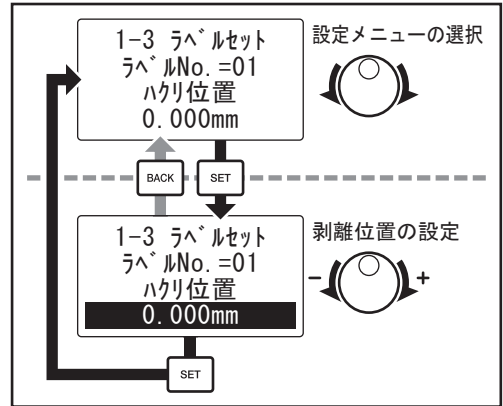
- 3 ダイヤルを回して設定値を表示します。



設定可能範囲 : -50.000mm~50.000mm
調整間隔 : 0.042mm

- 4 **SET** を押します。

剥離位置を確定して設定メニューの選択操作に戻り、ラベルが1枚テスト印字されます。



参考

BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。

3.3.4 ハクリ時間の設定

印字後、用紙を剥離するための待機時間を設定します。

注 記 設定メニュー「1-1 プリンタモード」で「ハクリ」を選択した場合のみ、表示されます。
 選択操作については、P.3-14「3.3.1 プリンタモードの設定」をご覧ください。

1 ラベルセットモード(編集)で「ハクリ時間」を表示します。

LCD の 4 行目には、現在の設定値が表示されています。

2 **SET** を押します。

剥離時間の設定操作に移行し、数値欄が反転表示します。

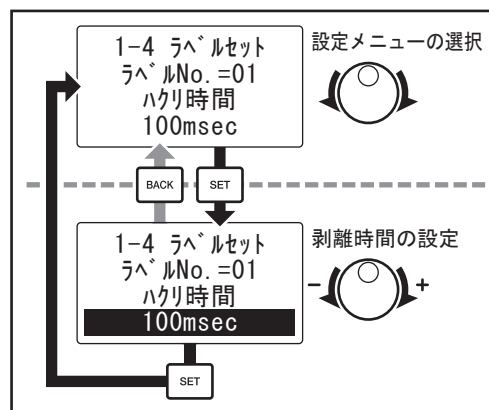
3 ダイヤルを回して設定値を表示します。



設定可能範囲:0msec~5000msec

4 **SET** を押します。

剥離時間を確定し、設定メニューの選択操作に戻ります。



参考

BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。



1msec 単位で調整できます。

3.3.5 ティアオフ位置の設定

印字後、用紙をティアオフ動作するための動作位置を設定します。

注 記 設定メニュー「1-1 プリンタモード」で“ティアオフ”を選択した場合のみ、表示されます。
選択操作については、P.3-14「3.3.1 プリンタモードの設定」をご覧ください。

1 ラベルセットモード(編集)で「ティアオフ位置」を表示します。
LCDの4行目には、現在の設定値が表示されています。

2 **SET** を押します。
ティアオフ位置の設定操作に移行し、数値欄が反転表示します。

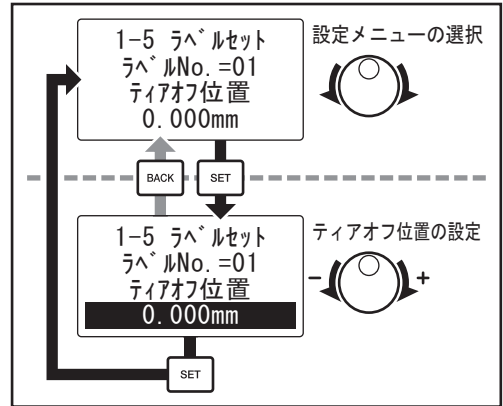
3 ダイヤルを回して設定値を表示します。



設定可能範囲: -15.000mm ~ 15.000mm
調整間隔 : 0.042mm

4 **SET** を押します。

ティアオフ位置を確定して設定メニューの選択操作に戻り、ラベルが1枚テスト印字されます。



参考

BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。

3.3.6 停止位置の設定

ラベルセンサのラベル検出位置を設定します。

1 ラベルセットモード(編集)で「停止位置」を表示します。

LCD の 4 行目には、現在の設定値が表示されています。

2 を押します。

停止位置の設定操作に移行し、数値欄が反転表示します。

3 ダイヤルを回して設定値を表示します。

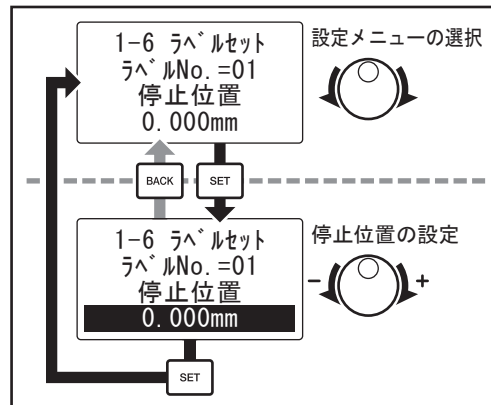


設定可能範囲 : -50.000mm～50.000mm

調整間隔 : 0.042mm

4 を押します。

停止位置を確定して設定メニューの選択操作に戻り、ラベルが 1 枚テスト印字されます。



参考

を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。

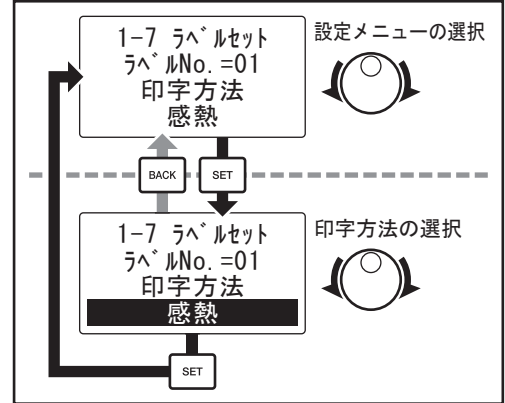
3.3.7 印字方法の設定

印字用紙の種類(感熱式/転写式)を設定します。

- 1 ラベルセットモード(編集)で「印字方法」を表示します。
LCDの4行目には、現在の設定値が表示されています。

- 2 **SET** を押します。
印字方法の選択操作に移行し、選択欄が反転表示します。

- 3 ダイヤルを回して印字方法を表示します。



参考

BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。

印字方法	内 容
感熱	用紙に感熱紙を uses。
転写	用紙に転写紙を uses。

- 4 **SET** を押します。
印字方法を確定し、設定メニューの選択操作に戻ります。

3.3.8 ラベルサイズの設定

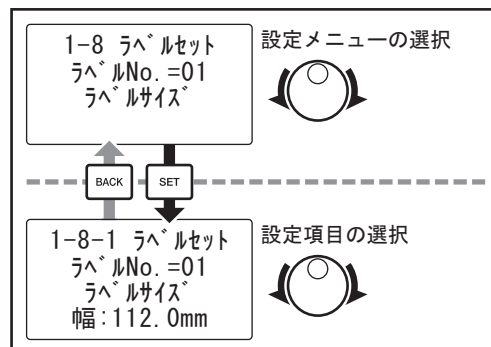
ラベルのサイズ(幅、長さ、ラベルの間隔(ピッチ))を設定します。

1 ラベルセットモード(編集)で「ラベルサイズ」を表示します。

2 **SET** を押します。

設定項目の選択操作に移行し、LCD の4行目に「幅」が表示されます。

3 ダイアルを回して設定項目を表示します。



BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。



ラベルサイズの設定は、3-12 ページ「**■**台紙付きラベルを使用する場合」、「**■**アイマーク付きラベルを使用する場合」、3-13 ページ「連続紙を使用する場合」をご確認の上、行ってください。

設定項目	内容
幅	ラベルの横幅を設定します。 操作については、後述の「 ■ ラベル幅を設定する」をご覧ください。
長さ	ラベルの縦幅を設定します。 操作については、後述の「 ■ ラベルの長さを設定する」をご覧ください。
ピッチ	ラベル先端から次のラベルまでの距離(ピッチ)を設定します。 操作については、後述の「 ■ ラベルピッチを設定する」をご覧ください。
自動測長	ラベルの縦幅を紙送りしたときに自動測定した値にするかどうかを設定します。 操作については、後述の「 ■ 自動測長を設定する」をご覧ください。

■ラベル幅を設定する

1 「幅」を表示します。

LCD の4行目には、現在の設定値が表示されています。

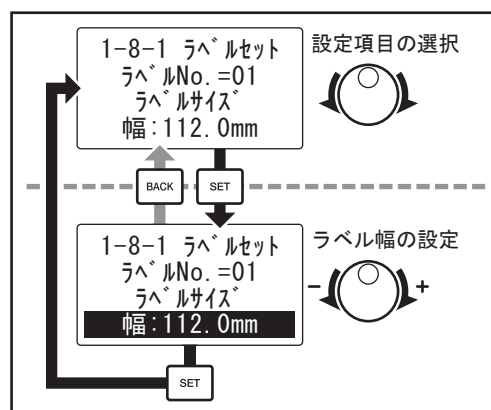
2 **SET** を押します。

ラベル幅の設定操作に移行し、幅欄が反転表示します。

3 ダイアルを回してラベル幅を表示します。



設定可能範囲:1.0mm~109.0mm



BACK を押すと、設定項目の選択操作に戻ります。



0.1mm 単位で調整できます。

4 **SET** を押します。

ラベル幅を確定し、設定項目の選択操作に戻ります。

■ラベルの長さを設定する

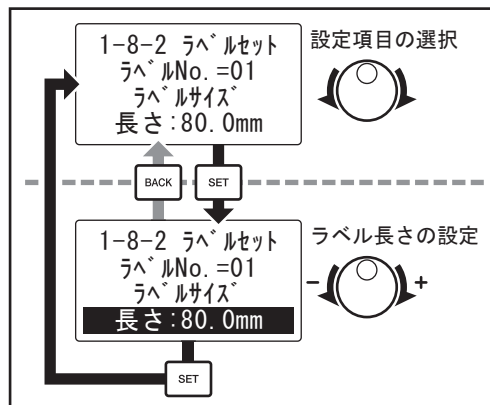
1 「長さ」を表示します。
LCD の 4 行目には、現在の設定値が表示されています。

2 **SET** を押します。
ラベル長さの設定操作に移行し、長さ欄が反転表示します。

3 ダイアルを回してラベルの長さを表示します。



設定可能範囲：1.0mm～400.0mm



4 **SET** を押します。
ラベルの長さを確定し、設定項目の選択操作に戻ります。



参考

BACK

を押すと、設定項目の選択操作に戻ります。



参考

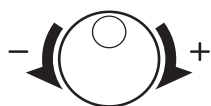
0.1mm 単位で調整できます。

■ラベルピッチを設定する

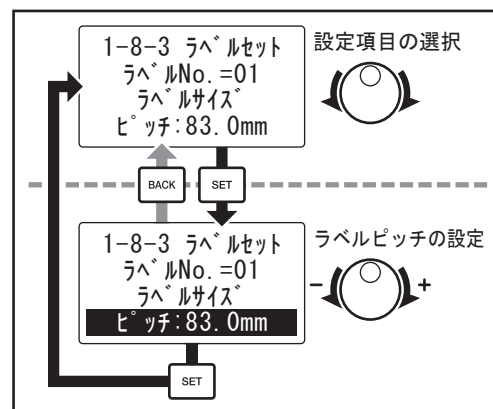
1 「ピッチ」を表示します。
LCD の 4 行目には、現在の設定値が表示されています。

2 を押します。
ラベルピッチの設定操作に移行し、ピッチ欄が反転表示します。

3 ダイヤルを回してラベルピッチを表示します。



設定可能範囲: 1.0mm~400.0mm



を押すと、設定項目の選択操作に戻ります。



0.1mm 単位で調整できます。

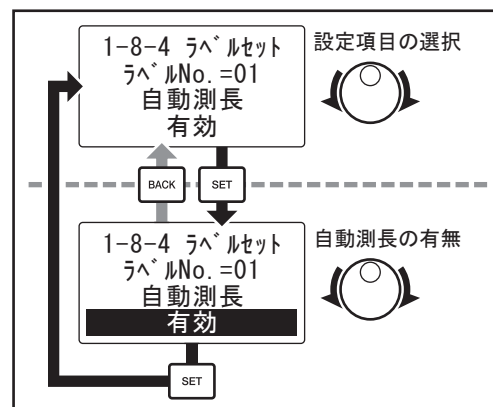
4 を押します。
ラベルピッチを確定し、設定項目の選択操作に戻ります。

■自動測長を設定する

1 「自動測長」を表示します。
LCD の 4 行目には、現在の設定値が表示されています。

2 を押します。
自動測長の設定操作に移行し、選択欄が反転表示します。

3 ダイヤルを回して「無効／有効」を表示します。



を押すと、設定項目の選択操作に戻ります。

自動測長	内容
無効	手入力による設定をラベルの縦幅とし、自動測長は行いません。
有効	ラベルセンサによって自動測長した値をラベルの縦幅として設定します。

4 を押します。
自動測長の設定を確定し、設定項目の選択操作に戻ります。
自動測長を“有効”に設定した場合、 を押して紙送りしたときに自動測長したラベル長さが設定値となります。

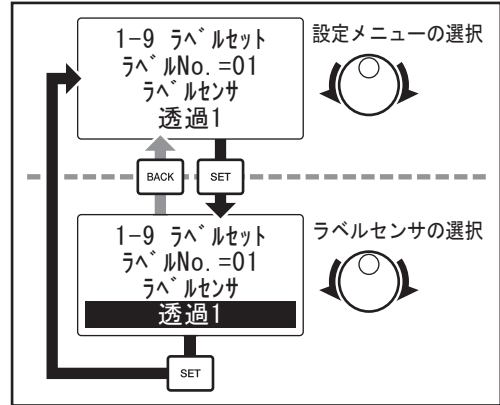
3.3.9 ラベルセンサの設定

ラベル検出に使用するラベルセンサの種類を設定します。
使用する印字用紙によって、検出するセンサは異なります。

1 ラベルセットモード(編集)で「ラベルセンサ」を表示します。
LCDの4行目には、現在の設定値が表示されています。

2 **SET** を押します。
ラベルセンサの選択操作に移行し、選択欄が反転表示します。

3 ダイアルを回して使用するラベルセンサを表示します。



参考
BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。



ラベルセンサ	内 容
透過	<p>ラベルの透過率によってラベル検出を行う場合に選択します。 通常は透過1センサを使用します。 対象用紙: 台紙付きラベル</p> <p>※ 次の計算式を参考にしてラベルピッチ(p)により透過センサ1と2を使い分けてください。 ラベルピッチがどちらにも当てはまらない場合は透過センサ1を使ってください。 ラベルピッチがどちらにも当てはまる場合はラベルエラーやスキップが発生する場合があります。(この範囲に入らないようなラベルピッチを選択してください。)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>透過センサ2</p> $P = \left[\frac{36 \pm 1}{N} \right] (N=1 \sim 8)$ </div> <div style="text-align: center;"> <p>透過センサ1</p> $P = \left[\frac{41 \pm 1}{N} \right] (N=1 \sim 8)$ </div> </div>
反射	<p>ラベルの反射率によってラベル検出を行う場合に選択します。 通常は反射1センサを使用します。 対象用紙: アイマーク付きラベル</p> <p>※ 次の計算式を参考にしてラベルピッチ(p)により反射センサ1と2を使い分けてください。 ラベルピッチがどちらにも当てはまらない場合は反射センサ1を使ってください。 ラベルピッチがどちらにも当てはまる場合はラベルエラーやスキップが発生する場合があります。(この範囲に入らないようなラベルピッチを選択してください。)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>反射センサ2</p> $P = \left[\frac{35 \pm 1}{N} \right] (N=1 \sim 8)$ </div> <div style="text-align: center;"> <p>反射センサ1</p> $P = \left[\frac{41 \pm 1}{N} \right] (N=1 \sim 8)$ </div> </div>
無効	<p>ラベル検出を行わない場合に選択します。 対象用紙: 連続紙</p>

4 **SET** を押します。

使用するラベルセンサを確定し、設定メニューの選択操作に戻ります。

3.3.10 透過センサ／反射センサの調整

センサの感度を調整します。

透過 1 センサ、透過 2 センサ、反射 1 センサ、反射 2 センサともに操作は同じため、ここでは「透過 1 センサ調整」を例に説明します。

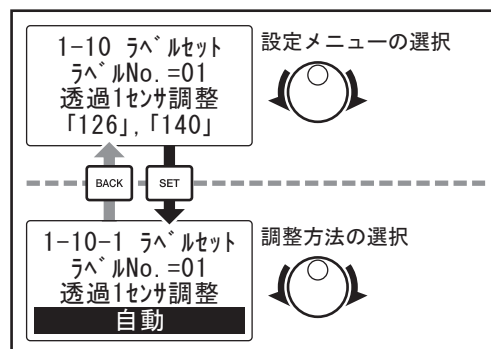
1 ラベルセットモード(編集)で「透過 1 センサ調整」を表示します。

LCD の 4 行目には、現在の設定値(左に光量、右にしきい値)が表示されています。

2 **SET** を押します。

調整方法の選択操作に移行し、選択欄が反転表示します。

3 ダイヤルを回して任意の調整方法を表示します。



参考

BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。

ラベルセンサ	内 容
自動	ラベルセンサを自動調整します。 操作については、後述の「 ■ ラベルセンサの自動調整」をご覧ください。
手動	ラベルセンサを手動で調整します。 操作については、後述の「 ■ ラベルセンサの手動調整」をご覧ください。

■ラベルセンサの自動調整

1 「自動」を表示します。

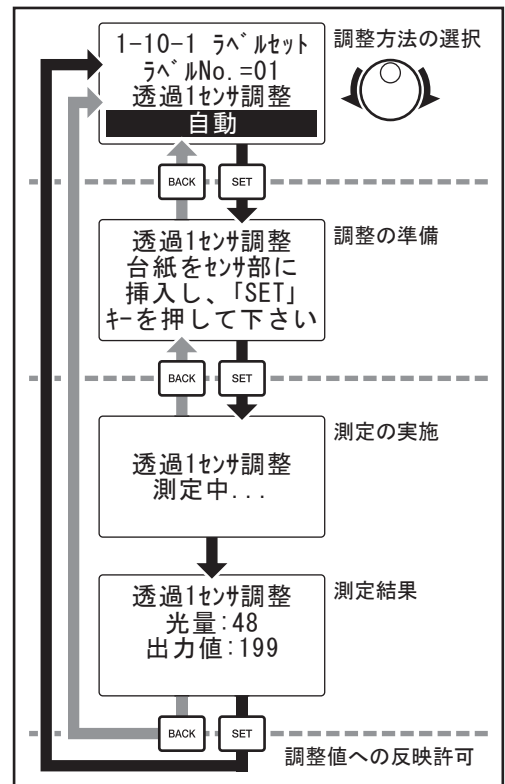
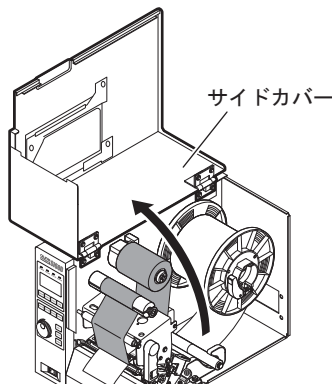
2 **SET** を押します。

操作メッセージが表示されます。

⚠ 注意

サイドカバーは、カバー上面と本体がくっつくまで完全に開いてください。途中まで開いた状態や開閉途中で手を離すと、カバーが倒れてケガや故障の原因となります。

3 サイドカバーを開きます。



⚠ 注意

ヘッドロックレバーを操作するとき、サーマルヘッドが上下する箇所に指、手を置かないでください。ケガの原因となります。

4 ラベルの台紙部分をセンサ上に配置し、**SET** を押します。

ラベルを剥して台紙のみの状態にしておきます。

ヘッド部と押さえ部をフリー方向に上げて、ラベルの台紙部分をラベルセンサの投受光間に配置してください。台紙の無い用紙の場合は、用紙の無地部分をラベルセンサに配置してください。

⚠ 注意

押さえ部を開いた後は、マグネットできちんと固定されていることを確認してください。

開閉途中で手を離すと、押さえ部が倒れてケガの原因となります。



参考

BACK

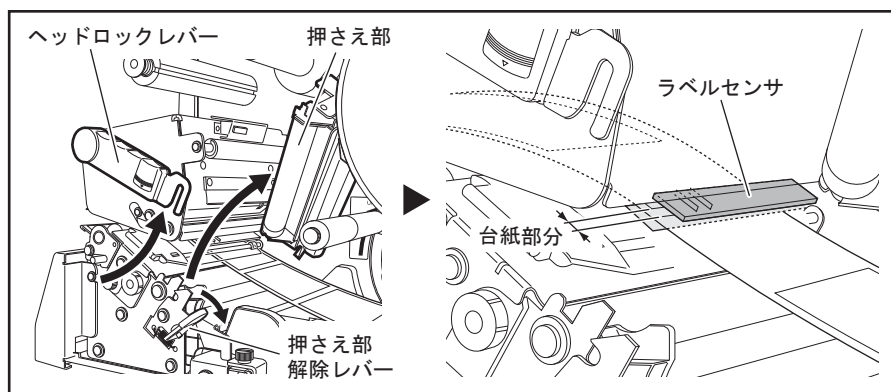
を押すと、調整方法の選択操作に戻ります。



参考

BACK

を押すと、調整内容を確認せずに、調整方法の選択操作に戻ります。



測定が開始されます。

測定中は「測定中...」のメッセージが表示されます。

測定が終了すると、調整結果が表示されます。

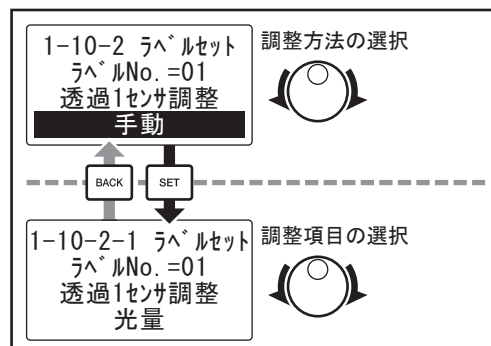
5 調整結果を確認し、**SET** を押します。

調整内容を確認し、設定メニューの選択操作に戻ります。

ヘッド部と押さえ部をロック状態にし、サイドカバーを閉じておいてください。

■ラベルセンサの手動調整

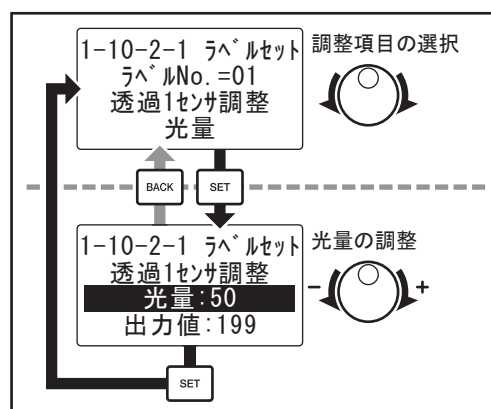
- 1 「手動」を表示します。
- 2 **SET** を押します。
調整項目の選択操作に移行します。
- 3 ダイアルを回して任意の調整項目を表示します。



ラベルセンサ	内 容
光量	センサから受光する光量を調整します。 操作については、後述の「光量調整」をご覧ください。
しきい値	センサから受光する光量のしきい値を調整します。 操作については、後述の「しきい値調整」をご覧ください。

光量調整

- 1 「光量」を表示します。
- 2 ラベルの台紙部分をセンサ上に配置して、**SET** を押します。
光量の調整操作に移行し、光量欄が反転表示します。
- 3 ダイアルを回して光量を調整します。



参考
BACK を押すと、調整項目の選択操作に戻ります。



参考
光量を 1 単位で調整できます。

出力値が以下の数値になるよう、光量を調整します。

ラベルセンサ	出力値
透過	200
反射	120

- 4 **SET** を押します。
光量を確定し、調整項目の選択操作に戻ります。

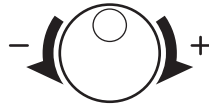
しきい値調整

1 「しきい値」を表示します。

2 **SET** を押します。

しきい値の調整操作に移行し、しきい値欄が反転表示します。

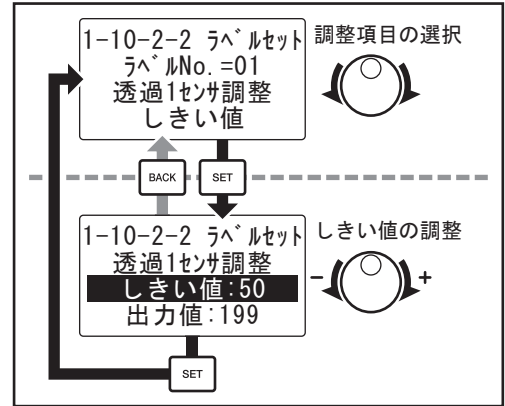
3 ダイアルを回して任意のしきい値を表示します。



設定可能範囲:0~255

4 **SET** を押します。

しきい値を確定し、調整項目の選択操作に戻ります。



参考
BACK を押すと、調整項目の選択操作に戻ります。



参考
しきい値を 1 単位で調整できます。

3.3.11 ラベル検出位置の設定

ラベル検出位置(先端/後端)を設定します。

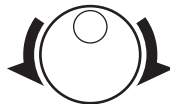
1 ラベルセットモード(編集)で「ラベル検出位置」を表示します。

LCD の 4 行目には、現在の設定値が表示されています。

2 **SET** を押します。

ラベル検出位置の選択操作に移行し、選択欄が反転表示します。

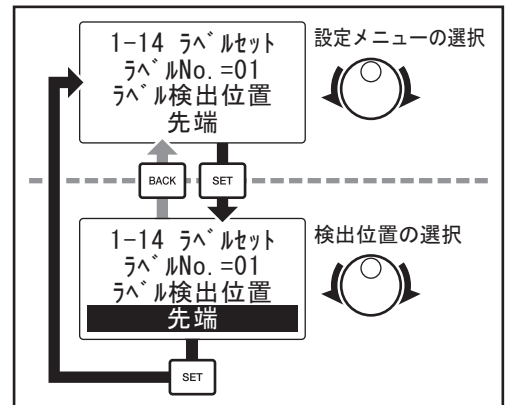
3 ダイアルを回して任意の検出位置を表示します。



検出位置	内容
先端	ラベルの先端を検出位置とします。
後端	ラベルの後端を検出位置とします。

4 **SET** を押します。

ラベル検出位置を確定し、設定メニューの選択操作に戻ります。



注意

ラベル検出位置を後端に設定すると、印字位置ずれが発生することがあります。



参考
BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。

3.3.12 印字速度の設定

印字速度を設定します。
 印字品質が悪いときは、印字速度を下げてください。

1 ラベルセットモード(編集)で「印字速度」を表示します。

LCD の 4 行目には、現在の設定値が表示されています。

2 を押します。

印字速度の設定操作に移行し、数値欄が反転表示します。

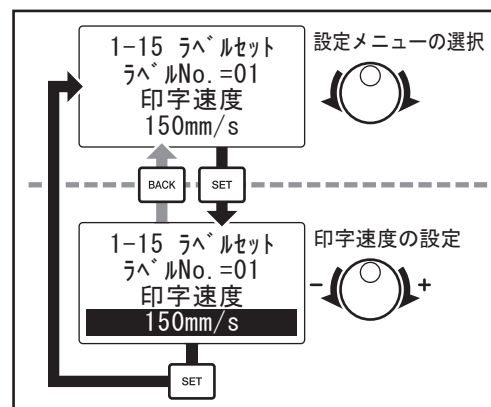
3 ダイヤルを回して任意の印字速度を表示します。



設定可能範囲: 25mm/s~150mm/s

4 を押します。

印字速度を確定し、設定メニューの選択操作に戻ります。



を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。




印字速度を 25mm/s 単位で調整できます。

3.3.13 印字濃度の設定

印字濃度を設定します。
 印字できる最大濃度を 100%として、これに対する濃度の割合で設定します。


- ラベルセットモード(編集)で「印字濃度」を表示します。
 LCD の 4 行目には、現在の設定値が表示されています。

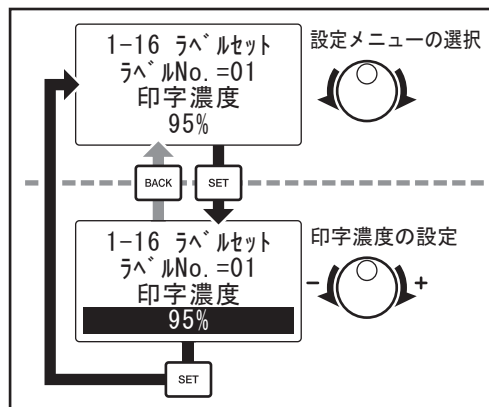
-  を押します。
 印字濃度の設定操作に移行し、数値欄が反転表示します。


- ダイヤルを回して任意の印字濃度を表示します。



設定可能範囲: 10%~100%

-  を押します。
 印字濃度を確定し、設定メニューの選択操作に戻ります。



参考
 を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。



参考
 印字濃度は 1%単位で調整できます。

3.3.14 プラテンローラの調整

プラテンローラの周長を補正します。
 プラテンローラは、使用環境や年数によって、紙送りの周長が変動する場合があります。
 この場合、正しく紙送りできるよう周長を補正します。
 補正値は、正常時を 100%として、これに対する変動の割合で設定します。

1 ラベルセットモード(編集)で「プラテン調整」を表示します。

LCD の 4 行目には、現在の設定値が表示されています。

2 **SET** を押します。

プラテンローラの調整操作に移行し、数値欄が反転表示します。

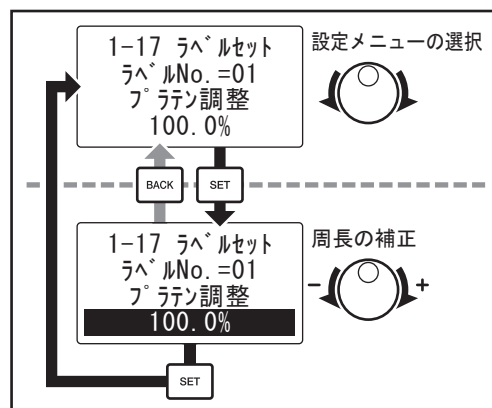
3 ダイヤルを回して補正値を表示します。



設定可能範囲:90.0%~110.0%

4 **SET** を押します。

プラテンローラの補正値を確定し、設定メニューの選択操作に戻ります。



参考

BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。



参考

補正値を 0.1%単位で調整できます。

3.3.15 QRコードの印字設定

QRコードを印字するときの印字品質を設定します。

- 1 ラベルセットモード(編集)で「QRコード印字」を表示します。
LCDの4行目には、現在の設定値が表示されています。

- 2 **SET** を押します。
印字品質の選択操作に移行し、選択欄が反転表示します。

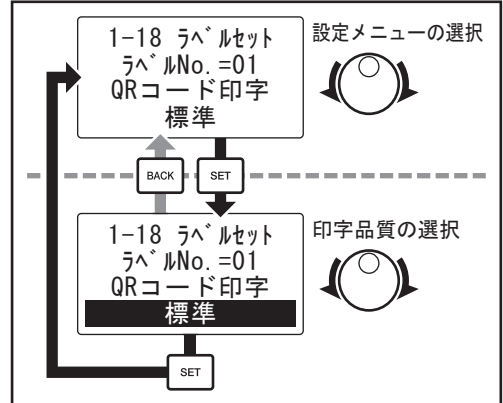
- 3 ダイヤルを回して印字品質を表示します。



印字速度が 50mm/s 以下の場合、標準に設定してください。75mm/s 以上の場合、標準、高品位1、高品位2のいずれかを適切に設定してください。

※ ラベルの種類やパルス分割数の設定により QRコード印字の設定条件は変わる可能性があります。

- 4 **SET** を押します。
印字品質を確定し、設定メニューの選択操作に戻ります。



参考

BACK

を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。

3.3.16 連続紙の設定

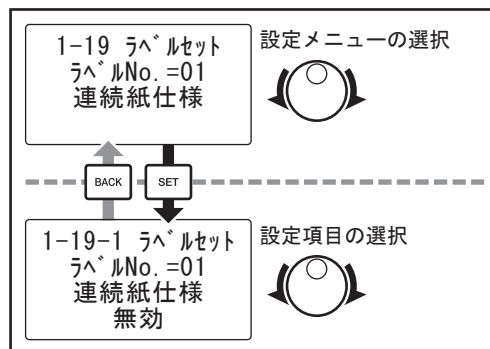
連続紙の使用許可、および使用時の紙送り動作に関する補正値を設定します。
 連続紙とは、実際に印字するデータが、ある部分で 1 ページの印字を停止し、次のページの先頭から印字する機能です。
 連続紙仕様を“有効”に設定した場合、ラベル検出はされず、設定項目「1-9 ラベルセンサ」を“無効”に設定した状態と同じ状態になります。

1 ラベルセットモード(編集)で「連続紙仕様」を表示します。

2 **SET** を押します。

設定項目の選択操作に移行し、LCD の 4 行目に現在の設定値を表示します。

3 ダイヤルを回して設定項目を表示します。



参考
BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。

※ LCD の 4 行目に“無効”と表示されている場合は、設定項目「連続紙仕様」しか表示・選択できません。

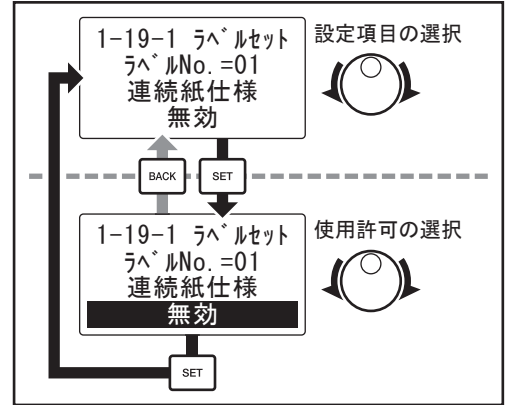
設定項目	内 容
連続紙仕様	本印字条件を連続紙で運用するか設定します。 操作については、後述の「 ■ 印字用紙の選択」をご覧ください。
ページ間ギャップ	次回発行との間隔を設定します。 操作については、後述の「 ■ ページ間ギャップ長の設定」をご覧ください。

■ 印字用紙の選択

1 「連続紙仕様」を表示します。
LCD の 4 行目には、現在の設定値が表示されています。

2 **SET** を押します。
連続紙の使用許可選択操作に移行し、選択欄が反転表示します。

3 ダイヤルを回して「無効／有効」を表示します。



参考

BACK を押すと、設定項目の選択操作に戻ります。

連続紙	内 容
無効	本印字条件を連続紙以外の運用として設定します。
有効	本印字条件を連続紙での運用として設定します。

4 **SET** を押します。
連続紙の使用許可を確定し、設定項目の選択操作に戻ります。

“無効”に設定した場合、連続紙の設定はこれで終了ですので、**BACK** を押して設定メニューの選択操作に戻ってください。

“有効”に設定した場合、続いて設定項目「ページ間ギャップ」を設定してください。

■ ページ間ギャップ長の設定

1 「ページ間ギャップ」を表示します。
LCD の 4 行目には、現在の設定値が表示されています。

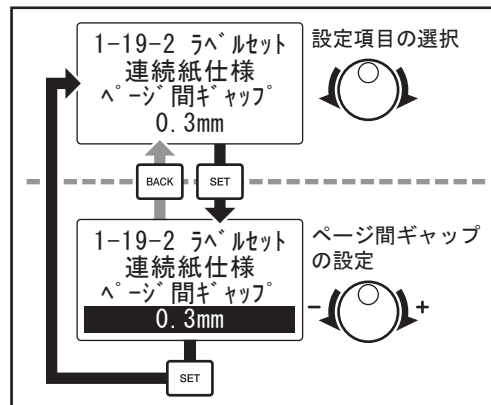
2 **SET** を押します。
ページ間ギャップ長の設定操作に移行し、選択欄が反転表示します。

3 ダイアルを回して任意の値を表示します。



設定可能範囲:0.0mm~100.0mm

4 **SET** を押します。
連続紙の使用許可を確定し、設定項目の選択操作に戻ります。



参考
BACK を押すと、設定項目の選択操作に戻ります。



参考
ページ間ギャップ長を 0.1mm 単位で調整できます。

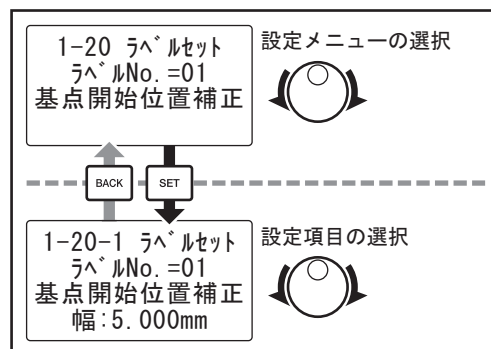
3.3.17 基点開始位置の補正

コマンドによる座標指定の原点位置を補正します。

1 ラベルセットモード(編集)で「基点開始位置補正」を表示します。

2 **SET** を押します。
設定項目の選択操作に移行し、LCD の 4 行目に現在の設定値を表示します。

3 ダイアルを回して設定項目を表示します。



参考
BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。

設定項目	内容
幅	コマンドによる座標指定の原点位置の横方向について、補正値を設定します。操作については、後述の「 ■ 基点開始位置(幅)の設定 」をご覧ください。
長さ	コマンドによる座標指定の原点位置の縦方向について、補正値を設定します。操作については、後述の「 ■ 基点開始位置(長さ)の設定 」をご覧ください。

■ 基点開始位置（幅）の設定

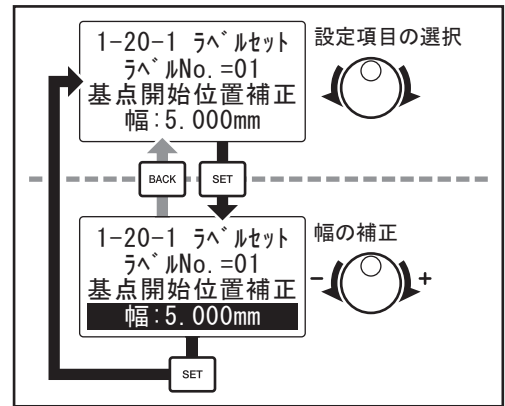
1 「幅」を表示します。
LCDの4行目には、現在の設定値が表示されています。

2 **SET** を押します。
幅の補正值設定操作に移行し、選択欄が反転表示します。

3 ダイアルを回して任意の値を表示します。



設定可能範囲 : -400.000mm~400.000mm
調整間隔 : 0.042mm



参考
BACK を押すと、設定項目の選択操作に戻ります。

4 **SET** を押します。
幅の補正值を確定し、設定項目の選択操作に戻ります。

■ 基点開始位置（長さ）の設定

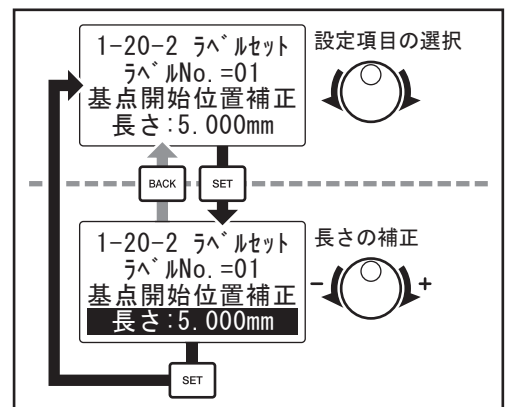
1 「長さ」を表示します。
LCDの4行目には、現在の設定値が表示されています。

2 **SET** を押します。
長さの補正值設定操作に移行し、選択欄が反転表示します。

3 ダイアルを回して任意の値を表示します。



設定可能範囲 : -400.000mm~400.000mm
調整間隔 : 0.042mm



参考
BACK を押すと、設定項目の選択操作に戻ります。

4 **SET** を押します。
長さの補正值を確定し、設定項目の選択操作に戻ります。

3.3.18 印字条件の設定

本機の設定値と、コマンドの指定値のどちらを有効にするか設定します。
 コマンドに無い印字条件は本機の設定値が有効になります。

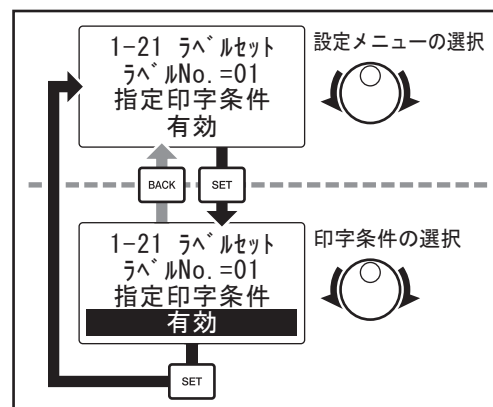
1 ラベルセットモード(編集)で「指定印字条件」を表示します。

LCDの4行目には、現在の設定値が表示されています。

2 **SET** を押します。

印字条件の選択操作に移行し、選択欄が反転表示します。

3 ダイアルを回して「無効/有効」を表示します。



参考
BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。

指定印字条件	内容
無効	本機で設定した内容を印字条件として適用します。
有効	コマンドで指定した内容を印字条件として適用します。

4 **SET** を押します。

適用する印字条件を確定し、設定メニューの選択操作に戻ります。

3.3.19 ティアオフ時間の設定

プリンタモードが、“ティアオフ”の場合、印字終了時点からティアオフ動作を開始するまでの遅れ時間を設定します。

1 ラベルセットモード(編集)で「ティアオフ時間」を表示します。

LCD の 4 行目には、現在の設定値が表示されています。

2 **SET** を押します。

ティアオフ時間の設定操作に移行し、数値欄が反転表示します。

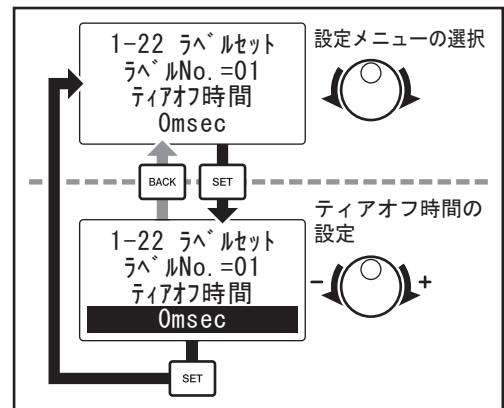
3 ダイヤルを回して設定値を表示します。



設定可能範囲 : 0msec~5000msec

4 **SET** を押します。

ティアオフ時間を確定し、設定メニューの選択操作に戻ります。



BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。




1msec 単位で調整できます。

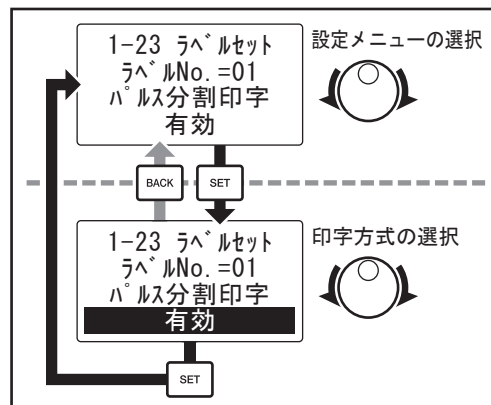
3.3.20 パルス分割印字の設定


サーマルヘッドで印字するときの印字方式を設定します。

- 1 ラベルセットモード(編集)で「パルス分割印字」を表示します。
LCD の 4 行目には、現在の設定値が表示されています。

- 2  を押します。
パルス分割印字の選択操作に移行し、選択欄が反転表示します。

- 3 ダイヤルを回して「無効／有効」を表示します。



参考
 を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。

パルス分割印字	内 容
無効	サーマルヘッドを一括で加熱します。 (熱転写リボンと熱転写紙の相性が良く、転写性が良い場合に選択します。)
有効	サーマルヘッドを分割して加熱します。 (熱転写リボンと熱転写紙の相性が悪く、転写性が落ちる場合に選択します。)

※ 印字速度が 100mm/s 以上の場合は、常に無効の状態になります。

- 4  を押します。

適用する印字方式を確定し、設定メニューの選択操作に戻ります。

3.3.21 ラベル・リボンの組合せ

ラベルとリボンの組合せを番号で設定します。
 最適な印字品位を得るために、一覧表から組合せを選んで設定してください。

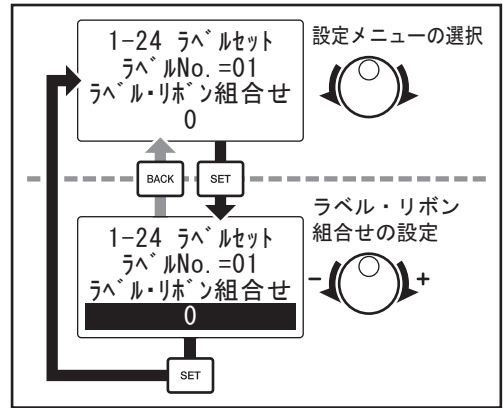
1 ラベルセットモード(編集)で「ラベル・リボンの組合せ」を表示します。
 LCDの4行目には、現在の設定値が表示されています。

2 **SET** を押します。
 ラベル・リボンの組合せの設定操作に移行し、選択欄が反転表示します。

3 ダイヤルを回して番号を表示します。



設定可能範囲:0~99



参考

BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。

ラベル・リボン組合せ番号	ラベル	リボン
0	汎用の組合せ	
1	P251H	H
2	P251H	H20
3	PT50NS	H
4	PT50NS	H20
5	10PN	10PN
6~99	汎用の組合せ	

※ 印字速度が75mm/s以上の場合は、常に汎用の組合せで印字します。

4 **SET** を押します。

ラベル・リボンの組合せを確定し、設定メニューの選択操作に戻ります。

3.3.22 ラベルスキップ

台紙からラベルが剥がれていた場合はラベル終了エラーになりますが、ラベルスキップが有効の場合は剥がれたラベルを飛ばして次のラベルから印字します。(3枚連続して剥がれている場合はエラーになります。)

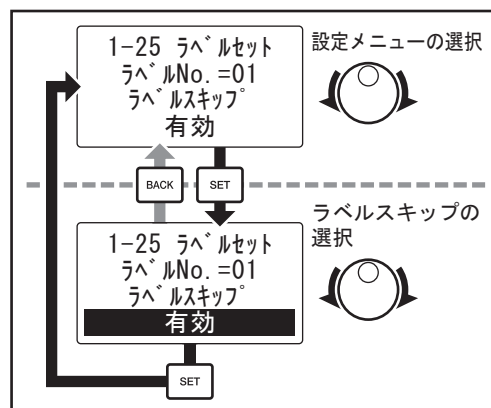
1 ラベルセットモード(編集)で「ラベルスキップ」を表示します。

LCDの4行目には、現在の設定値が表示されています。

2 **SET** を押します。

ラベルスキップの選択操作に移行し、選択欄が反転表示します。

3 ダイアルを回して「無効/有効」を表示します。



BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。

ラベルスキップ	内容
無効	ラベルが剥がれていた場合はエラーになります。
有効	ラベルが剥がれていてもエラーとせず次のラベルに印字します。

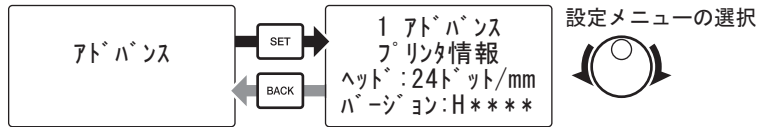
4 **SET** を押します。

ラベルスキップ機能を確定し、設定メニューの選択操作に戻ります。

3.4 アドバンスモードの操作

LCD の輝度調整や言語切り替えなど、本機の基本動作について設定することができます。

アドバンスモードに移行後、ダイヤルを回して設定メニューを選択します。



下記に設定メニューとその内容を示します。

設定メニュー	内 容	参照ページ
1 プリンタ情報	ヘッドの仕様とバージョン情報を確認することができます。	P.3-43
2 カットのバックフィード	カット後の戻し動作を設定します。 ※ ラベルセットモードの設定メニュー「1-1 プリンタモード」を“カット”に設定した印字条件を使用時のみ表示・設定できます。	P.3-43
3 漢字コード	コンピュータから受信する漢字のコード体系を設定します。	P.3-44
4 ゼロスラッシュ	“ゼロ”の印字方法を設定します。	P.3-45
5 漢字フォント	漢字コマンド (ESC-K1、ESC-K2) で指定された漢字フォントの種類 (ゴシック体 / 明朝体) を設定します。	P.3-46
6 印字濃度調整	印字濃度を設定します。	P.3-47
7 ヘッドチェック	ヘッド切れのチェックの有無を設定します。	P.3-48
8 オンライン起動	起動時の状態 (オンライン / オフライン) を設定します。	P.3-49
9 起動時紙送り	起動時に、紙送り動作するかどうかを設定します。	P.3-50
10 エラー時再発行	エラー発生時に、エラー直前に発行したものを再発行するかどうかを設定します。	P.3-51
11 発行ログ機能	印刷枚数や操作したキーの種類などを CF カードに保存するかどうかを設定します。 ※ CF カードスロット (オプション) を装着している場合に有効となります。	P.3-52
12 単体発行機能	CF カードによって、本機を単体で運用するかどうかを設定します。 ※ CF カードスロット (オプション) を装着している場合に有効となります。 ※ 単体発行仕様とした場合、コンピュータとの通信は行われません。	P.3-53
13 JAN の可読文字	バーコード下に印字される JAN の可読文字の書体を設定します。	P.3-54
14 外部信号	外部信号の入出力を行うかどうかを設定します。 ※ 外部信号の入出力端子 (オプション) を装着している場合に有効となります。	P.3-55
15 総走行距離	出荷時からのプラテンローラの回転による走行距離を確認することができます。	P.3-55
16 ヘッド走行距離	ヘッドの走行距離を確認することができます。	P.3-56
17 プラテン走行距離	プラテンローラの回転による走行距離を確認することができます。	P.3-56
18 カッタ動作回数	カッタユニットによるカット動作回数を確認することができます。 ※ カッタユニット (オプション) を装着している場合のみ有効に表示されます。	P.3-56
19 座標補正	コンピュータでの描画範囲と、実際に印字できる範囲に違いがある場合の、印字位置 (座標) の補正方法を設定します。	P.3-57
20 初期値設定	設定内容を初期値 (出荷時の設定) に戻す作業を行います。	P.3-58
21 LCD 輝度調整	LCD の輝度を見やすいよう調整します。	P.3-59
22 最終ラベル処理	台紙の最後のラベルを発行時に、ラベル切れエラーを発生させて最後の発行物もエラーとするかどうかを設定します。	P.3-60
23 ブザー音	異常が発生した場合などに、ブザー音を鳴らすかどうかを設定します。	P.3-61
24 言語	LCD に表示する言語モードを設定します。	P.3-62
25 暗証番号登録	起動後のキー操作で表示される暗証番号を設定します。	P.3-63
26 キーロック	操作キーの操作を有効にするか無効にするかを設定します。	P.3-64

3.4.1 プリンタ情報の確認

ヘッドの仕様とバージョン情報を確認することができます。



参考

BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

- 1 アドバンスモードで、ダイヤルを回して「プリンタ情報」を表示します。



1 アドバンス
プリンタ情報
ヘッド: 24ドット/mm
バージョン: H*****

設定メニューの選択

LCD の 3 行目に使用しているヘッドのヘッド密度、4 行目にバージョン情報が表示されます。

3.4.2 カットのバックフィードの設定

カット後の戻し動作を設定します。

- 注 記**
- ・ラベルセットモードの設定メニュー「1-1 プリンタモード」を「カッタ」に設定している印字条件を使用時に表示されます。
 - ・カッタユニット(オプション)を装着している場合に設定が必要です。



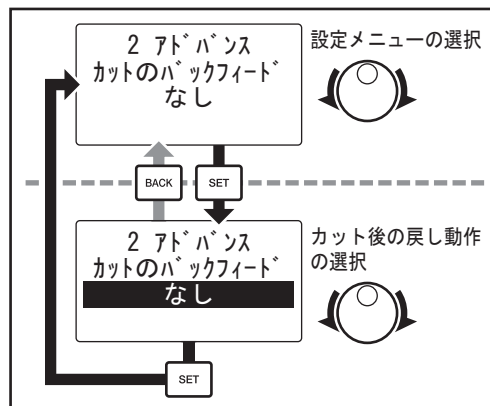
参考

BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

- 1 アドバンスモードで、ダイヤルを回して「カットのバックフィード」を表示します。



LCD の 3 行目には、現在の設定値が表示されています。



- 2 **SET** を押します。

戻し動作の選択操作に移行し、選択欄が反転表示します。



参考

BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。

- 3 ダイヤルを回して任意の設定を表示します。



設定	内 容
印字前	印字前にカット位置からの戻し動作を行います。
カット後	印字後、次の印字位置までの戻し動作を行います。
なし	戻し動作を行いません。

- 4 **SET** を押します。

戻し動作を確定し、設定メニューの選択操作に戻ります。

3.4.3 漢字コードの設定

コンピュータから受信する漢字のコード体系を設定します。



参考

BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

- 1 アドバンスモードで、ダイヤルを回して「漢字コード」を表示します。



LCD の 3 行目には、現在の設定値が表示されています。

- 2 SET を押します。

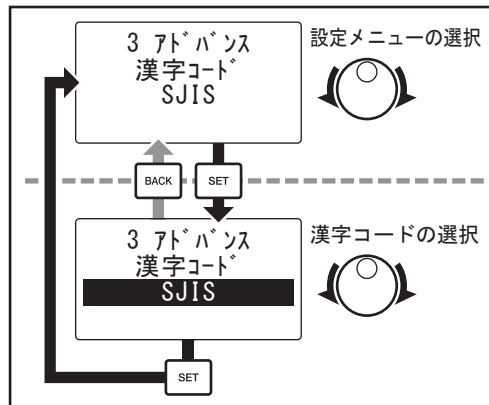
漢字コードの選択操作に移行し、選択欄が反転表示します。

- 3 ダイヤルを回して任意のコード体系を表示します。



- 4 SET を押します。

漢字コードの設定を確定し、設定メニューの選択操作に戻ります。



参考

BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。

設定	内 容
JIS	JIS コード
SJIS	SJIS コード

3.4.4 ゼロスラッシュの設定

“ゼロ”の印字方法を設定します。



参考

BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

- 1 アドバンスモードで、ダイヤルを回して「ゼロスラッシュ」を表示します。

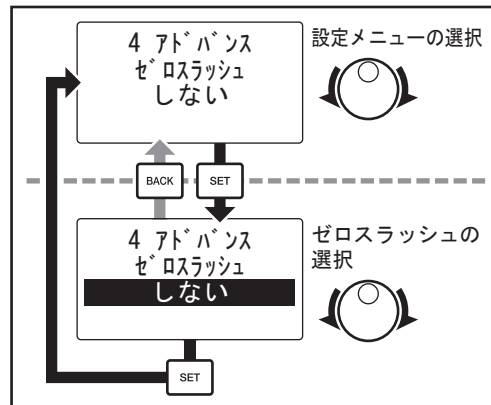


LCD の 3 行目には、現在の設定値が表示されています。

- 2 SET を押します。

ゼロスラッシュの選択操作に移行し、選択欄が反転表示します。

- 3 ダイヤルを回して任意の印字方法を表示します。



参考

BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。

- 4 SET を押します。

ゼロスラッシュの設定を確定し、設定メニューの選択操作に戻ります。

設定	内容	印字例
しない	“ゼロ”をスラッシュなしで印字します。	0
する	“ゼロ”をスラッシュありで印字します。	0

3.4.5 漢字フォントの設定

漢字コマンド (ESC-K1、ESC-K2) で指定された漢字フォントの種類 (ゴシック体 / 明朝体) を設定します。



参考
 BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

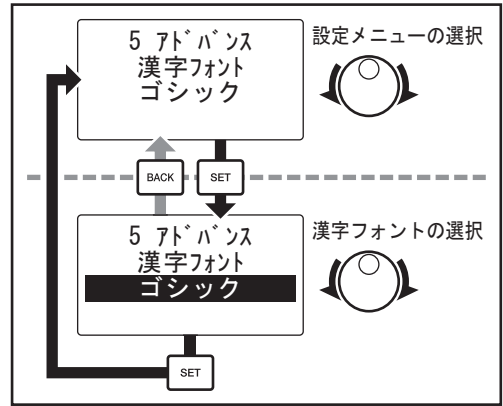
- 1 アドバンスモードで、ダイヤルを回して「漢字フォント」を表示します。



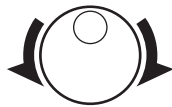
LCD の 3 行目には、現在の設定値が表示されています。

- 2 SET を押します。

漢字フォントの選択操作に移行し、選択欄が反転表示します。



- 3 ダイヤルを回して任意の種類を表示します。



設定	内 容
ゴシック	ゴシック体のフォントで印字します。
明朝	明朝体のフォントで印字します。

- 4 SET を押します。

漢字フォントの設定を確定し、設定メニューの選択操作に戻ります。



参考
 BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。

3.4.6 印字濃度の調整

印字濃度を設定します。

注 記 本設定は、コンピュータのアプリケーションで印字条件を設定する場合に使用されます。
 区分が1～5までありますので、それぞれの印字濃度を設定してください。
【例】印字濃度の区分「1」=60%、「2」=70%、「3」=80%、「4」=90%、「5」=100%



参考
BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

1 アドバンスモードで、ダイヤルを回して「印字濃度調整」を表示します。



2 **SET** を押します。

印字濃度の区分選択操作に移行します。

3 ダイヤルを回して設定する区分を表示します。



4 **SET** を押します。

印字濃度の設定操作に移行し、選択欄が反転表示します。

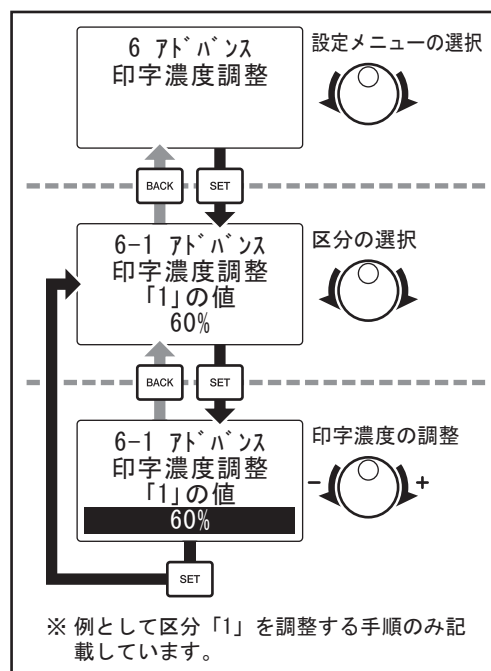
5 ダイヤルを回して任意の値を表示します。



設定可能範囲:10%～100%

6 **SET** を押します。

選択した区分の印字濃度設定を確定し、印字濃度の区分選択操作に戻ります。



参考
BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。



参考
BACK を押すと、印字濃度の区分選択操作に戻ります。



参考
 印字濃度は、1%単位で調整できます。

3.4.7 ヘッドチェックの設定

ヘッド切れのチェックの有無を設定します。



参考

BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

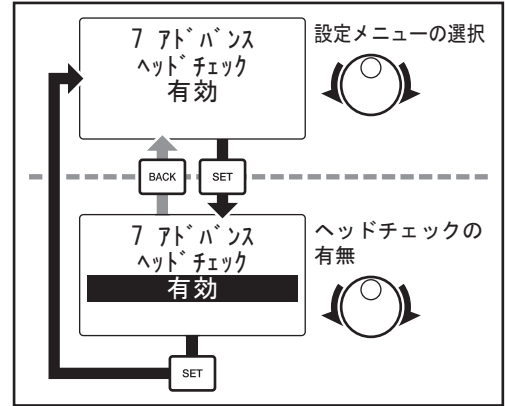
- 1 アドバンスモードで、ダイヤルを回して「ヘッドチェック」を表示します。



LCD の 3 行目には、現在の設定値が表示されています。

- 2 SET を押します。

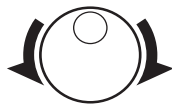
ヘッドチェックの設定操作に移行し、選択欄が反転表示します。



参考

BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。

- 3 ダイヤルを回して任意の設定を表示します。



設定	内 容
無効	ヘッドチェックを行いません。
有効	待機時にヘッドチェックを行います。

- 4 SET を押します。

ヘッドチェックの設定を確定し、設定メニューの選択操作に戻ります。

3.4.8 オンライン起動の設定

起動時の状態(オンライン/オフライン)を設定します。



参考

BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

- 1 アドバンスモードで、ダイヤルを回して「オンライン起動」を表示します。



LCD の 3 行目には、現在の設定値が表示されています。

- 2 **SET** を押します。

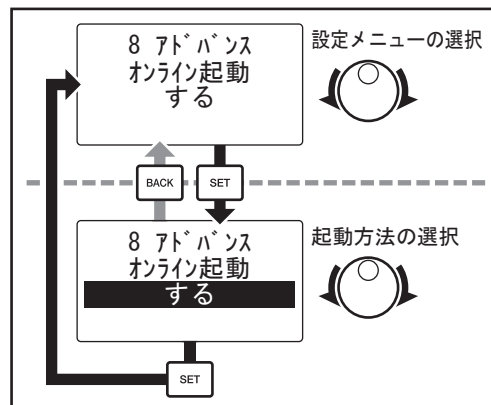
起動方法の設定操作に移行し、選択欄が反転表示します。

- 3 ダイヤルを回して任意の設定を表示します。



参考

BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。



設定	内 容
しない	オフライン状態で起動します。
する	オンライン状態で起動します。

- 4 **SET** を押します。

起動の方法を確定し、設定メニューの選択操作に戻ります。

3.4.9 起動時紙送りの設定

起動時に、紙送り動作するかどうか設定します。



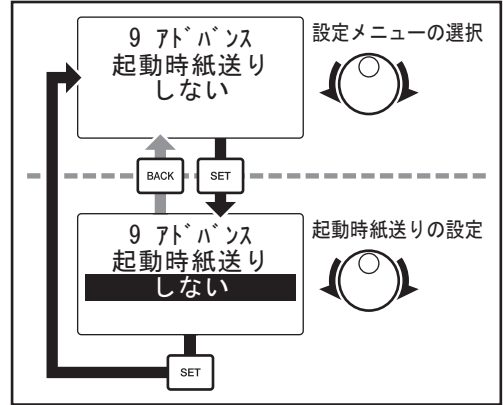
参考
BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

- 1 アドバンスモードで、ダイヤルを回して「起動時紙送り」を表示します。



LCD の 3 行目には、現在の設定値が表示されています。

- 2 SET を押します。
起動時紙送りの設定操作に移行し、選択欄が反転表示します。



参考
BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。

- 3 ダイヤルを回して任意の設定を表示します。



設定	内 容
しない	起動時に紙送り動作しません。
する	起動時にラベルを 1 枚紙送りします。

- 4 SET を押します。
起動時紙送りの設定を確定し、設定メニューの選択操作に戻ります。

3.4.10 エラー時再発行の設定

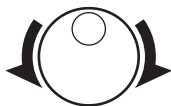
エラー発生時に、エラー直前に発行したものを再発行するかどうかを設定します。



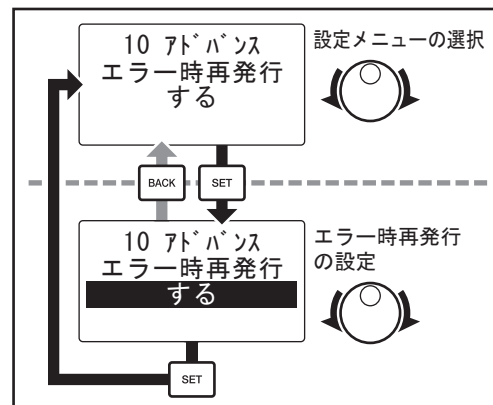
参考

BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

- 1 アドバンスモードで、ダイヤルを回して「エラー時再発行」を表示します。



LCD の 3 行目には、現在の設定値が表示されています。



- 2 **SET** を押します。

エラー時再発行の設定操作に移行し、選択欄が反転表示します。



参考

BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。

- 3 ダイヤルを回して任意の設定を表示します。



設定	内 容
しない	エラー発生時に、エラー直前に発行したものを再発行しません。 (発行したラベルは正常なものとしてカウントされます)
する	エラー発生時に、エラー直前に発行したものを再発行します。

- 4 **SET** を押します。

エラー時再発行の設定を確定し、設定メニューの選択操作に戻ります。

3.4.11 発行ログ機能の設定

印刷枚数や操作したキーの種類などを CF カードに保存するかどうか設定します。

注 記 この機能は、CF カードスロット(オプション)を装着している場合に有効となります。



参考
BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

1 アドバンスモードで、ダイヤルを回して「発行ログ機能」を表示します。

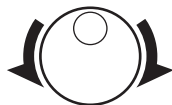


LCD の 3 行目には、現在の設定値が表示されています。

2 SET を押します。

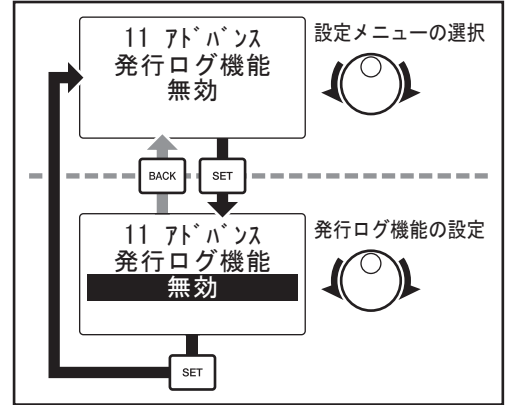
発行ログ機能の設定操作に移行し、選択欄が反転表示します。

3 ダイヤルを回して任意の設定を表示します。



4 SET を押します。

発行ログ機能の設定を確定し、設定メニューの選択操作に戻ります。



参考
BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。

設定	内 容
無効	発行ログ機能を使用しません。
有効	発行ログ機能を使用します。

3.4.12 単体発行機能の設定

CF カードによって、本機を単体で運用するかどうか設定します。

- 注 記**
- ・この機能は、CF カードスロット(オプション)を装着している場合に有効となります。
 - ・単体発行として設定した場合、コンピュータとの受信は行われません。
 - ・単体発行に必要な CF カードのデータファイルは LABEL SHOT SV で作成します。



参考

BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

- 1 アドバンスモードで、ダイヤルを回して「単体発行機能」を表示します。

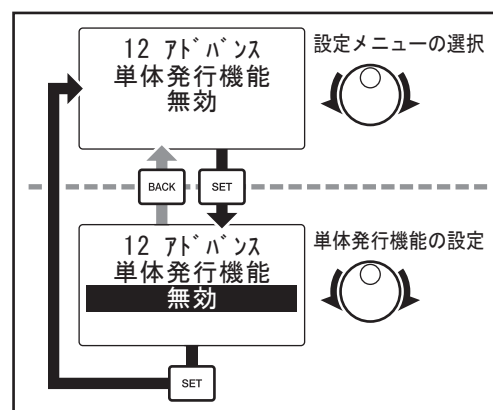


LCD の 3 行目には、現在の設定値が表示されています。

- 2 SET を押します。

単体発行機能の設定操作に移行し、選択欄が反転表示します。

- 3 ダイヤルを回して任意の設定を表示します。



参考

BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。

設定	内 容
無効	単体発行機として使用しません。
有効	単体発行機として設定され、コンピュータからの印字指示は受信されなくなります。

- 4 SET を押します。

単体発行機能の設定を確定し、設定メニューの選択操作に戻ります。

3.4.13 JANの可読文字の設定

バーコードに印字される JAN/UPC の可読文字の書体を設定します。



参考
BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

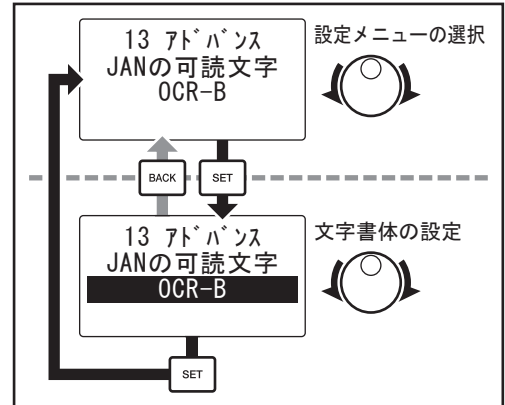
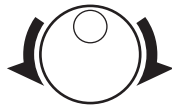
- 1 アドバンスモードで、ダイヤルを回して「JAN の可読文字」を表示します。



LCD の 3 行目には、現在の設定値が表示されています。

- 2 **SET** を押します。
文字書体の設定操作に移行し、選択欄が反転表示します。

- 3 ダイヤルを回して任意の書体を表示します。



参考
BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。

設定	印字例
OCR-B	 4 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 4
OCR-A	 4 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 4
小文字	 4 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 4

- 4 **SET** を押します。
文字書体の設定を確定し、設定メニューの選択操作に戻ります。

3.4.14 外部信号の設定

外部信号の入出力を行うかどうか設定します。

注 記 外部信号の入出力端子(オプション)を装着している場合に有効となります。



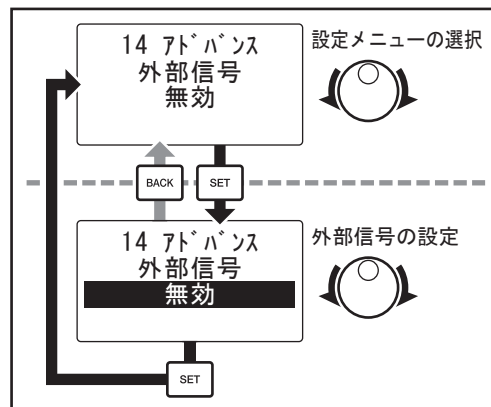
参考

BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

- 1 アドバンスモードで、ダイヤルを回して「外部信号」を表示します。



LCD の 3 行目には、現在の設定値が表示されています。



- 2 SET を押します。

外部信号の設定操作に移行し、選択欄が反転表示します。



参考

BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。

- 3 ダイヤルを回して任意の設定を表示します。



設定	内 容
無効	外部信号を入出力できません。
有効	外部信号を入出力します。

- 4 SET を押します。

外部信号の設定を確定し、設定メニューの選択操作に戻ります。

3.4.15 総走行距離の確認

出荷時からのプラテンローラの回転による走行距離を確認することができます。



参考

BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

- 1 アドバンスモードで、ダイヤルを回して「総走行距離」を表示します。



LCD の 3 行目に、総走行距離が表示されます。



3.4.16 ヘッド走行距離の確認

ヘッドの走行距離を確認することができます。



参考

BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

- 1 アドバンスモードで、ダイヤルを回して「ヘッド走行距離」を表示します。



LCD の 3 行目に、ヘッドの走行距離が表示されます。



3.4.17 プラテン走行距離の確認

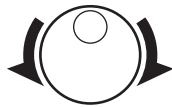
プラテンローラの回転による走行距離を確認することができます。



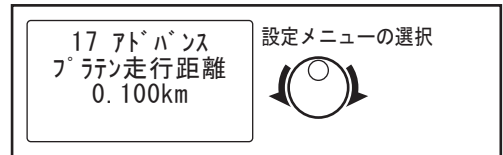
参考

BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

- 1 アドバンスモードで、ダイヤルを回して「プラテン走行距離」を表示します。



LCD の 3 行目に、プラテンローラの走行距離が表示されます。



3.4.18 カッタ動作回数の確認

カッタユニットによるカット動作回数を確認することができます。

注 記 カッタユニット(オプション)を装着している場合のみ有効に表示されます。



参考

BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

- 1 アドバンスモードで、ダイヤルを回して「カッタ動作回数」を表示します。



LCD の 3 行目に、カット動作回数が表示されます。



3.4.19 座標補正の設定

コンピュータでの描画範囲と、実際に印字できる範囲に違いがある場合の、印字位置(座標)の補正方法を設定します。

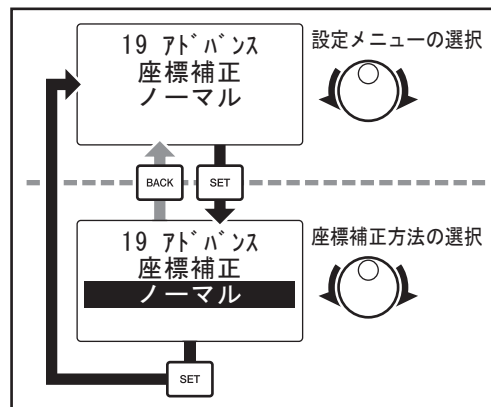


参考
BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

- 1 アドバンスモードで、ダイヤルを回して「座標補正」を表示します。



LCD の 3 行目には、現在の設定値が表示されています。



- 2 SET を押します。

補正方法の設定操作に移行し、選択欄が反転表示します。



参考
BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。

- 3 ダイヤルを回して任意の補正方法を表示します。



設定	内 容
ノーマル	印字位置を補正しません。
+補正	コンピュータで指定しているラベル幅が、実際に印字できる幅より小さい場合、その差の半分を右にずらすように補正します。
-補正	コンピュータで指定しているラベル幅が、実際に印字できる幅より大きい場合、その差の半分を左にずらすように補正します。

- 4 SET を押します。

補正方法の設定を確定し、設定メニューの選択操作に戻ります。

3.4.20 初期値設定

設定内容を初期値(出荷時の設定)に戻す作業を行います。

▲ 注意 初期化した設定内容を本機単体では復旧できません。
事前に、コンピュータにバックアップするなどしておいてください。



参考

BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

- 1 アドバンスモードで、ダイヤルを回して「初期値設定」を表示します。



- 2 **SET** を押します。

初期化の確認メッセージが表示されます。

- 3 ダイヤルを回して「はい」を表示します。



- 4 **SET** を押します。

初期化を実行し、処理が完了すると設定メニューの選択操作に戻ります。

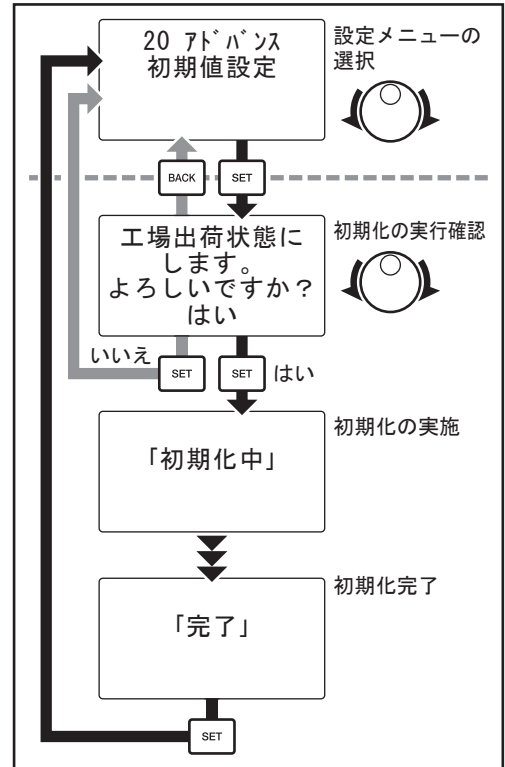


参考

BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。



表示を「いいえ」に設定した場合は、初期化を中止して設定メニューの選択操作に戻ります。



3.4.21 LCDの輝度調整

LCDの輝度を調整します。
LCDの表示が見づらい場合に調整してください。

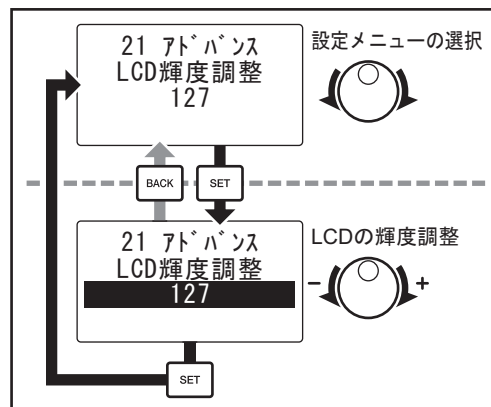


参考
BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

- 1 アドバンスモードで、ダイヤルを回して「LCD 輝度調整」を表示します。



LCDの3行目には、現在の設定値が表示されています。



- 2 SET を押します。

LCDの輝度調整操作に移行し、数値欄が反転表示します。



参考
BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。

- 3 LCDを見ながら、ダイヤルを回して任意の輝度を表示します。



設定可能範囲:0~254



参考
1単位で調整できます。

- 4 SET を押します。

LCDの輝度を確定し、設定メニューの選択操作に戻ります。

3.4.22 最終ラベル処理の設定

台紙の最後のラベルを発行時に、ラベル切れエラーを発生させて最後の発行物もエラーとするかどうかを設定します。



参考

BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

- 1 アドバンスモードで、ダイヤルを回して「最終ラベル処理」を表示します。

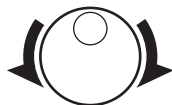


LCD の 3 行目には、現在の設定値が表示されています。

- 2 SET を押します。

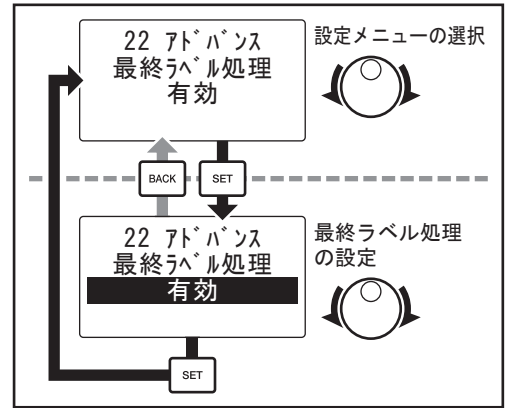
最終ラベル処理の設定操作に移行し、選択欄が反転表示します。

- 3 ダイヤルを回して任意の設定を表示します。



- 4 SET を押します。

最終ラベル処理の設定を確定し、設定メニューの選択操作に戻ります。



参考

BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。

設定	内 容
無効	最後のラベルをエラーとし、破棄します。
有効	最後のラベルをエラーとせず、最後の 1 枚まで有効利用できます。

3.4.23 ブザー音の設定

異常が発生した場合などに、ブザー音を鳴らすかどうか設定します。

注 記 ブザー音を無効に設定しても、センサモードでの各センサの確認時のブザーは確認のため鳴ります。



参考

BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

- 1 アドバンスモードで、ダイヤルを回して「ブザー音」を表示します。

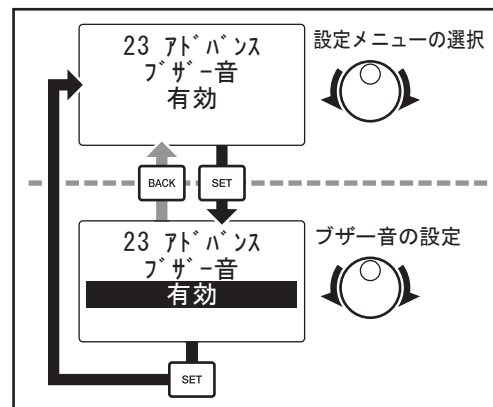


LCD の 3 行目には、現在の設定値が表示されています。

- 2 **SET** を押します。

ブザー音の設定操作に移行し、選択欄が反転表示します。

- 3 ダイヤルを回して任意の設定を表示します。



参考

BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。

設定	内 容
無効	ブザー音が鳴らなくなります。
有効	異常発生時などに、ブザー音を鳴らせます。

- 4 **SET** を押します。

ブザー音の設定を確定し、設定メニューの選択操作に戻ります。

3.4.24 言語表示の設定

LCD に表示する言語モードを設定します。
本機は、日本語と英語に言語を切り替えて表示することができます。



参考
BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

1 アドバンスモードで、ダイヤルを回して「言語」を表示します。



LCD の 3 行目には、現在の設定値が表示されています。

2 SET を押します。

言語の選択操作に移行し、選択欄が反転表示します。

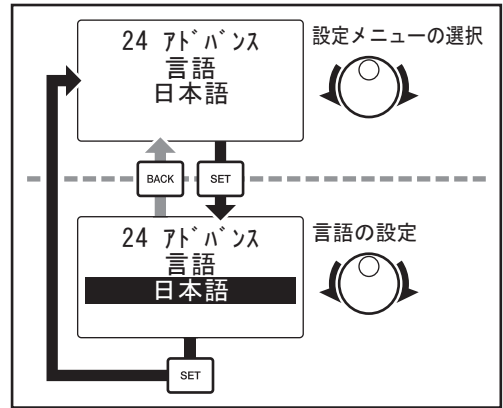
3 ダイヤルを回して任意の言語を表示します。



4 SET を押します。

表示する言語を確定し、設定メニューの選択操作に戻ります。

言語表示は確定後、すぐに切り替わります。各言語での設定モードの表示については、P.3-6「3.1.3 設定モードのメニューフロー」をご覧ください。



参考
BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。

設定	内 容
日本語	日本語で表示します。
ENGLISH	英語で表示します。

3.4.25 暗証番号の登録

起動後のキー操作で表示される暗証番号を登録します。



BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

- 1 アドバンスモードで、ダイヤルを回して「暗証番号登録」を表示します。



- 2 **SET** を押します。

現在の暗証番号が表示され、数値欄が反転表示します。

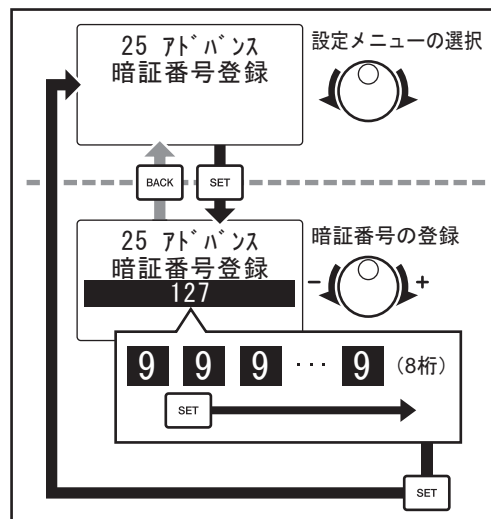
- 3 ダイヤルを回して任意の数値を表示し、**SET** を押して次の桁を表示します。



設定可能範囲:0~99999999

- 4 **SET** を押します。

暗証番号の登録を確定し、設定メニューの選択操作に戻ります。



数値入力後、**BACK** を押すと、カーソルが前の桁に移動します。カーソルが先頭行のときに **BACK** を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。



MENU を押した状態で **BACK** を押すと、数値が削除されます。

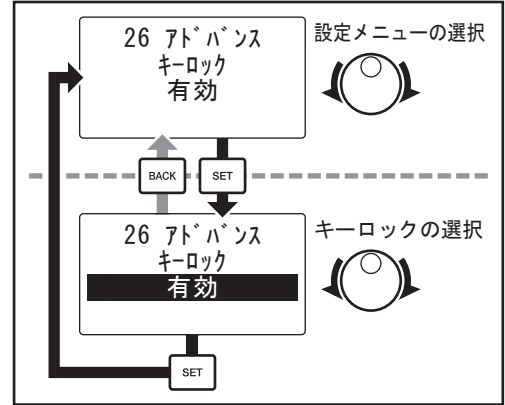
3.4.26 キーロックの設定

操作キーの操作を有効にするか、無効にするかを設定します。

- 1 アドバンスモードで、ダイヤルを回して「キーロック」を表示します。
LCDの3行目には、現在の設定値が表示されています。

- 2 **SET** を押します。
キーロックの設定操作に移行し、選択欄が反転表示します。

- 3 ダイヤルを回して「無効／有効」を表示します。



BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。

キーロック	内 容
無効	全てのキー操作ができます。
有効	暗証番号の登録で設定された機能になります。暗証番号が合致しない場合、キー操作は無効です。暗証番号が合致した場合は全てのキー操作ができます。

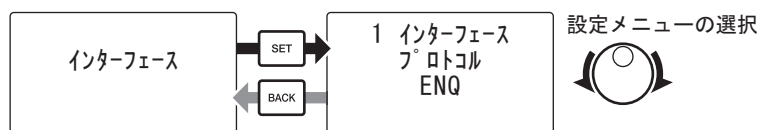
- 4 **SET** を押します。
キーロック機能を確定し、設定メニューの選択操作に戻ります。

3.5 インターフェースモードの操作

取り付けしたインターフェースボード(オプション)の通信設定を行うことができます。

インターフェースの種類によって表示内容は異なります。

インターフェースモードに移行後、ダイヤルを回して設定メニューを選択します。



下記に設定メニューとその内容を示します。

設定メニュー	内 容	参照ページ
1 プロトコル	装着したインターフェースの通信設定を行います。	P.3-65
2 IP アドレス	LAN インターフェースを装着した場合の IP アドレスなどを設定します。	P.3-66
3 RS-232C プロトコル	RS-232C インターフェースを装着した場合の通信設定を行います。	P.3-67
4 RS-232C 設定表示	RS-232C の通信条件を確認することができます。	P.3-68

3.5.1 プロトコルの設定

装着したインターフェースの通信設定について説明します。



参考

BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

- 1 インターフェースモードで、ダイヤルを回して「プロトコル」を表示します。



LCD の 3 行目には、現在の設定値が表示されています。

- 2 SET を押します。

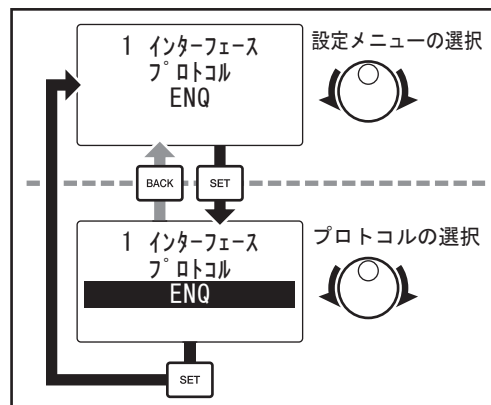
プロトコルの選択操作に移行し、選択欄が反転表示します。

- 3 ダイヤルを回して任意のプロトコルを表示します。



- 4 SET を押します。

通信設定を確認し、設定メニューの選択操作に戻ります。



参考

BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。

3.5.2 LANの通信設定

LAN インターフェースを装着した場合のアドレス設定について説明します。



参考
BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

1 インターフェースモードで、ダイヤルを回して「IP アドレス」を表示します。



LCD の各行 (2 行目:IP アドレス/3 行目:サブネットマスク/4 行目:ゲートウェイ)には、現在の設定値が表示されています。

2 SET を押します。
IP アドレスの現在の設定値が表示されます。

3 SET を押します。
IP アドレスの設定操作に移行し、はじめの入力欄が反転表示します。

4 ダイヤルを回して任意の IP アドレスを表示し、SET (または LABEL) を押して次の入力欄に切り替えます。



IP アドレスの入力欄をすべて設定すると、サブネットマスクの現在の設定値が表示されます。

5 SET を押します。
サブネットマスクの設定操作に移行し、はじめの入力欄が反転表示します。

6 ダイヤルを回して任意のサブネットマスクを表示し、SET (または LABEL) を押して次の入力欄に切り替えます。



サブネットマスクの入力欄をすべて設定すると、ゲートウェイの現在の設定値が表示されます。



参考
BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。



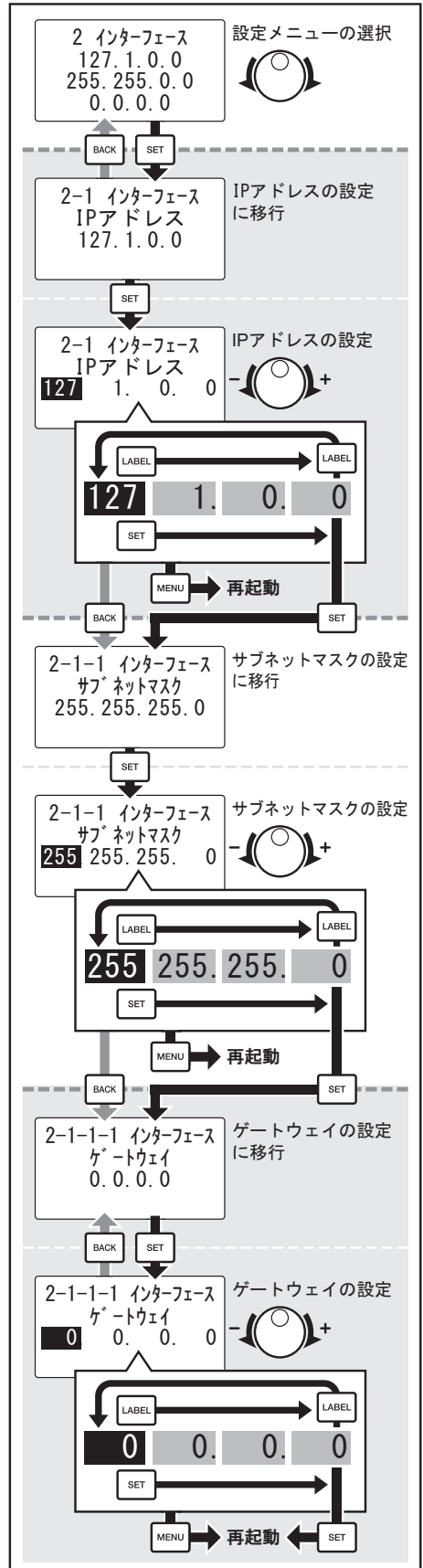
参考
BACK を押すと、IP アドレスの編集を中止してサブネットマスクの編集に移行します。
手順 5 から作業を行ってください。



参考
MENU を押すと、設定内容を確定して再起動されます。



参考
BACK を押すと、サブネットマスクの編集を中止してゲートウェイの編集に移行します。
手順 7 から作業を行ってください。





参考

MENU を押すと、設定内容を確定して再起動されます。

7 SET を押します。

ゲートウェイの設定操作に移行し、はじめの入力欄が反転表示します。

8 ダイヤルを回して任意のゲートウェイを表示し、SET (または LABEL) を押して次の入力欄に切り替えます。



ゲートウェイの入力欄をすべて設定すると、通信設定を確定して再起動されます。

3.5.3 RS-232Cの通信設定

RS-232C インターフェースを装着した場合の通信設定について説明します。



参考

BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

1 インターフェースモードで、ダイヤルを回して「RS-232C プロトコル」を表示します。



LCD の 4 行目には、現在の設定値が表示されています。

2 SET を押します。

プロトコルの選択操作に移行し、選択欄が反転表示します。

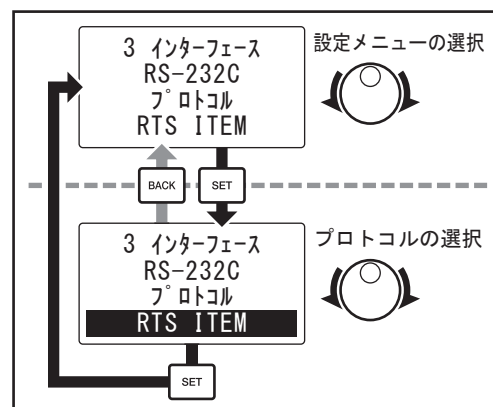
3 ダイヤルを回して任意のプロトコルを表示します。



※ プロトコルの一覧から“ステータス”を選択した場合、設定メニュー「1 プロトコル」(P.3-65「3.5.1 プロトコルの設定」参照)で設定されたプロトコルになります。

4 SET を押します。

通信設定を確定し、設定メニューの選択操作に戻ります。



参考

BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。

3.5.4 RS-232Cの通信設定条件の確認

RS-232C インターフェイスボードにある DipSW で設定された通信条件を確認する方法について説明します。



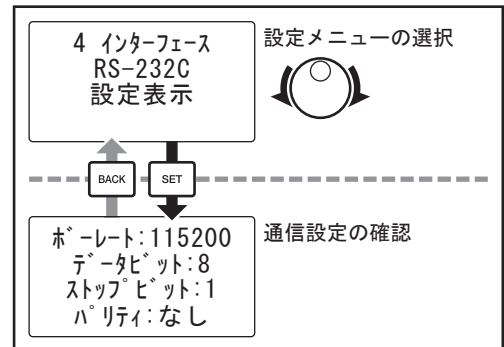
参考
BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

- 1 インターフェイスモードで、ダイヤルを回して「RS-232C 設定表示」を表示します。



- 2 SET を押します。

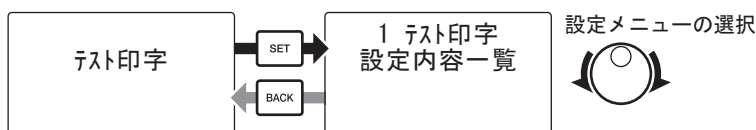
RS-232C の通信設定が表示されます。
通信設定を確認後、BACK を押して設定メニューの選択操作に戻ってください。



3.6 テスト印字モードの操作

デモパターン印字やバーコード印字など、印字状態を確認するためにテスト印字することができます。また、ヘッドチェックを行ったり設定内容を印字することもできます。

テスト印字モードに移行後、ダイヤルを回して設定メニューを選択します。



下記に設定メニューとその内容を示します。

設定メニュー	内 容	参照ページ
1 設定内容一覧	選択している印字条件の設定内容を印字します。	P.3-69
2 バーコード	バーコードのコード体系ごとにテスト印字します。	P.3-70
3 ヘッドチェック	ヘッドチェックを実行してヘッド状態を印字します。	P.3-71
4 フォント一覧	本機が有するフォントについてテスト印字します。	P.3-72
5 検査パターン	検査パターンを印字します。	P.3-72
6 CF カード内容	CF カードに保存しているデータ内容を印字します。 ※ CF カードスロット(オプション)を装着している場合のみ有効に印字します。	P.3-73

3.6.1 設定内容の印字

選択している印字条件の設定内容を印字します。



参考

BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。



参考

印字は、中止できません。



参考

印字中にラベル切れなどのエラーが発生した場合、PRINT を押すと再発行されます。

1 テスト印字モードで、ダイヤルを回して「設定内容一覧」を表示します。



2 SET を押します。

印字条件の設定内容を印字し、設定メニューの選択操作に戻ります。

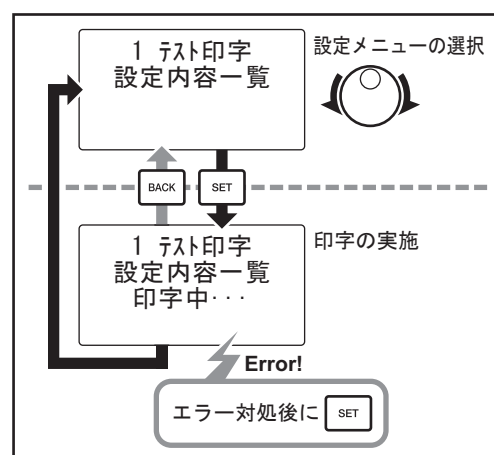
印字例

```

Version = 20458
Thermal Head = 12 dots/mm
i/F/F2=4設定値
ア 01 26 = ENDQ3(TATUS 3)
RIS-2020CF 0126 = RTS ITEM
RPF 04 = 127.0.0.0
R7 011232 = 255.255.0.0
ア 0101 = 0.0.0.0
ア 0102設定値
おのの 0771-07 = 011検
漢字01 = SH4PT JIS
ア 010102 = しない
漢字0101 = 01107
ア 0110107 = 有効
おのの0101 = する
起動時検送リ = しない
11-時 再発行 = する
発行時 検取 = 検取
検取発行検取 = 検取
台帳取検取使用 = しない
JANの可読文字 = 小文字
検取検取 = 検取
座標補正 = /-75
印字速度調整1 = 50%
印字速度調整2 = 40%
印字速度調整3 = 70%
    
```

```

基点開始位置補正 幅 = 0.000mm
基点開始位置補正 長さ = 0.000mm
ア 01 検取 = 100mmscc
印字速度 = 検取
検取長 = 有効
UIC01 = 印字 = 検取
座標補正 = 検取
ア 01 検取 0107 = 0.0mm
    
```



3.6.2 バーコードの印字

バーコードのコード体系ごとにテスト印字します。



参考

BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

- 1 テスト印字モードで、ダイヤルを回して「バーコード」を表示します。



参考

印字は、中止できません。



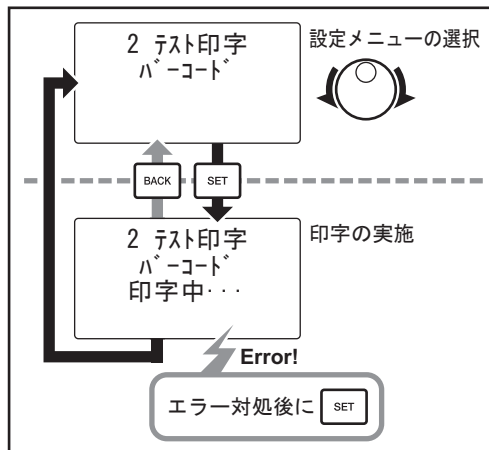
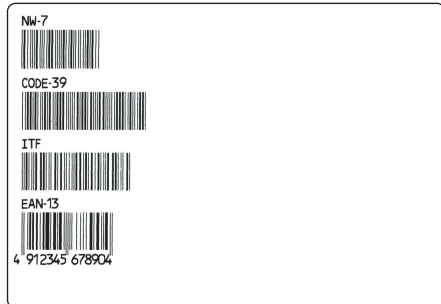
参考

印字中にラベル切れなどのエラーが発生した場合、**PRINT** を押すと再発行されます。

- 2 **SET** を押します。

バーコードを印字し、設定メニューの選択操作に戻ります。

印字例



3.6.3 ヘッド状態の印字

ヘッドチェックを実行してヘッド状態を印字します。



参考

BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。



参考

印字は、中止できません。



参考

印字中にラベル切れなどのエラーが発生した場合、PRINT を押すと再発行されます。

- 1 テスト印字モードで、ダイヤルを回して「ヘッドチェック」を表示します。



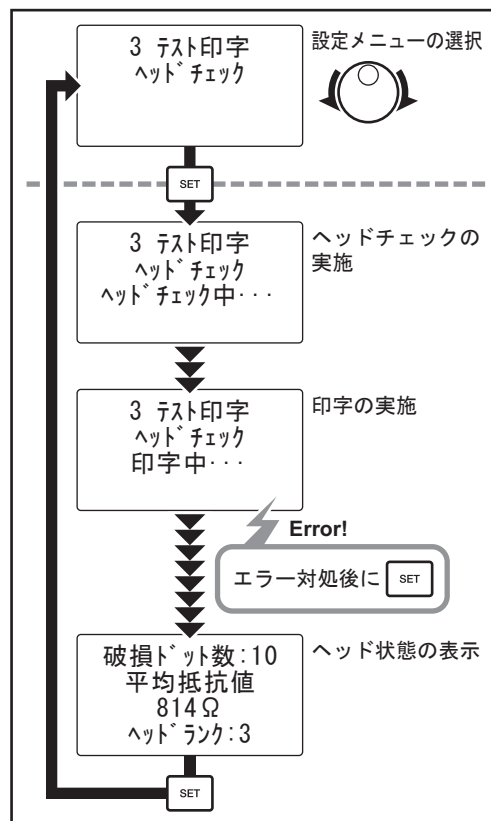
- 2 SET を押します。

ヘッドチェックを実行し、ヘッド状態が印字されます。

印字後、LCD にヘッド状態が表示されます。

- 3 ヘッド状態を確認します。

ヘッドの破損がひどい場合は、P.4-8「4.2 サーマルヘッドの交換」を参照してサーマルヘッドを交換してください。

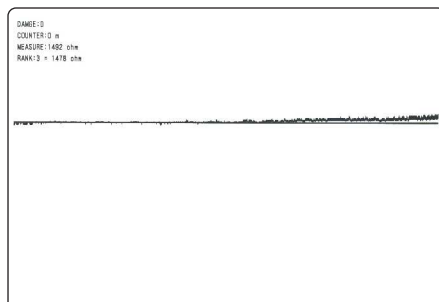


チェック項目		内 容
LCD 表示	印字	
破損ドット数	DAMAGE	破損しているヘッドのドット数を示します。
—	COUNTER	ヘッドの走行距離を示します。
平均抵抗値	MEASURE	サーマルヘッドの平均抵抗値を示します。
ヘッドランク	RANK	サーマルヘッドの抵抗値ランクを示します。

- 4 SET を押します。

設定メニューの選択操作に戻ります。

印字例



3.6.4 フォントの印字

本機が有するフォントについてテスト印字します。



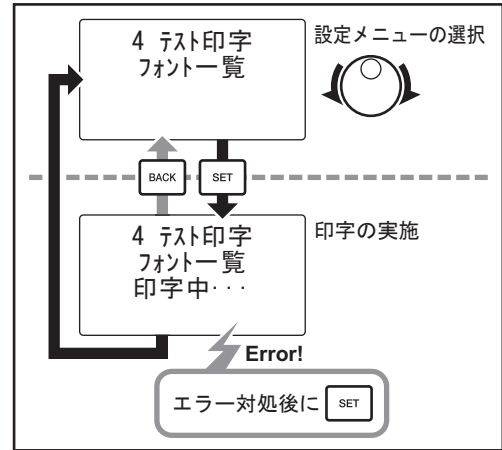
参考
BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

- 1 テスト印字モードで、ダイヤルを回して「フォント一覧」を表示します。



- 2 SET を押します。
フォントを印字し、設定メニューの選択操作に戻ります。

印字例



印字は、中止できません。



印字中にラベル切れなどのエラーが発生した場合、PRINT を押すと再発行されます。

3.6.5 検査パターンの印字

検査パターンを印字します。



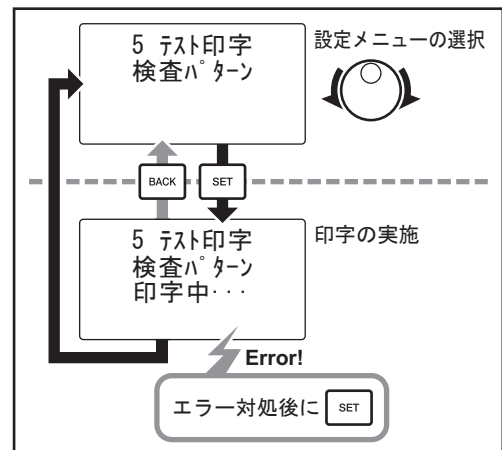
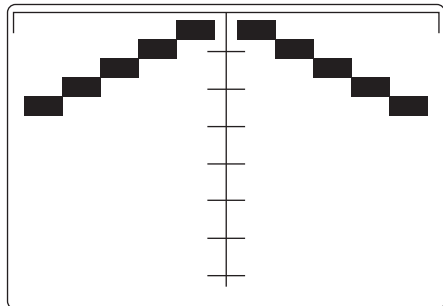
参考
BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

- 1 テスト印字モードで、ダイヤルを回して「検査パターン」を表示します。



- 2 SET を押します。
検査パターンを印字し、設定メニューの選択操作に戻ります。

印字例



印字は、中止できません。



印字中にラベル切れなどのエラーが発生した場合、PRINT を押すと再発行されます。

3.6.6 CFカード内容の印字

CFカードに保存しているデータ内容を印字します。

注 記 CFカードスロット(オプション)を装着している場合のみ有効に印字されます。



参考

BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。



参考

印字は、中止できません。



参考

印字中にラベル切れなどのエラーが発生した場合、PRINT を押すと再発行されます。

- 1 テスト印字モードで、ダイヤルを回して「CF カード内容」を表示します。

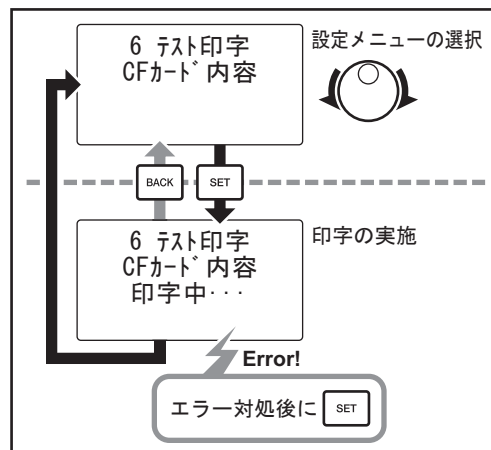


- 2 SET を押します。

CF カード内のデータを印字し、設定メニューの選択操作に戻ります。

印字例

```
PRINT: CM1 19456 Byte
LOGDATA: TXT 23052 Byte
README: TXT 22016 Byte
```



3.7 ダンプモードの操作

コンピュータから受信した印字指示の内容を印字、またはファイルとして CF カード(オプション)に書き込むことができます。

ダンプモードに移行後、ダイヤルを回して設定メニューを選択します。



下記に設定メニューとその内容を示します。

設定メニュー	内 容	参照ページ
1 オンラインダンプ	コンピュータから印字指示を受信して内容を印字、または CF カードに保存することができます。	P.3-74
2 受信済みダンプ	印刷した印字指示の内容を印字、または CF カードに保存することができます。	P.3-76

3.7.1 オンラインダンプの実施

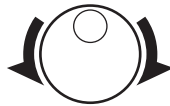
コンピュータから印字指示を受信して内容を印字、または CF カードに保存することができます。ラベルに印字する場合は「■ 印字指示の印字」、CF カードに保存する場合は「■ 印字指示の保存」をご覧ください。

■ 印字指示の印字



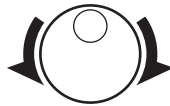
BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

1 ダンプモードで、ダイヤルを回して「オンラインダンプ」を表示します。



2 SET を押します。
出力先の選択操作に移行します。

3 ダイヤルを回して「ラベル」を表示します。

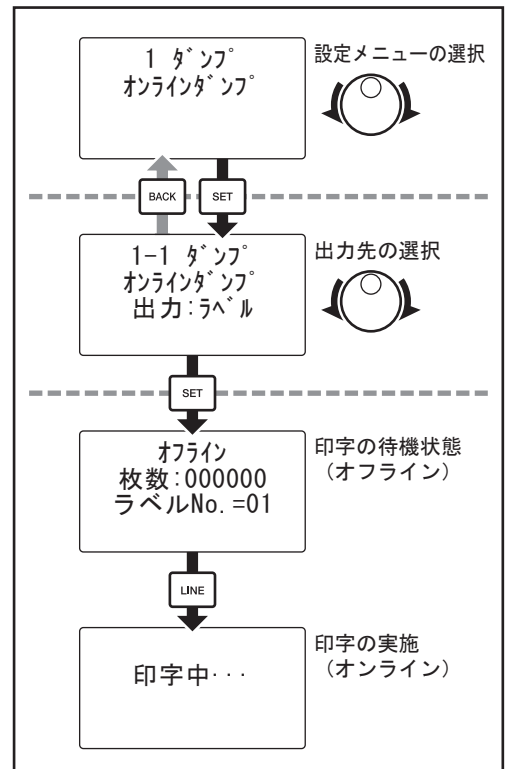


4 SET を押します。
印字の待機状態になります。

5 LINE を押します。
オンライン状態になり、コンピュータから印字指示を受信して印字します。



BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。



注 記

電源を切るまでオンラインダンプは解除されません。

■ 印字指示の保存



BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

- 1 ダンプモードで、ダイヤルを回して「オンラインダンプ」を表示します。



- 2 **SET** を押します。

出力先の選択操作に移行します。

- 3 ダイヤルを回して「CF カード」を表示します。



- 4 **SET** を押します。

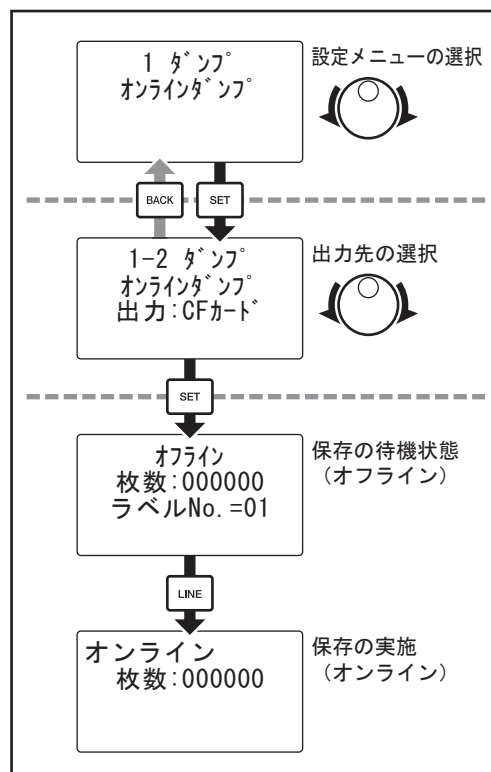
保存の待機状態になります。

- 5 **LINE** を押します。

オンライン状態になってコンピュータから印字指示を受信し、CF カードにデータを保存しながら通常の印字動作を行います。



BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。



注 記

電源を切るまでオンラインダンプは解除されません。

電源を切る前に、必ず **LINE** を押して一時停止状態にしてください。

3.7.2 受信済みダンプの実施

印刷した印字指示の内容を印字、または CF カードに保存することができます。
ラベルに印字する場合は「■ 印字指示の印字」、CF カードに保存する場合は「■ 印字指示の保存」をご覧ください。

■ 印字指示の印字



参考
BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

- 1 ダンプモードで、ダイヤルを回して「受信済みダンプ」を表示します。



- 2 SET を押します。
出力先の選択操作に移行します。

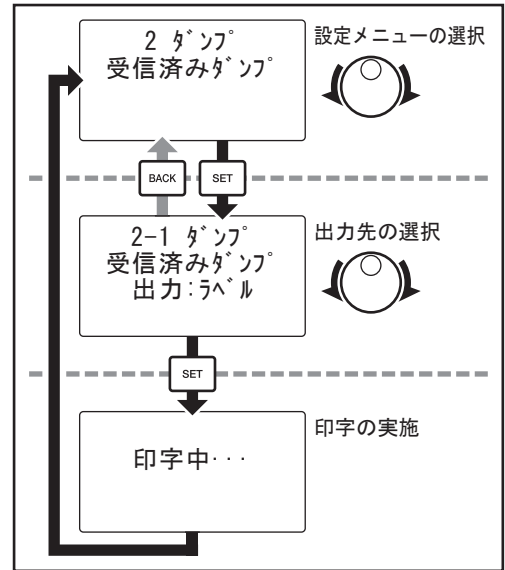
- 3 ダイヤルを回して「ラベル」を表示します。



- 4 SET を押します。
印字内容を印字します。
印字が終了すると、設定メニューの選択操作に戻ります。



参考
BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。



■ 印字指示の保存



参考
BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

- 1 ダンプモードで、ダイヤルを回して「受信済みダンプ」を表示します。



- 2 SET を押します。

出力先の選択操作に移行します。



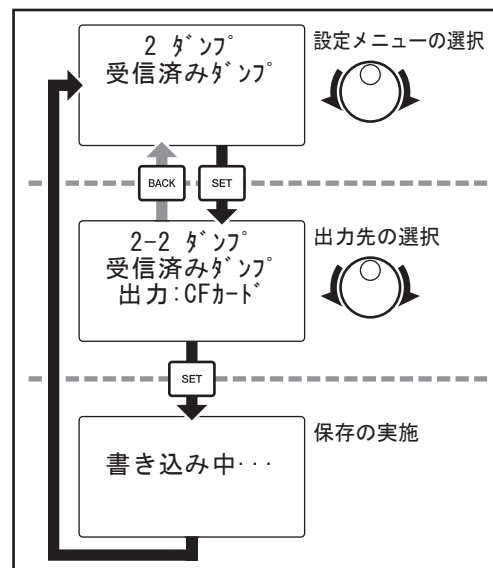
参考
BACK を押すと、設定メニューの選択操作に戻ります。

- 3 ダイヤルを回して「CF カード」を表示します。



- 4 SET を押します。

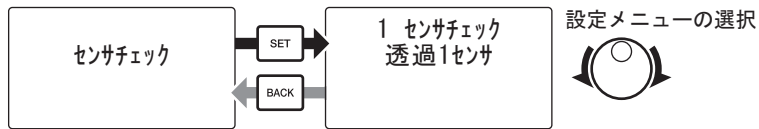
印字内容を CF カードに保存します。
保存が終了すると、設定メニューの選択操作に戻ります。



3.8 センサチェックモードの操作

各センサが正常かどうか動作チェックを行うことができます。

センサチェックモードに移行後、ダイヤルを回して設定メニューを選択します。



下記に設定メニューとその内容を示します。

設定メニュー	内 容	参照ページ
1 透過 1 センサ	ラベルを 1 枚紙送りし、透過 1 センサがラベルを検出できるかどうか動作チェックを行います。	P.3-79
2 透過 2 センサ	ラベルを 1 枚紙送りし、透過 2 センサがラベルを検出できるかどうか動作チェックを行います。	P.3-79
3 反射 1 センサ	ラベルを 1 枚紙送りし、反射 1 センサがラベルを検出できるかどうか動作チェックを行います。	P.3-79
4 反射 2 センサ	ラベルを 1 枚紙送りし、反射 2 センサがラベルを検出できるかどうか動作チェックを行います。	P.3-79
5 ヘッドアップセンサ	ヘッド部を動かし、ヘッドアップセンサが正常かどうか動作チェックを行います。	P.3-80
6 送りローラセンサ	送りローラ部を動かし、送りローラセンサが正常かどうか動作チェックを行います。	P.3-81
7 リボンセンサ	NEW リボンホルダを回し、リボンセンサが正常かどうか動作チェックを行います。	P.3-82
8 ダンパセンサ	ダンパアームを動かし、ダンパセンサが正常かどうか動作チェックを行います。	P.3-83
9 ヘッド温度	サーマルヘッドの温度が正しく表示されるかどうか動作チェックを行います。	P.3-84
10 プリンタ内温度	プリンタ内の温度が正しく表示されるかどうか動作チェックを行います。	P.3-84
11 ハクリセンサ	ラベルをハクリセンサの投受光間に抜き差しし、ラベルを検出できるかどうか動作チェックを行います。 ※ ラベルセットモードの設定メニュー「1-1 プリンタモード」を“ハクリ”に設定した印字条件を使用時のみ表示・設定できます。	P.3-85
12 外部信号入力確認	入力端子に接続した外部機器からの入力信号を正常に受信できるかどうか通信チェックを行います。	P.3-86
13 外部信号出力確認	出力端子に接続した外部機器への出力信号を正常に送信できるかどうか通信チェックを行います。	P.3-87
14 エンドテープ	熱転写リボンをエンドテープセンサの投受光間に抜き差しし、熱転写リボンを検出できるかどうか動作チェックを行います。	P.3-88

3.8.1 透過センサ／反射センサの確認

ラベルを1枚紙送りし、ラベルを検出できるかどうか動作チェックを行います。

透過1センサ、透過2センサ、反射1センサ、反射2センサともに操作は同じため、ここでは「透過1センサ」を例に説明します。



参考

BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

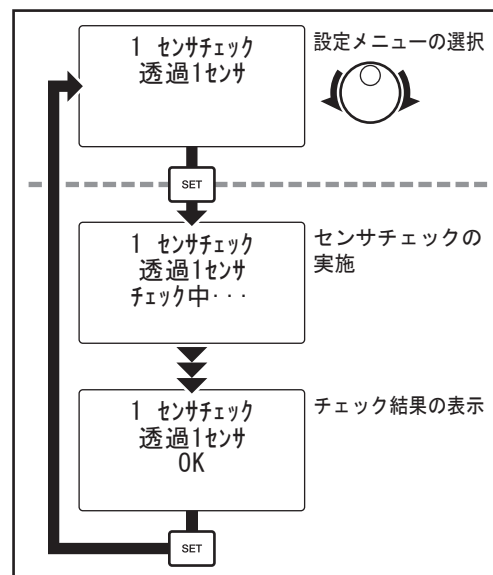
- 1 センサチェックモードで、ダイヤルを回して「透過1センサ」を表示します。



- 2 SET を押します。

ラベルを1枚紙送りし、ラベル検出できるかどうか動作チェックされます。

チェック動作後、LCD にチェック結果が表示されます。



結果	内容
OK	ラベルを検出できました。センサは正常です。
NG	ラベルを検出できませんでした。何らかの異常があります。

- 3 SET を押します。

設定メニューの選択操作に戻ります。

3.8.2 ヘッドアップセンサの確認

ヘッド部を動かし、ヘッドアップセンサが正常かどうか動作チェックを行います。

注 記 アドバンスモードでブザー音を無効に設定していても、ブザー音は確認のため鳴ります。



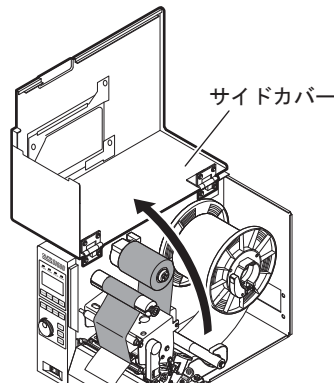
参考
BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

- 1 センサチェックモードで、ダイヤルを回して「ヘッドアップセンサ」を表示します。



- 2 SET を押します。
ヘッドアップセンサの動作チェックに移行します。

- 3 サイドカバーを開きます。



注意

サイドカバーは、カバー上面と本体がくっつくまで完全に開いてください。途中まで開いた状態や開閉途中で手を離すと、カバーが倒れてケガや故障の原因となります。

注意

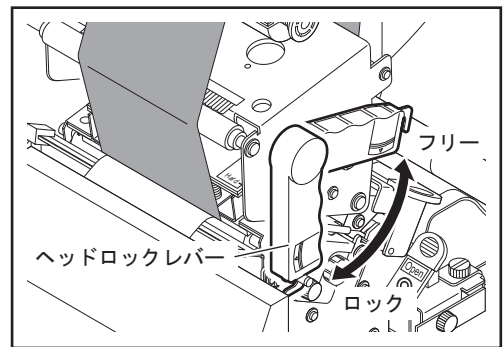
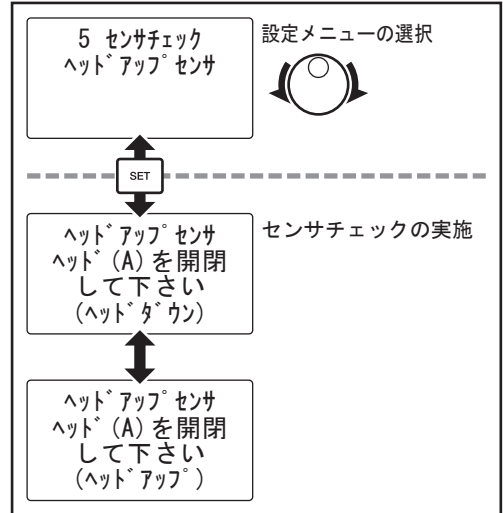
ヘッドロックレバーを操作するとき、サーマルヘッドが上下する箇所に指、手を置かないでください。ケガの原因となります。

- 4 ヘッド部を動かし、センサの動作を確認します。

ヘッドロックレバーをフリー状態⇄ロック状態に動かし、LCD の表示とブザー音を確認します。

以下に、正常な場合の動作を示します。

状態	LCD 表示	ブザー音
フリー	ヘッドアップ (A)	「ピッ」と鳴る
ロック	ヘッドダウン (A)	「ピッ」と鳴る



- 5 SET を押します。
設定メニューの選択操作に戻ります。
ヘッドロックレバーをロック状態にし、サイドカバーを閉じておいてください。

3.8.3 送りローラセンサの確認

押さえ部を動かし、送りローラセンサが正常かどうか動作チェックを行います。

注 記 アドバンスモードでブザー音を無効に設定していても、ブザー音は確認のため鳴ります。



参考

BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

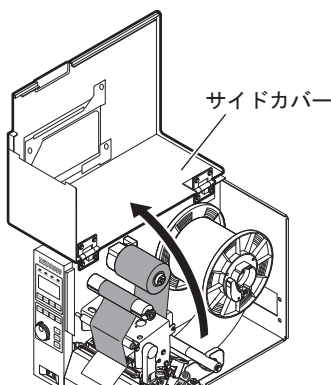
1 センサチェックモードで、ダイヤルを回して「送りローラセンサ」を表示します。



2 SET を押します。

送りローラセンサの動作チェックに移行します。

3 サイドカバーを開きます。



注意

サイドカバーは、カバー上面と本体がくっつくまで完全に開いてください。途中まで開いた状態や開閉途中で手を離すと、カバーが倒れてケガや故障の原因となります。

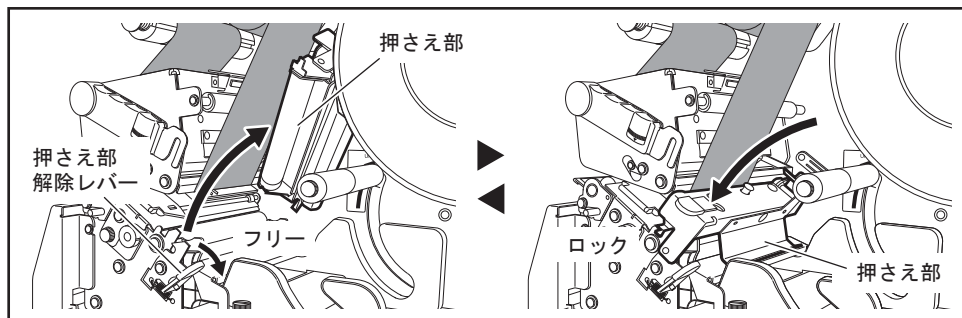
注意

押さえ部を開いた後は、マグネットできちんと固定されていることを確認してください。開閉途中で手を離すと、押さえ部が倒れてケガの原因となります。

4 押さえ部を動かし、センサの動作を確認します。

押さえ部をフリー状態⇄ロック状態に動かし、LCD の表示とブザー音を確認します。以下に、正常な場合の動作を示します。

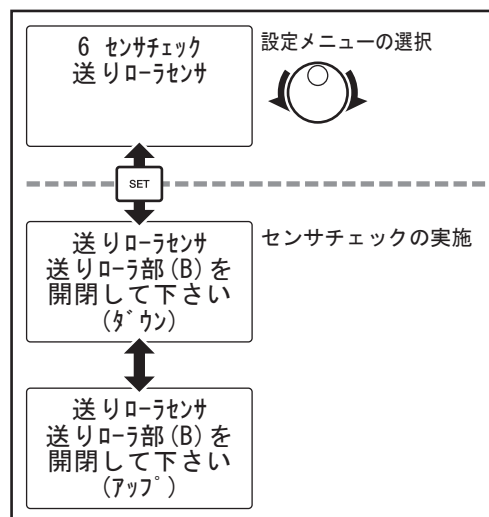
状態	LCD 表示	ブザー音
フリー	アップ (B)	「ピッ」と鳴る
ロック	ダウン (B)	「ピッ」と鳴る



5 SET を押します。

設定メニューの選択操作に戻ります。

押さえ部をロック状態にし、サイドカバーを閉じておいてください。



3.8.4 リボンセンサの確認

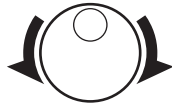
リボン供給部を回し、リボンセンサが正常かどうか動作チェックを行います。

注 記 アドバンスモードでブザー音を無効に設定していても、ブザー音は確認のため鳴ります。



参考
BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

- 1 センサチェックモードで、ダイヤルを回して「リボンセンサ」を表示します。

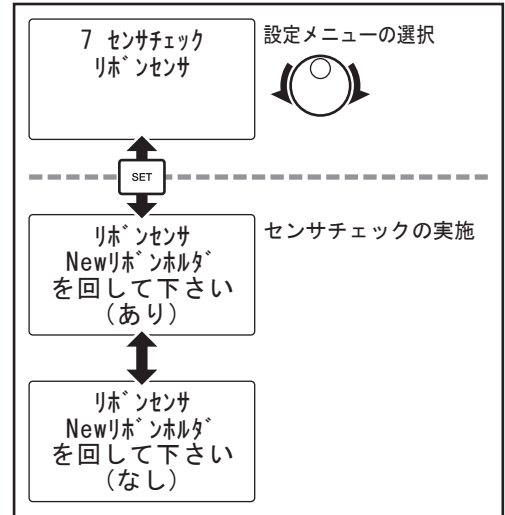
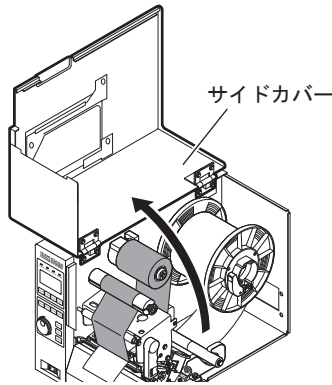


- 2 SET を押します。
リボンセンサの動作チェックに移行します。

注意

サイドカバーは、カバー上面と本体がくっつくまで完全に開いてください。途中まで開いた状態や開閉途中で手を離すと、カバーが倒れてケガや故障の原因となります。

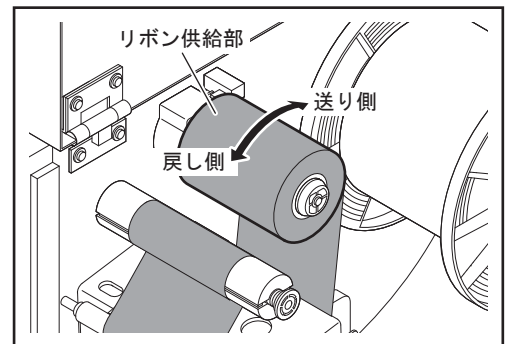
- 3 サイドカバーを開きます。



- 4 リボン供給部を回し、センサの動作を確認します。

リボン供給部を送り側⇄戻し側に回し、LCD の表示とブザー音を確認します。以下に、正常な場合の動作を示します。

状態	LCD 表示	ブザー音
送り側	あり	「ピッ」と鳴る
戻し側	なし	「ピッ」と鳴る



- 5 SET を押します。
設定メニューの選択操作に戻ります。
サイドカバーを閉じておいてください。

3.8.5 ダンパセンサの確認

ダンパアームを動かし、ダンパセンサが正常かどうか動作チェックを行います。

注 記 アドバンスモードでブザー音を無効に設定していても、ブザー音は確認のため鳴ります。



参考

BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

- 1 センサチェックモードで、ダイヤルを回して「ダンパセンサ」を表示します。



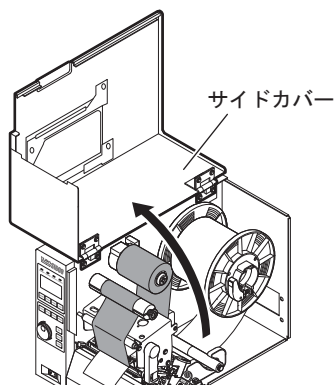
- 2 SET を押します。

ダンパセンサの動作チェックに移行します。

- 3 サイドカバーを開きます。

注意

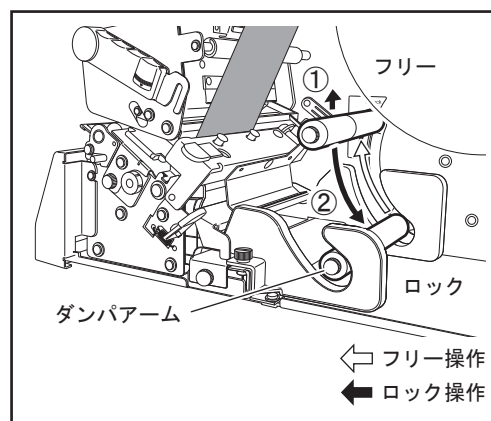
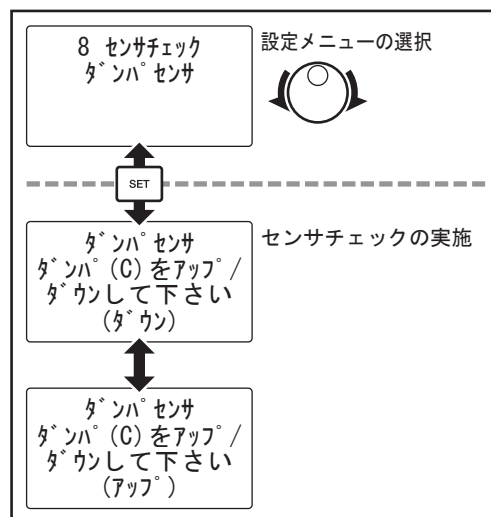
サイドカバーは、カバー上面と本体がくっつくまで完全に開いてください。途中まで開いた状態や開閉途中で手を離すと、カバーが倒れてケガや故障の原因となります。



- 4 ダンパアームを動かし、センサの動作を確認します。

ダンパアームをフリー状態⇄ロック状態に回し、LCD の表示とブザー音を確認します。以下に、正常な場合の動作を示します。

状態	LCD 表示	ブザー音
フリー	アップ (C)	「ピッ」と鳴る
ロック	ダウン (C)	「ピッ」と鳴る



- 5 SET を押します。

設定メニューの選択操作に戻ります。

ダンパアームをロック状態にし、サイドカバーを閉じておいてください。

3.8.6 ヘッド温度の確認

サーマルヘッドの温度が正しく表示されるかどうか動作チェックを行います。



参考

BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

- 1 センサチェックモードで、ダイヤルを回して「ヘッド温度」を表示します。

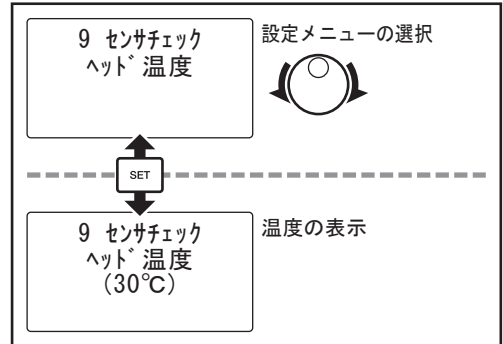


- 2 SET を押します。

LCD の 3 行目に、ヘッド温度が表示されます。

- 3 SET を押します。

設定メニューの選択操作に戻ります。



3.8.7 プリンタ内温度の確認

プリンタ内の温度が正しく表示されるかどうか動作チェックを行います。



参考

BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

- 1 センサチェックモードで、ダイヤルを回して「プリンタ内温度」を表示します。

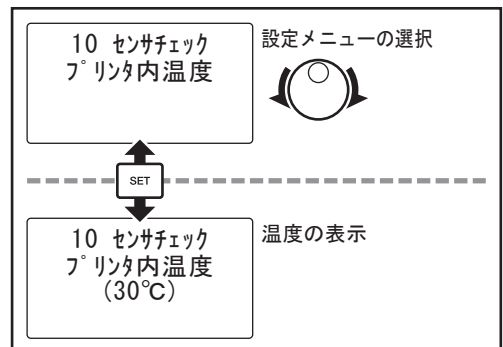


- 2 SET を押します。

LCD の 3 行目に、プリンタ内の温度が表示されます。

- 3 SET を押します。

設定メニューの選択操作に戻ります。



3.8.8 ハクリセンサの確認

ラベルをハクリセンサの投受光間に抜き差しし、ラベルを検出できるかどうか動作チェックを行います。

- 注 記**
- ・ラベルセットモードの設定メニュー「1-1 プリンタモード」を“ハクリ”に設定している印字条件を使用時に表示されます。
 - ・剥離ユニット(オプション)を装着している場合のみ必要なチェックです。
 - ・アドバンスモードでブザー音を無効に設定していても、ブザー音は確認のため鳴ります。



参考

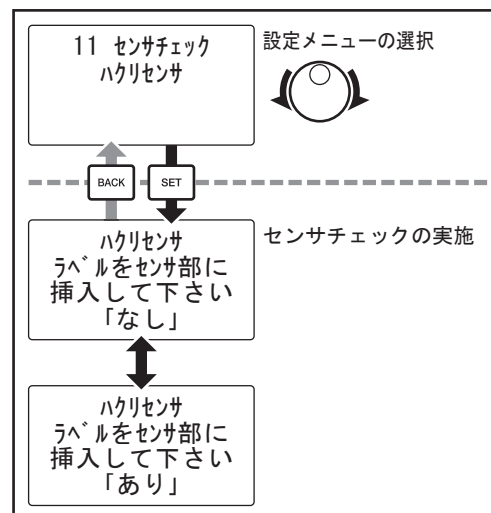
BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

- 1** センサチェックモードで、ダイヤルを回して「ハクリセンサ」を表示します。



- 2** SET を押します。

ハクリセンサの動作チェックに移行します。



- 3** ハクリセンサの投受光間にラベルを抜き差しし、センサの動作を確認します。

LCD の表示を確認します。

以下に、正常な場合の動作を示します。

ラベルの状態	LCD 表示
通した状態	あり
抜いた状態	なし

- 4** BACK を押します。

設定メニューの選択操作に戻ります。

3.8.9 外部信号（入力）の確認

入力端子に接続した外部機器からの入力信号を正常に受信できるかどうか通信チェックを行います。

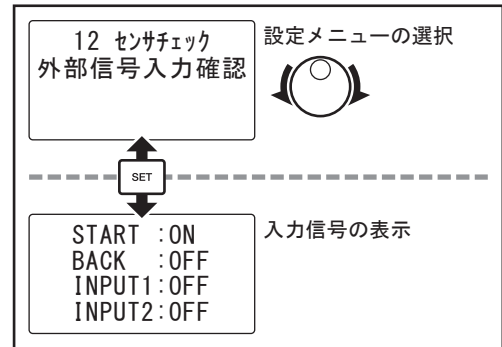
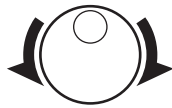
注 記 外部信号の入力端子(オプション)を装着している場合のみ必要なチェックです。



参考

BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

1 センサチェックモードで、ダイヤルを回して「外部信号入力確認」を表示します。



2 SET を押します。

LCD に入力信号の状態が表示されます。

結果	内 容
ON	信号が ON の状態です。
OFF	信号が OFF の状態です。

3 SET を押します。

設定メニューの選択操作に戻ります。

3.8.10 外部信号（出力）の確認

外部端子に接続した外部機器への出力信号が正常に変化するかどうかチェックを行います。

注 記 外部信号の出力端子(オプション)を装着している場合のみ必要なチェックです。



参考

BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

- 1 センサチェックモードで、ダイヤルを回して「外部信号出力確認」を表示します。



- 2 SET を押します。
BUSY の設定に移行します。

- 3 ダイヤルを回して「ON/OFF」を表示します。



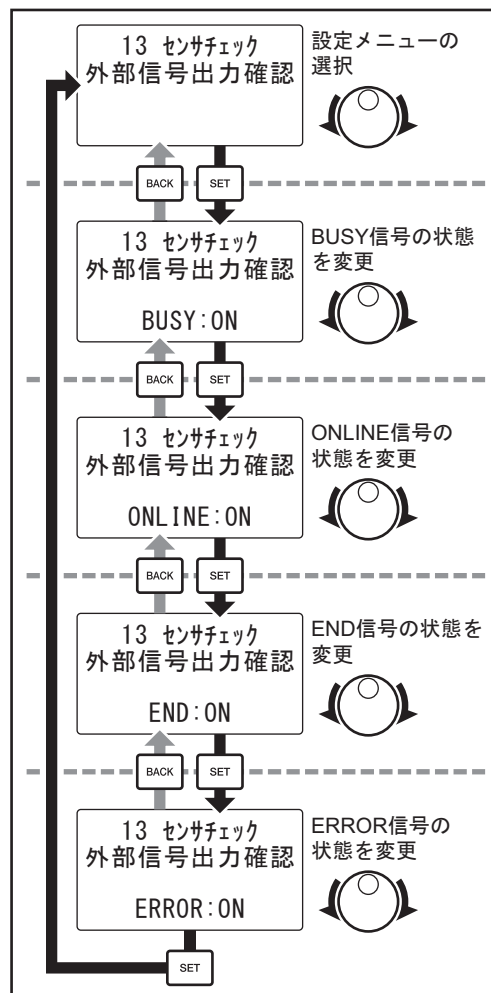
設定	内 容
ON	ON の状態にします。
OFF	OFF の状態にします。

ON/OFF の表示を切り替えた時点で外部信号が変化しますので、接続している外部機器で出力信号を確認してください。

- 4 SET を押します。
ONLINE の設定に移行します。

- 5 手順 3, 4 を繰り返して、BUSY, ONLINE, END, ERROR の 4 種類の出力信号を確認します。

- 6 ERROR のチェック完了後に、SET を押します。
設定メニューの選択操作に戻ります。



3.8.11 エンドテープセンサの確認

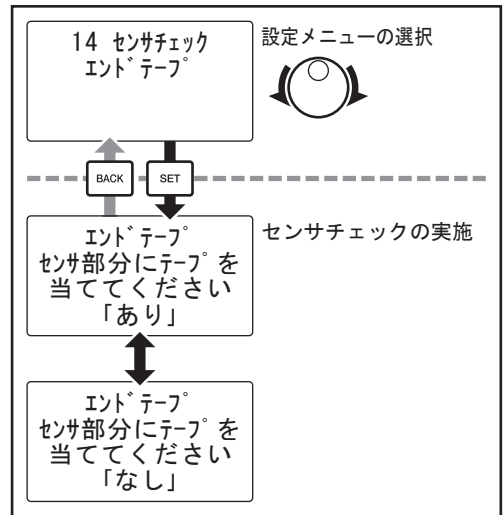
光を反射する白い紙をエンドテープセンサの投受光間に抜き差しし、熱転写リボンを検出できるかどうか動作チェックを行います。

注 記 エンドテープセンサの確認は、必ず光を反射する白い紙などで行います。



参考
BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

1 センサチェックモードで、ダイヤルを回して「エンドテープ」を表示します。

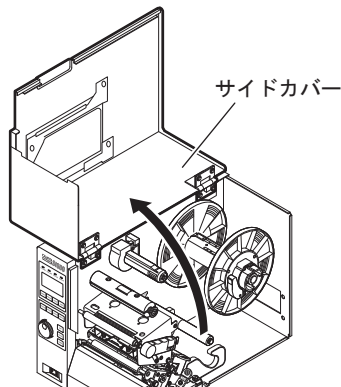


2 SET を押します。
エンドテープセンサの動作チェックに移行します。

注意

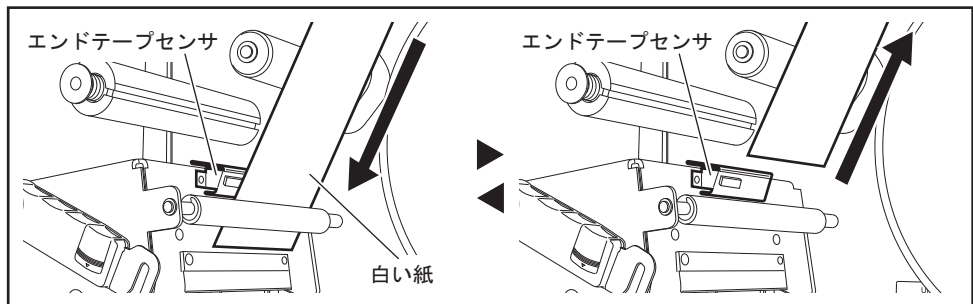
サイドカバーは、カバー上面と本体がくっつくまで完全に開いてください。途中まで開いた状態や開閉途中で手を離すと、カバーが倒れてケガや故障の原因となります。

3 サイドカバーを開きます。



4 エンドテープセンサの投受光間に白い紙を抜き差しし、センサの動作を確認します。
LCD の表示を確認します。
以下に、正常な場合の動作を示します。

白い紙の状態	LCD 表示
抜いた状態	なし
通した状態	あり

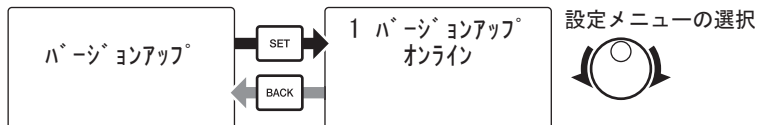


5 BACK を押します。
設定メニューの選択操作に戻ります。

3.9 バージョンアップモードの操作

コンピュータまたは CF カードから本機のプログラムを書き換えることができます。

バージョンアップモードに移行後、ダイヤルを回して設定メニューを選択します。



下記に設定メニューとその内容を示します。

設定メニュー	内 容	参照ページ
1 オンライン	コンピュータからプログラムを受信してプログラムを書き換えます。	P.3-89
2 CF カード	CF カードからプログラムを受信してプログラムを書き換えます。 ※ CF カードスロット(オプション)を装着している場合のみ操作できます。	P.3-90

3.9.1 オンラインによるバージョンアップ

コンピュータからプログラムを受信してプログラムを書き換えます。



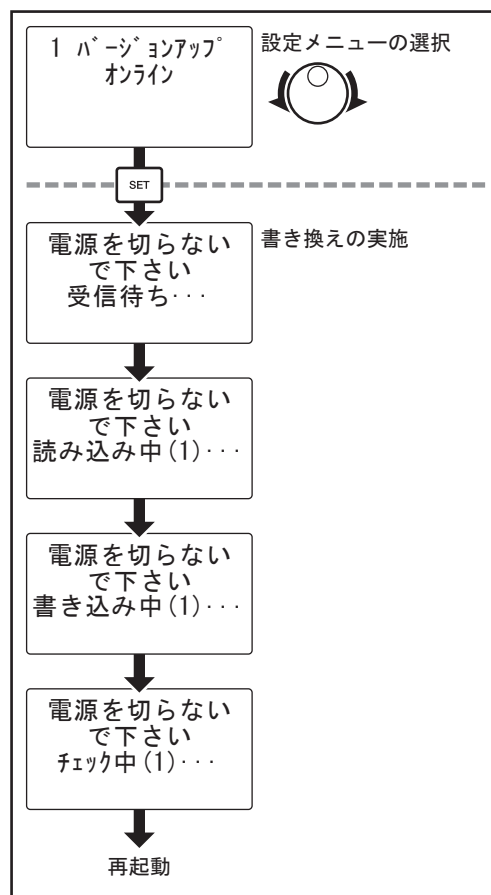
参考
BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

- 1 バージョンアップモードで、ダイヤルを回して「オンライン」を表示します。



- 2 SET を押します。

コンピュータとの通信を開始し、プログラムを書き換えます。
書き換えが終了すると、自動的に再起動されます。



3.9.2 CFカードからのバージョンアップ

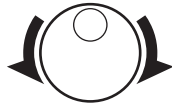
CF カードからプログラムを受信してプログラムを書き換えます。

注 記 CF カードスロット(オプション)を装着している場合のみ操作できます。



参考
BACK を押すと、設定モードの選択操作に戻ります。

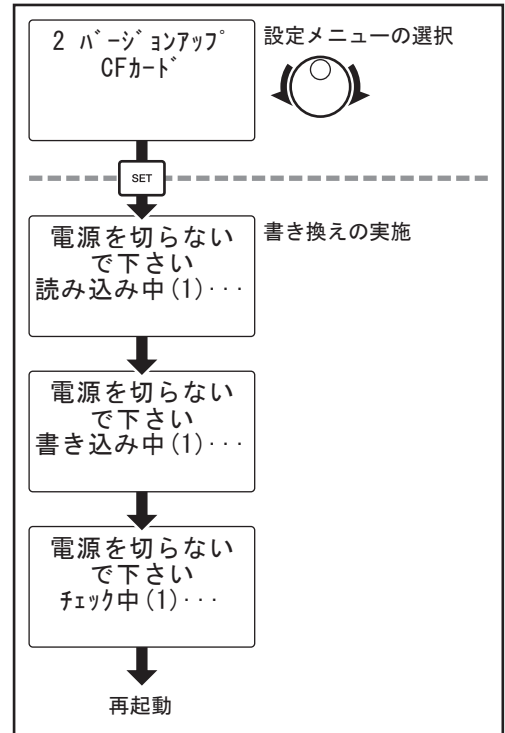
1 バージョンアップモードで、ダイヤルを回して「CF カード」を表示します。



2 SET を押します。

CF カード内のプログラムを検索し、プログラムを書き換えます。
書き換えが終了すると、自動的に再起動されます。

CF カード内にプログラムが無かったり、スロットに CF カードが挿入されていない場合は、メッセージが表示されます。



第4章

メンテナンス

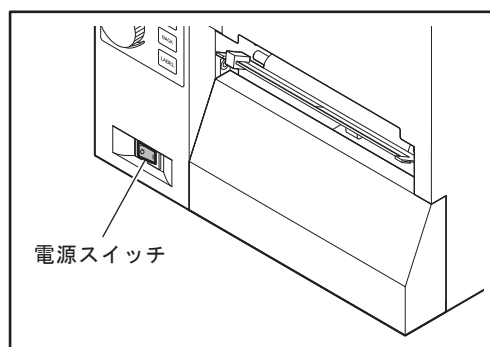
各部のクリーニング、および交換について説明しています。

- | | | |
|-----|-------------------|------|
| 4.1 | 装置内部のクリーニング | 4-2 |
| 4.2 | サーマルヘッドの交換 | 4-8 |
| 4.3 | プラテンローラの交換 | 4-12 |

4.1 装置内部のクリーニング

各部が汚れていると鮮明な印字、正常なラベル発行ができなくなるだけでなく、故障の原因にもなります。定期的にクリーニングを行ってください。

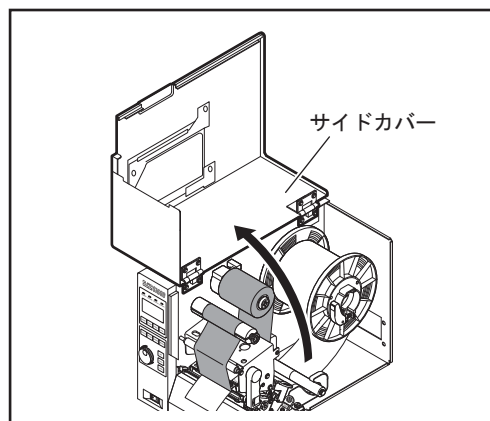
- 1 電源スイッチの「O」側を押して、電源をOFFにします。
POWERランプが消灯し、電源が切れます。



▲ 注意

サイドカバーは、カバー上面と本体がくっつくまで完全に開いてください。途中まで開いた状態や開閉途中で手をはなすと、カバーが倒れてケガや故障の原因となります。

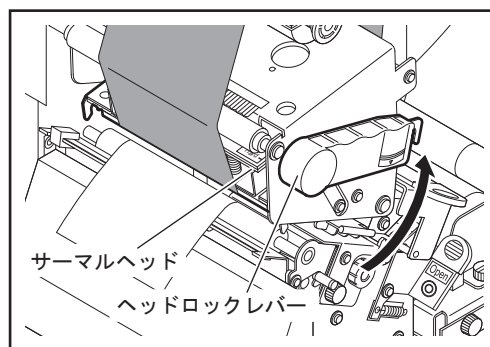
- 2 サイドカバーを開きます。



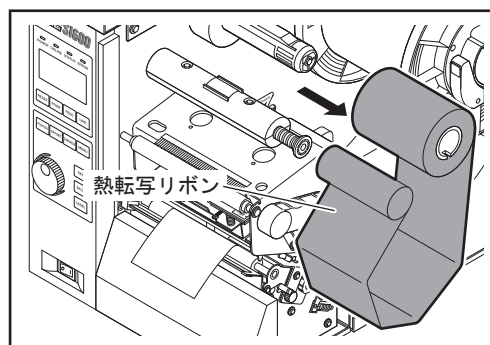
▲ 注意

ヘッドロックレバーを操作するとき、サーマルヘッドが上下する箇所に指、手を置かないでください。
ケガの原因となります。

- 3 ヘッドロックレバーをフリー方向へ上げます。
サーマルヘッドが上がります。



- 4 熱転写リボンを取り外します。



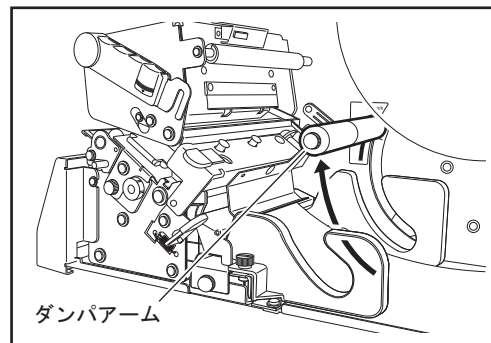
熱転写リボンの取り外しかたについては、P.1-10「1.4.1 熱転写リボンの取り付け」の手順4～5をご覧ください。



感熱ラベルをご使用の場合は、次の手順に進みます。

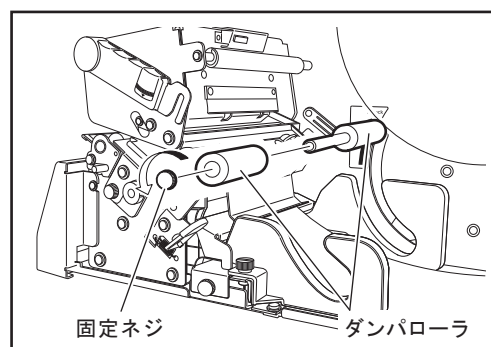
5 ダンパアームを開放状態にします。

ダンパアームを上限まで持ち上げると、「カチッ」と音がして固定されます。



6 ダンパローラを取り外し、イソプロピルアルコールを浸した布で汚れを拭き取ります。

ダンパアームの固定ネジを指で回してダンパローラを取り外します。

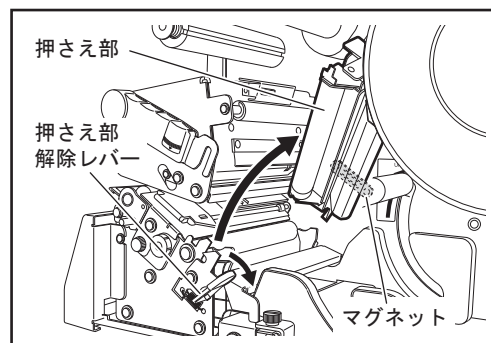


▲ 注意

押さえ部を開いた後は、マグネットできちんと固定されていることを確認してください。
開閉途中で手を離すと、押さえ部が倒れてケガの原因となります。

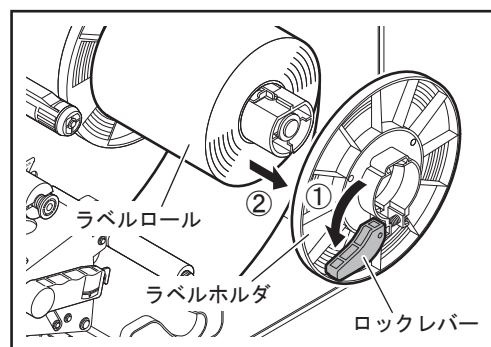
7 押さえ部を解除状態にします。

- ① 押さえ部解除レバーを押し、押さえ部を解除状態にします。
- ② 押さえ部を上げてマグネットで固定します。

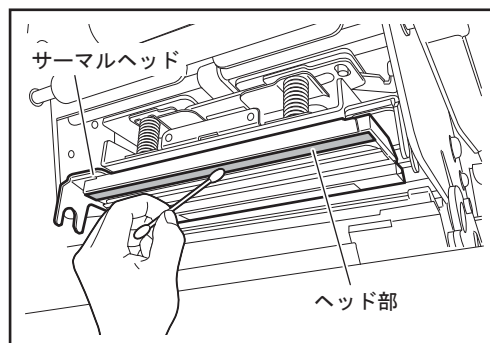


8 ラベルホルダをラベルホルダ軸から取り外し、ラベルロールを取り外します。

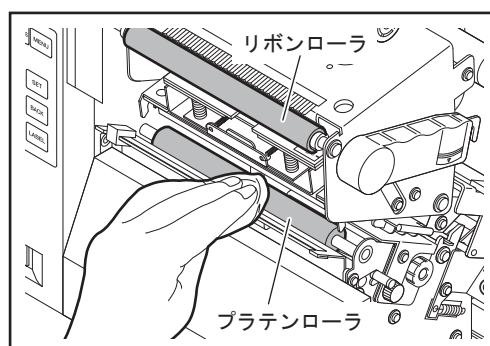
ラベルホルダのロックレバーを解除し、ラベルホルダ軸から取り外します。



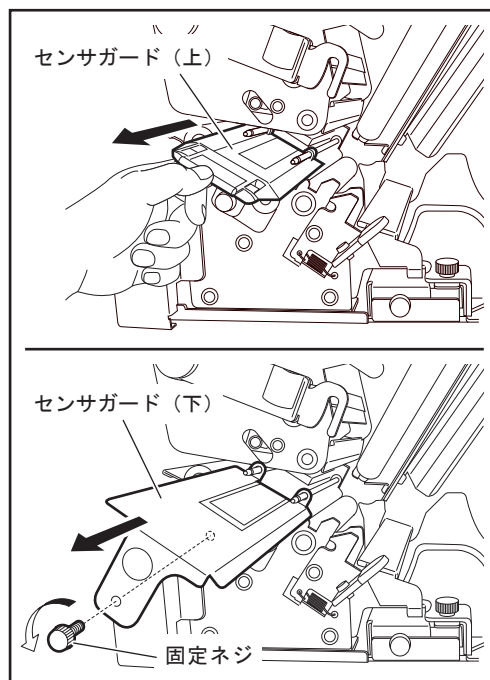
- 9** 綿棒等にイソプロピルアルコールを含ませ、サーマルヘッドを軽く拭きます。



- 10** イソプロピルアルコールを浸した布で、プラテンローラとリボンローラを軽く拭きます。



- 11** センサガード(上・下)を取り外し、表面の汚れを拭き取ります。
センサガード(上)を取り外し、センサガード(下)の固定ネジを指で回して取り外します。
清掃後、センサガード(上・下)を元どおりに取り付けます。

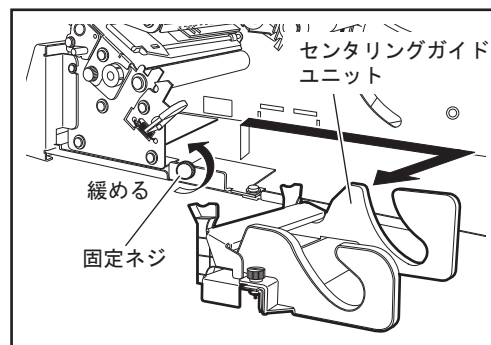


▲ 注意

取り付け時、フレーム奥面の溝穴にセンタリングガイドユニットの凸部を差し込んで固定ネジを締めてください。

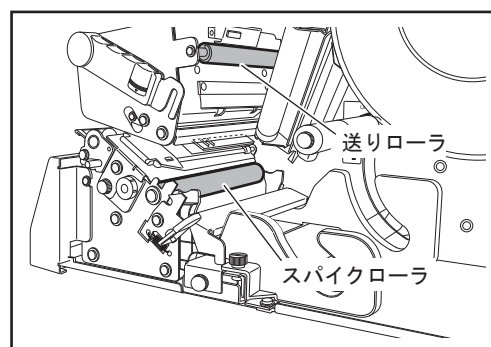
12 センタリングガイドユニットを取り外し、表面の汚れを拭き取ります。

センタリングガイドの固定ネジを指で回して取り外します。
このとき、本機の底面の汚れも拭き取っておいてください。



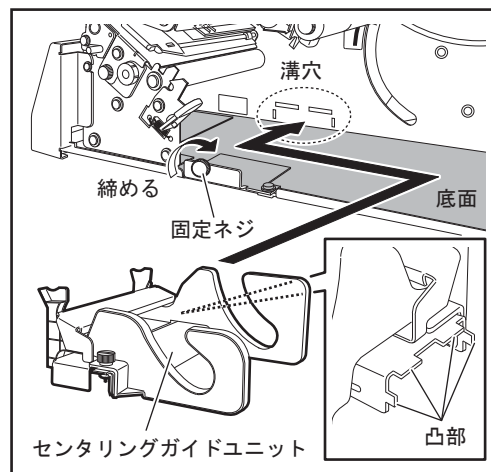
13 スパイクローラと送りローラを清掃します。

スパイクローラに付着した紙粉をハブラシ等で除去します。
送りローラは、イソプロピルアルコールを浸した布で軽く拭きます。



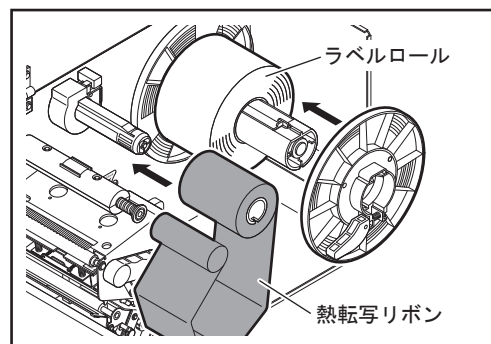
14 本機の底面の汚れを拭き取り、センタリングガイドユニットを元どおりに取り付けます。

フレーム奥面の溝穴にセンタリングガイドユニットの凸部を差し込んで固定ネジを締めます。



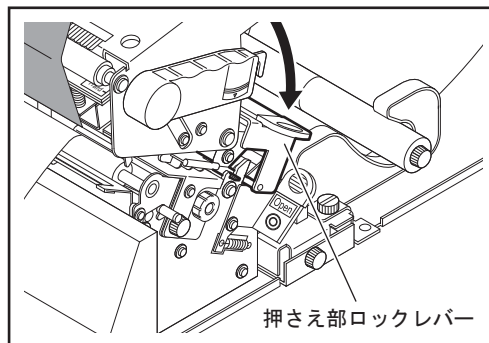
熱転写リボンの取り付けについてはP.1-10「1.4.1 熱転写リボンの取り付け」の手順6～10、ラベルロールの取り付けについてはP.1-14「1.5.1 ラベルロールの取り付け」の手順6～11をご覧ください。

15 ラベルロールと熱転写リボンを取り付けます。



16 押さえ部を固定します。

押さえ部をロック方向に下げ、「カチッ」と音がすると固定されます。

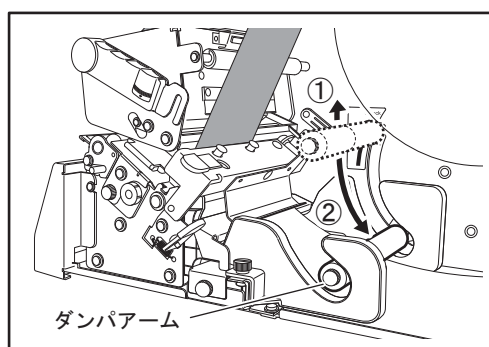


⚠ 注意

解除時、むりやり下に引き下げないでください。

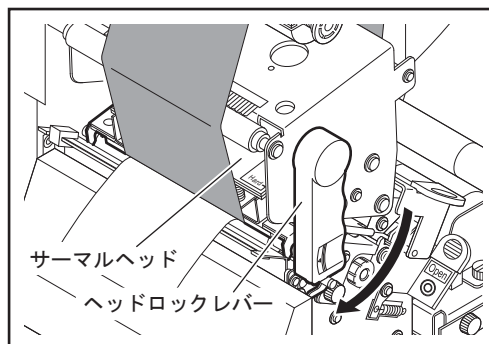
17 ダンパアームを下ろします。

ダンパアームを上限まで持ち上げると、「カチッ」と音がしてロックが解除されますので、手を沿えながらダンパアームを下ろします。

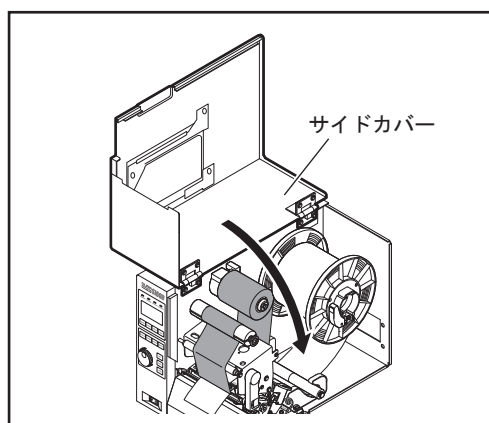


18 ヘッドロックレバーをロック方向へ下げます。

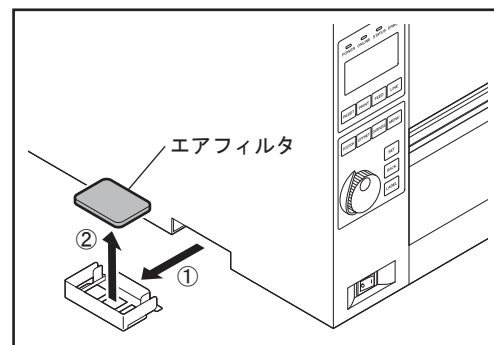
サーマルヘッドが下がります。



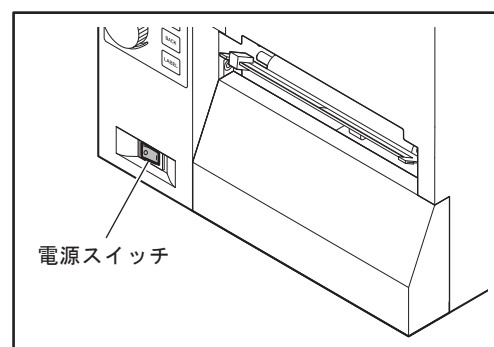
19 サイドカバーを閉じます。



- 20** エアフィルタを清掃します。
エアフィルタを取り外して水洗いし、よく乾燥させて元どおりに取り付けます。



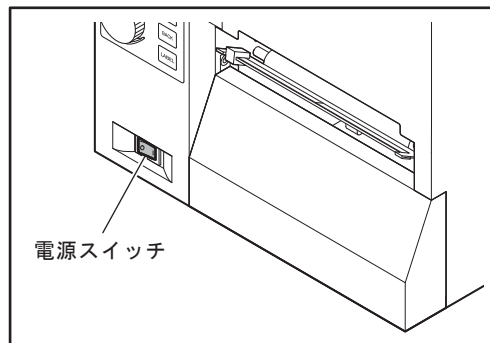
- 21** 電源スイッチの「**|**」側を押して、電源をONにします。
POWERランプが点灯し、本機が起動します。



4.2 サーマルヘッドの交換

ここでは、サーマルヘッドの交換方法について説明します。

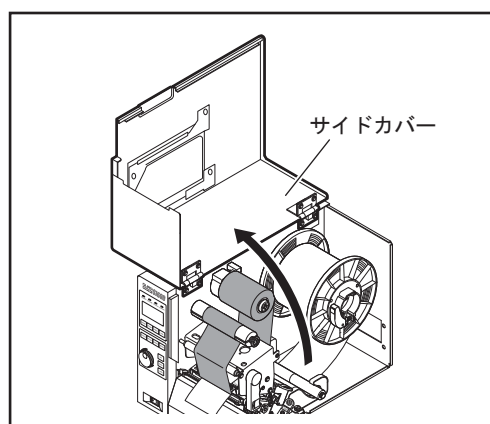
- 1 電源スイッチの「○」側を押して、電源をOFFにします。
POWERランプが消灯し、電源が切れます。



⚠ 注意

サイドカバーは、カバー上面と本体がくっつくまで完全に開いてください。途中まで開いた状態や開閉途中で手をはなすと、カバーが倒れてケガや故障の原因となります。

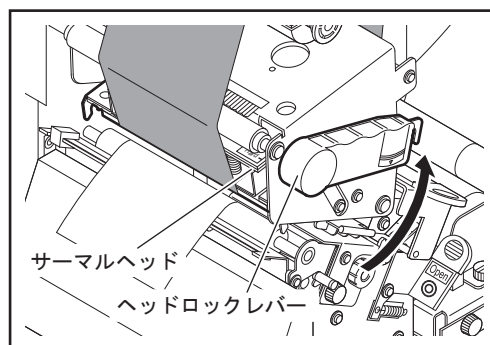
- 2 サイドカバーを開きます。



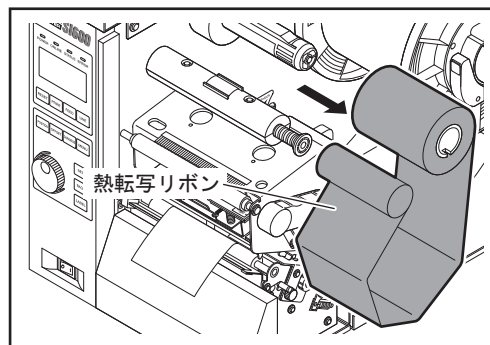
⚠ 注意

ヘッドロックレバーを操作するとき、サーマルヘッドが上下する箇所に指、手を置かないでください。
ケガの原因となります。

- 3 ヘッドロックレバーをフリー方向へ上げます。
サーマルヘッドが上がります。



- 4 熱転写リボンを取り外します。



熱転写リボンの取り外しについては、P.1-10「1.4.1 熱転写リボンの取り付け」の手順4～5をご覧ください。



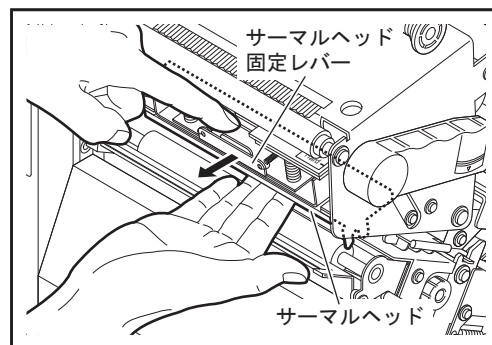
感熱ラベルをご使用の場合は、次の手順に進みます。

▲ 注意

サーマルヘッドの発熱部を素手で触れないでください。
印字不良の原因となります。

5 サーマルヘッドを手で支えながら、サーマルヘッド固定レバーを手前に引きます。

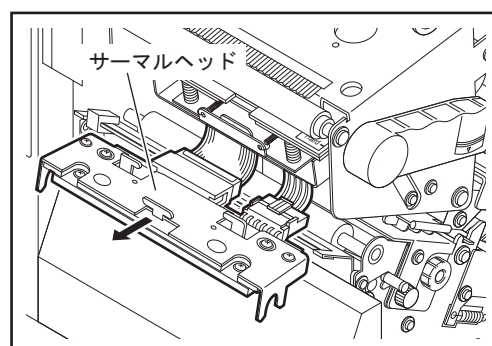
サーマルヘッドが外れます。



▲ 注意

ハーネスを強く引っ張らないでください。

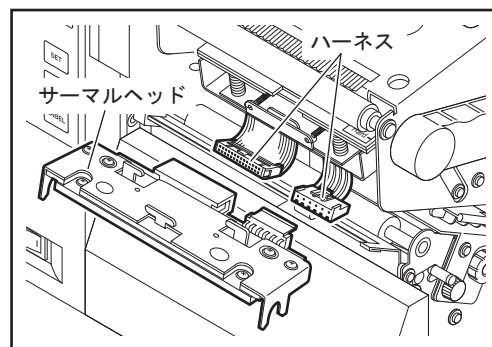
6 サーマルヘッドを慎重に引き出します。



▲ 注意

ハーネスが熱転写リボンに触れない位置に戻してください。

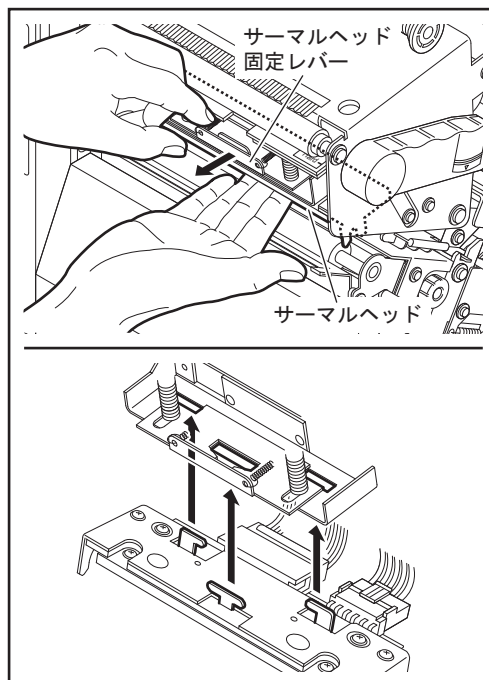
7 ハーネスを外し、新しいサーマルヘッドを取り付けます。



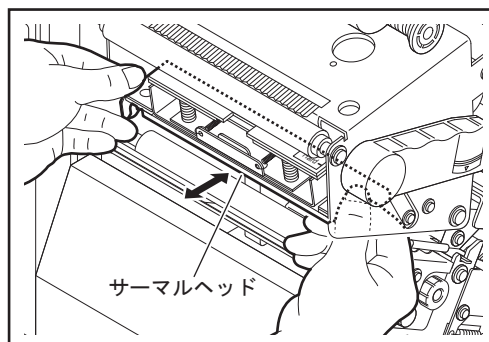
▲ 注意

サーマルヘッドの発熱部を素手で触れないでください。印字不良の原因となります。

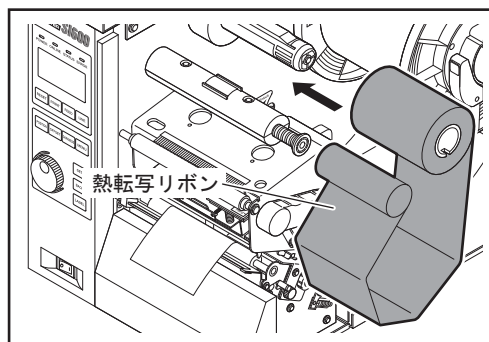
- 8** サーマルヘッド固定レバーを手前に引き、サーマルヘッドを手で支えながら、爪を差し込みます。
爪が差し込めたら、サーマルヘッド固定レバーを戻します。



- 9** サーマルヘッドを前後に動かします。
「カチッ」と入るまで前後に動かし、スムーズに動くことを確認してください。

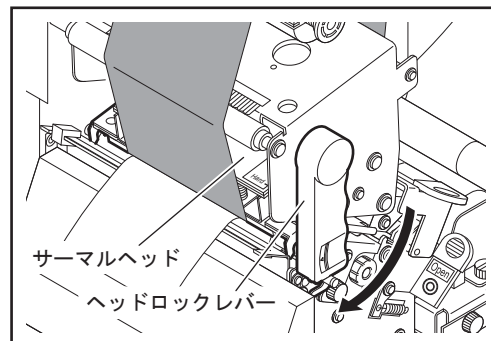


- 10** 熱転写リボンを取り付けます。

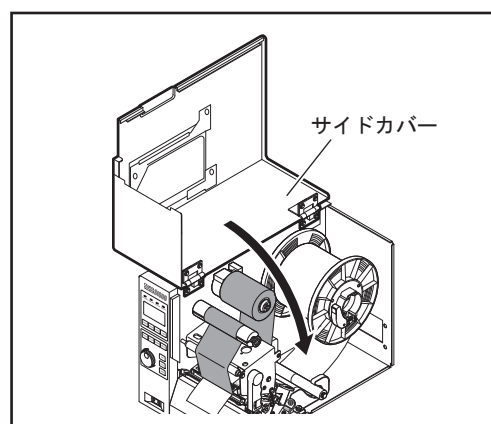


熱転写リボンの取り付けは、P.1-10「1.4.1 熱転写リボンの取り付け」の手順6～10をご覧ください。

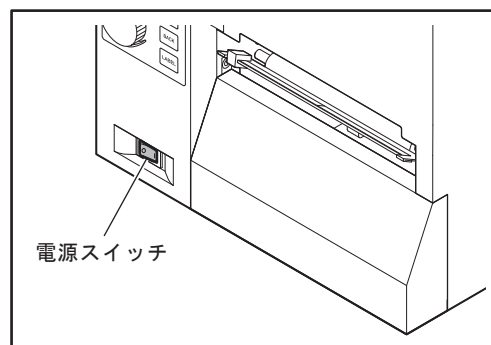
- 11** ヘッドロックレバーをロック方向へ下げます。
サーマルヘッドが下がります。



- 12** サイドカバーを閉じます。



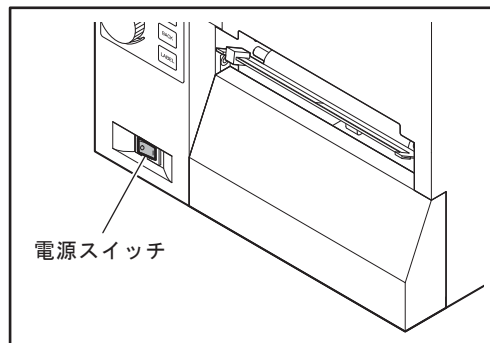
- 13** 電源スイッチの「|」側を押して、電源をONにします。
POWERランプが点灯し、本機が起動します。



4.3 プラテンローラの交換

ここでは、プラテンローラの交換方法について説明します。

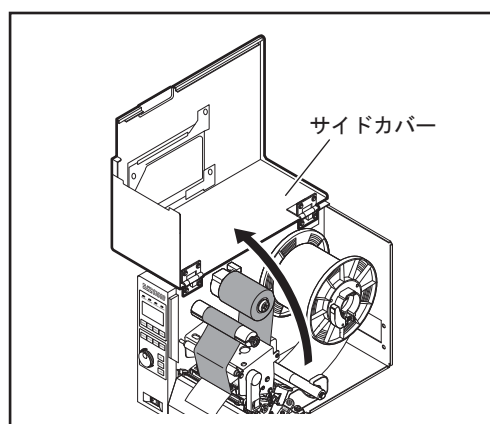
- 1 電源スイッチの「O」側を押して、電源をOFFにします。
POWERランプが消灯し、電源が切れます。



⚠ 注意

サイドカバーは、カバー上面と本体がくっつくまで完全に開いてください。途中まで開いた状態や開閉途中で手をはなすと、カバーが倒れてケガや故障の原因となります。

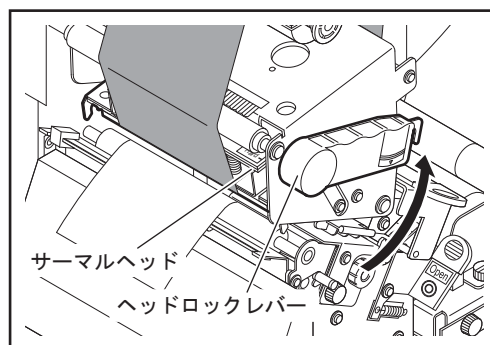
- 2 サイドカバーを開きます。



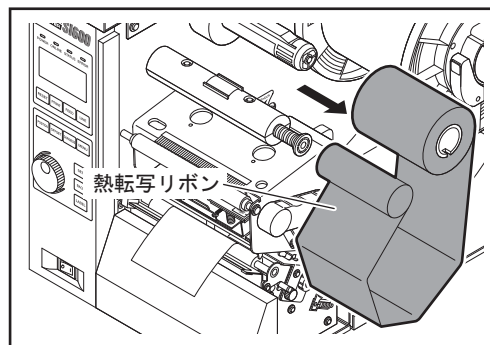
⚠ 注意

ヘッドロックレバーを操作するとき、サーマルヘッドが上下する箇所に指、手を置かないでください。ケガの原因となります。

- 3 ヘッドロックレバーをフリー方向へ上げます。
サーマルヘッドが上がります。



- 4 熱転写リボンを取り外します。



参照

熱転写リボンの取り外しについては、P.1-10「1.4.1 熱転写リボンの取り付け」の手順4～5をご覧ください。



参考

感熱ラベルをご使用の場合は、次の手順に進みます。

▲ 注意

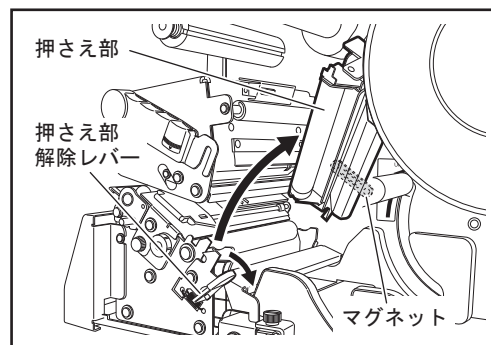
押さえ部を開いた後は、マグネットできちんと固定されていることを確認してください。開閉途中で手を離すと、押さえ部が倒れてケガの原因となります。

▲ 注意

プラテンローラの周囲の突起物で手や指を切らないよう注意してください。

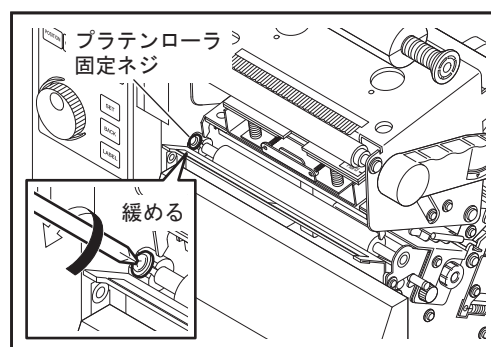
5 押さえ部を解除状態にします。

- ① 押さえ部解除レバーを押し、押さえ部を解除状態にします。
- ② 押さえ部を上げてマグネットで固定します。



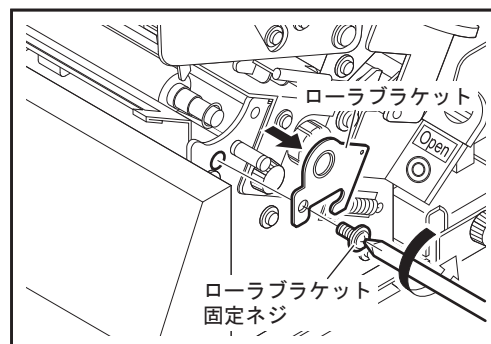
6 プラテンローラの固定ネジを緩めます。

プラスドライバーでプラテンローラ固定ネジを緩めます。このとき、プラテンローラ固定ネジが作業できる方向に向いていない場合は、プラテンローラを手で回します。

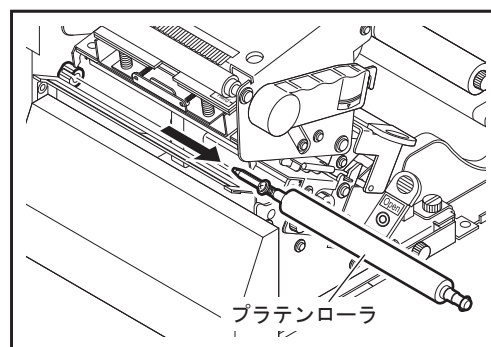


7 ローラブラケットを取り外します。

プラスドライバーでローラブラケット固定ネジを外し、ローラブラケットを取り外します。

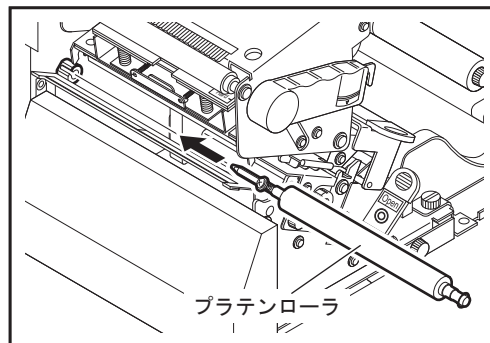


8 プラテンローラを引き抜きます。

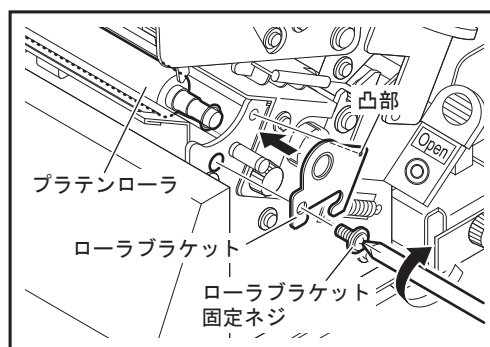


交換用のプラテンローラには、あらかじめプラテンローラ固定ネジが付いています。プラテンローラを引き抜くときは、プラテンローラ固定ネジも一緒に取り外してください。

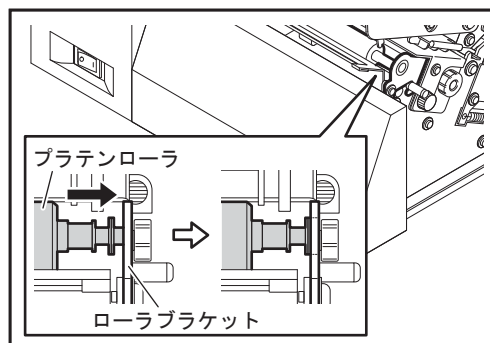
- 9** 新しいプラテンローラを差し込みます。



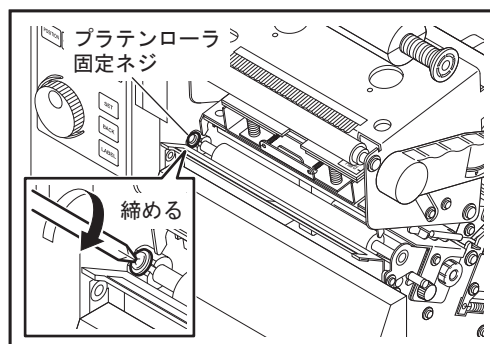
- 10** ローラブラケットを手順7で外したローラブラケット固定ネジで取り付けます。
ローラブラケットの凸部を穴に合わせて固定してください。



- 11** ローラブラケットの穴に回転基部がはまるように、プラテンローラをローラブラケット方向に押し込みます。



- 12** プラテンローラ固定ネジを締め付けます。

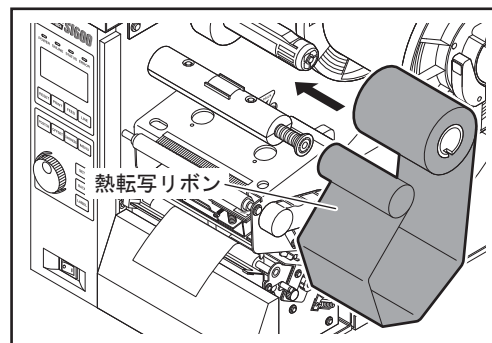




参照

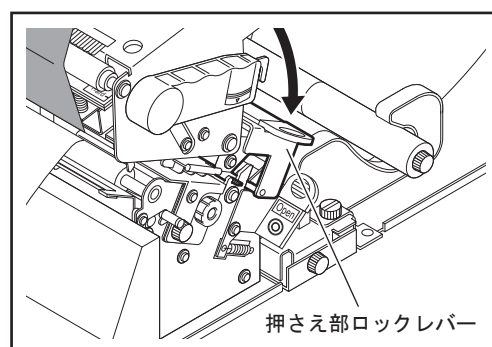
熱転写リボンの取り付けについてはP.1-10「1.4.1 熱転写リボンの取り付け」の手順6～10をご覧ください。

13 熱転写リボンを取り付けます。



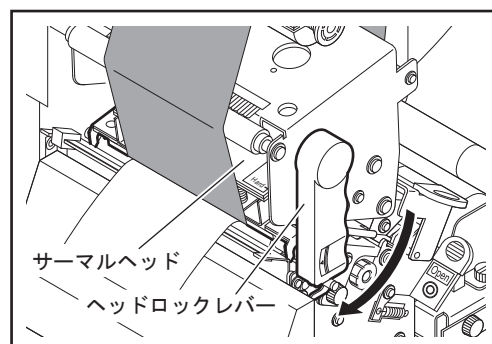
14 押さえ部を固定します。

押さえ部をロック方向に下げ、「カチッ」と音がすると固定されます。

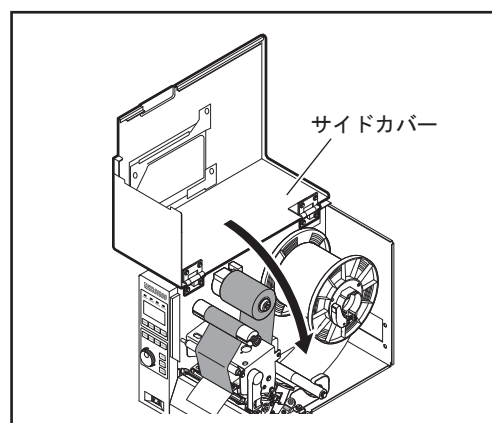


15 ヘッドロックレバーをロック方向へ下げます。

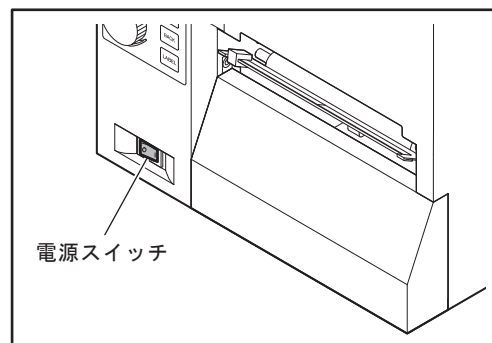
サーマルヘッドが下がります。



16 サイドカバーを閉じます。



- 17** 電源スイッチの「|」側を押して、
電源をONにします。
POWERランプが点灯し、本機が起動しま
す。



第5章

オプションユニットの 取り付けと取り外し

オプションユニットの取り付けと取り外し方法について説明しています。

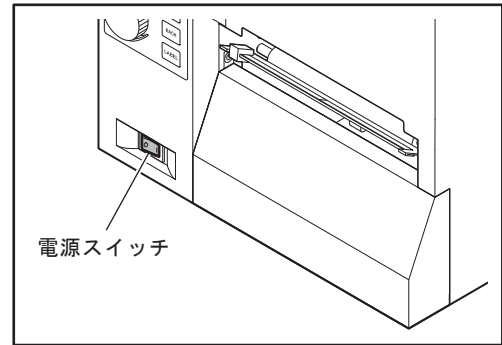
- 5.1 インターフェースの取り付けと取り外し 5-2
- 5.2 CFカードスロットの取り付けと取り外し 5-4
- 5.3 カッタユニットの取り付けと取り外し 5-5
 - 5.3.1 カッタユニットへのラベルロールの通し方 5-7
- 5.4 剥離ユニットの取り付けと取り外し 5-8
 - 5.4.1 剥離ユニットへのラベルロールの通し方 5-10

5.1 インターフェースの取り付けと取り外し

インターフェースの取り付けおよび設定方法について説明します。

インターフェースのオプションには、LAN、USB、RS-232Cの3種類があります。

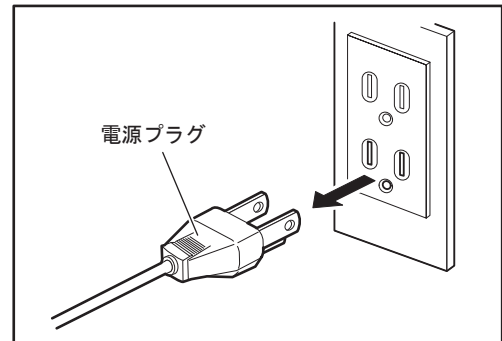
- 1 電源スイッチの「O」側を押して、電源をOFFにします。
POWERランプが消灯し、電源が切れます。



警告

必ず、電源プラグをコンセントから抜いてください。ケガや故障の原因となります。

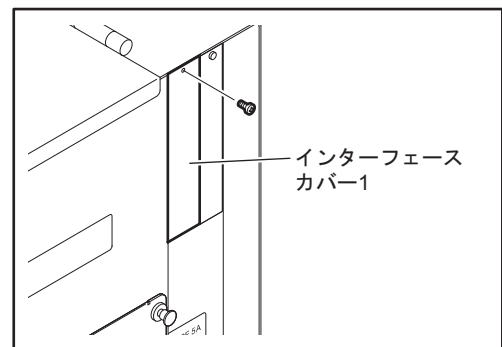
- 2 電源プラグをコンセントから抜きます。



注意

外したネジは、オプションのインターフェースボードの取り付けに使用します。なくさないように注意してください。

- 3 本機背面にて、ネジ1本を外してインターフェースカバー1を取り外します。



▲ 注意

インターフェースボードは、確実に差し込んでください。差し込みがゆるいと、認識されません。

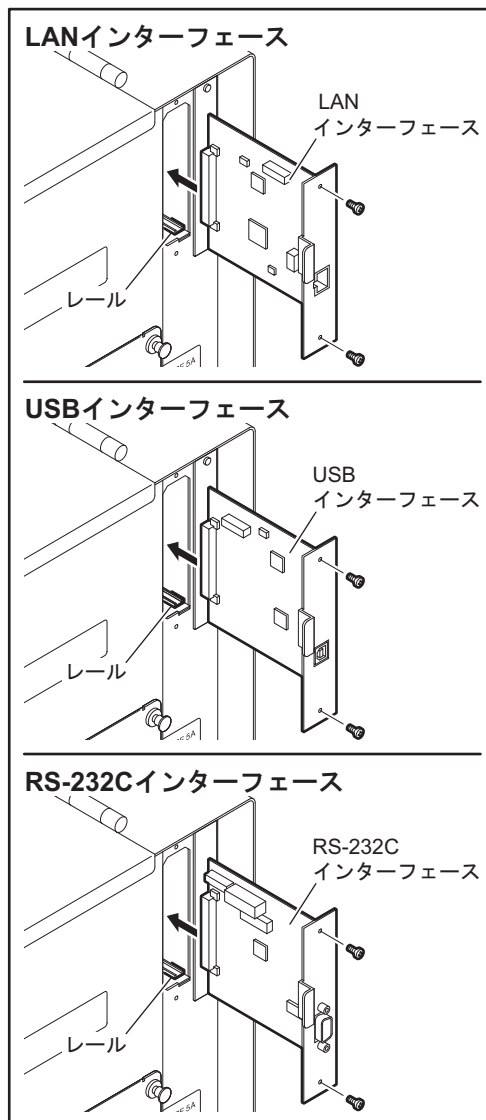
4 インターフェースボードをレールに沿って差し込み、付属のネジと手順3で外したネジで取り付けます。

5 インターフェースの通信設定を行います。

インターフェースの設定については、P.3-65「3.5 インターフェースモードの操作」をご覧ください。

<取り外し手順>

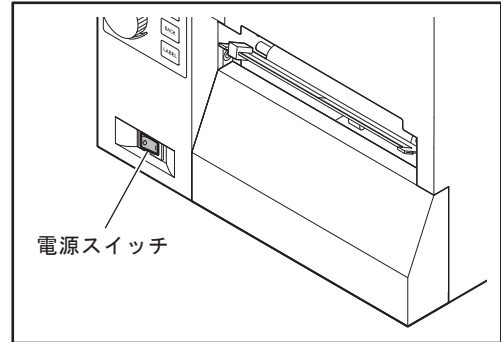
手順4より、取り付け作業の逆の手順で作業を行ってください。



5.2 CFカードスロットの取り付けと取り外し

CFカードスロットの取り付け方法について説明します。

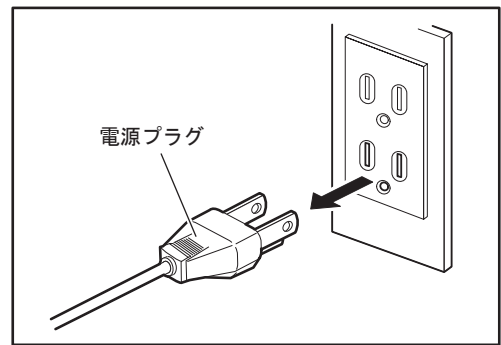
- 1 電源スイッチの「O」側を押して、電源をOFFにします。
POWERランプが消灯し、電源が切れます。



警告

必ず、電源プラグをコンセントから抜いてください。ケガや故障の原因となります。

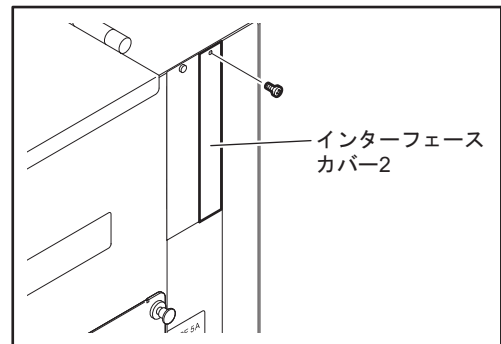
- 2 電源プラグをコンセントから抜きます。



注意

外したネジは、オプションのインターフェースボードの取り付けに使用します。なくさないように注意してください。

- 3 本機背面にて、ネジ1本を外してインターフェースカバー2を取り外します。



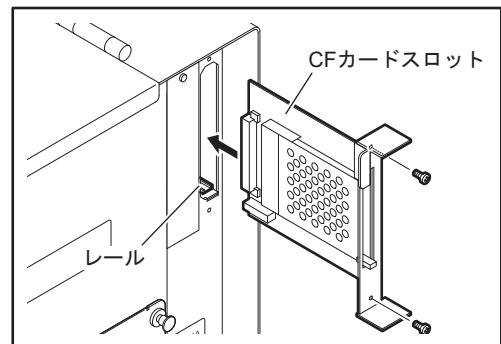
注意

CFカードスロットは、確実に差し込んでください。差し込みがゆるいと、認識されません。

- 4 CFカードスロットをレールに沿って差し込み、付属のネジと手順3で外したネジで取り付けます。

<取り外し手順>

手順4より、取り付け作業の逆の手順で作業を行ってください。



5.3 カッタユニットの取り付けと取り外し

カッタユニットの取り付け方法について説明します。

▲ 注意

電源をOFFにする前に、印刷が終了していることを確認してください。印刷残枚数が“0”になっていないときは、印刷が終了していません。

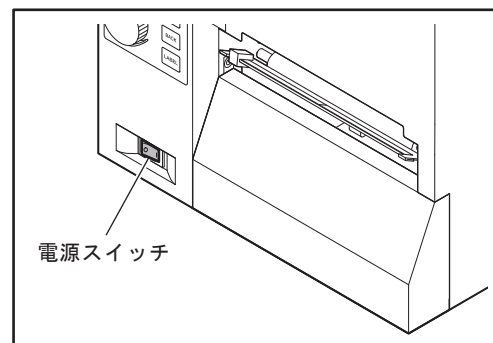
▲ 警告

必ず、電源プラグをコンセントから抜いてください。ケガや故障の原因となります。

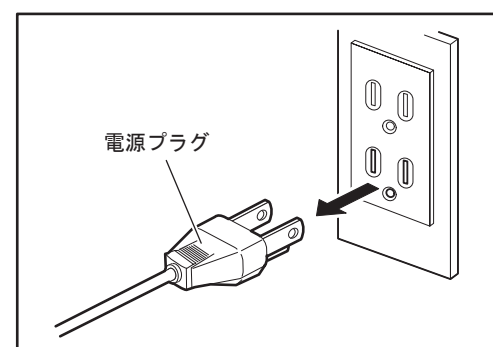
▲ 注意

サイドカバーは、カバー上面と本体がくっつくまで完全に開いてください。途中まで開いた状態や開閉途中で手を離すと、カバーが倒れてケガや故障の原因となります。

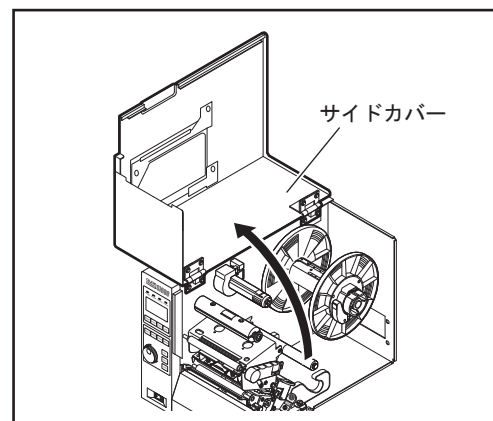
- 1 電源スイッチの「O」側を押して、電源をOFFにします。
POWERランプが消灯し、電源が切れます。



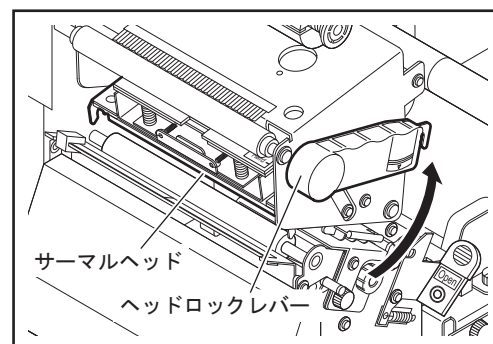
- 2 電源プラグをコンセントから抜きます。



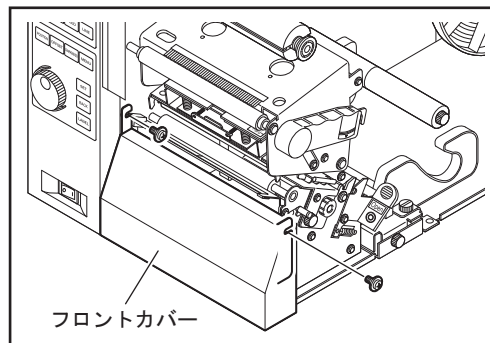
- 3 サイドカバーを開きます。



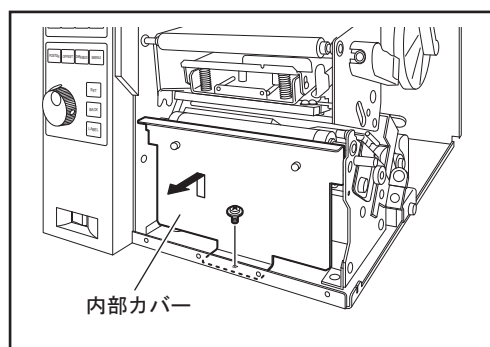
- 4 ヘッドロックレバーをフリー方向へ上げます。
サーマルヘッドが上がります。



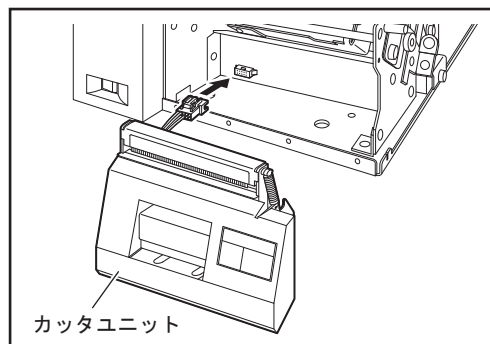
- 5** ネジ2本を外して、フロントカバーを取り外します。



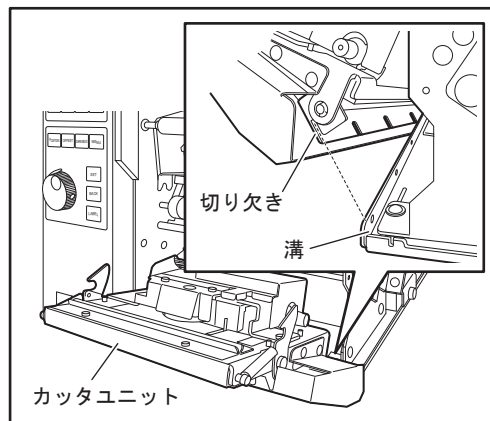
- 6** ネジ1本を外して、内部カバーを取り外します。



- 7** カッターユニットのコネクタを接続します。



- 8** カッターユニット下部の切り欠きを本機の溝に差し込みます。

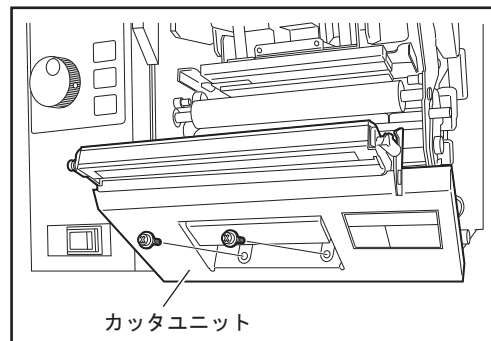


9 カッタユニットを付属のネジ(2本)で取り付けます。

ネジ穴が見えにくい場合は、カッタユニットを浮かせてください。

<取り外し手順>

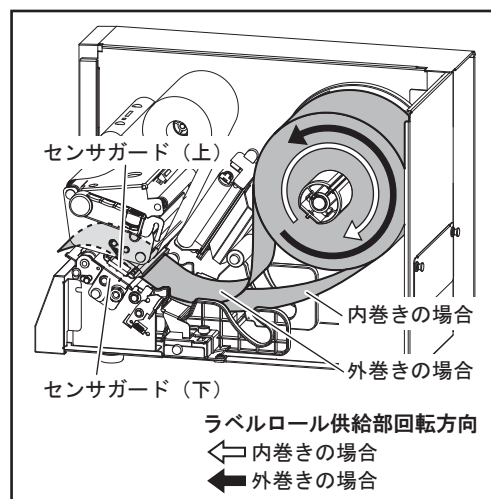
手順9より、取り付け作業の逆の手順で作業を行ってください。



引き続き、P.1-14「1.5 ラベルロールの取り付け」をご覧ください。ラベルロールを取り付けてください。

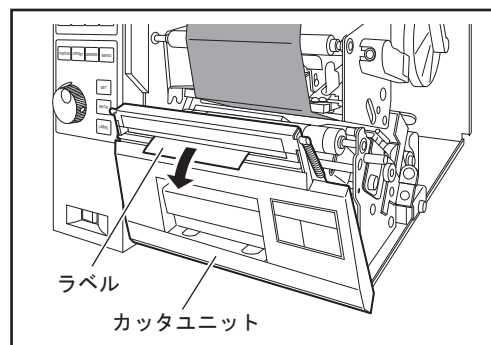
注 記

ラベルロール先端は、サーマルヘッドまで通した後、以下の手順に従ってカッタユニットに通してください。

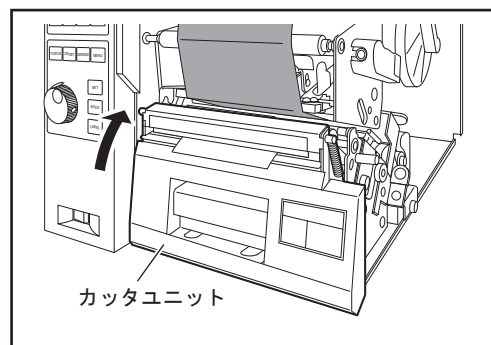


5.3.1 カッタユニットへのラベルロールの通し方

1 カッタユニットを起し、カッタユニットにラベルを通します。



2 カッタユニットを閉じます。カッタユニットを奥側に押し込んだときに「カチッ」と音がすると固定されます。



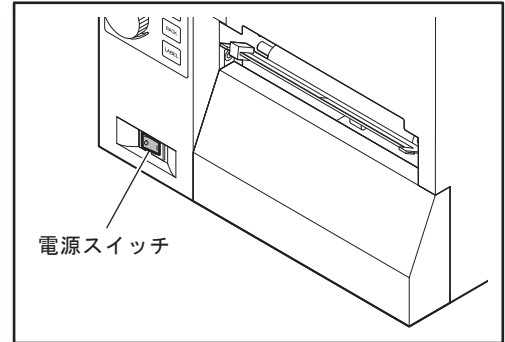
5.4 剥離ユニットの取り付けと取り外し

剥離ユニットの取り付け方法について説明します。

⚠ 注意

電源をOFFにする前に、印刷が終了していることを確認してください。印刷残枚数が“0”になっていないときは、印刷が終了していません。

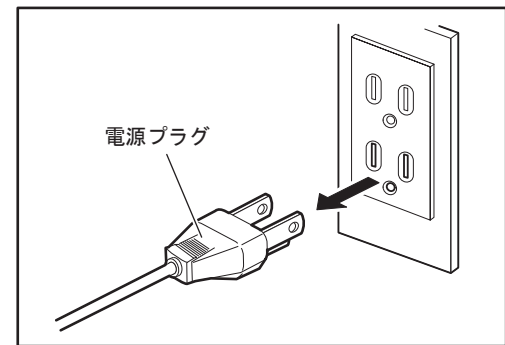
- 1 電源スイッチの「O」側を押して、電源をOFFにします。
POWERランプが消灯し、電源が切れます。



⚠ 警告

必ず、電源プラグをコンセントから抜いてください。ケガや故障の原因となります。

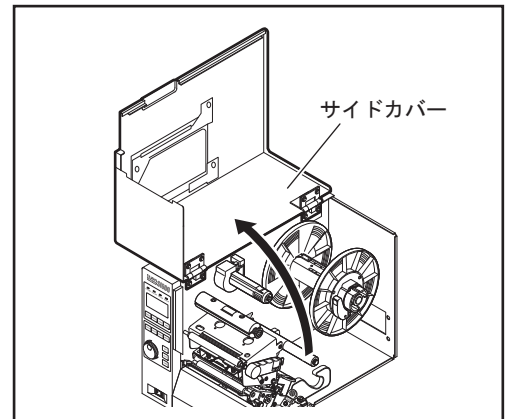
- 2 電源プラグをコンセントから抜きます。



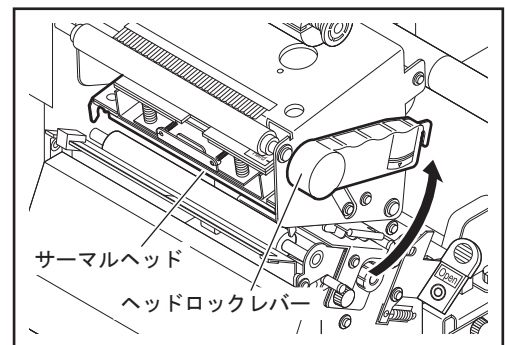
⚠ 注意

サイドカバーは、カバー上面と本体がくっつくまで完全に開いてください。途中まで開いた状態や開閉途中で手を離すと、カバーが倒れてケガや故障の原因となります。

- 3 サイドカバーを開きます。



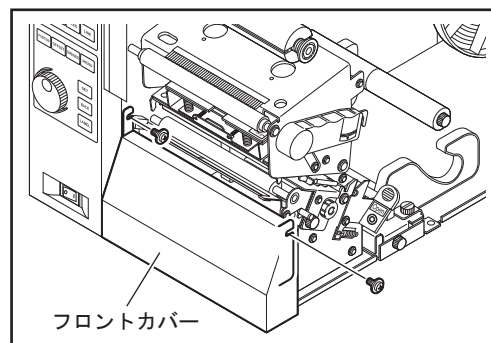
- 4 ヘッドロックレバーをフリー方向へ上げます。
サーマルヘッドが上がります。



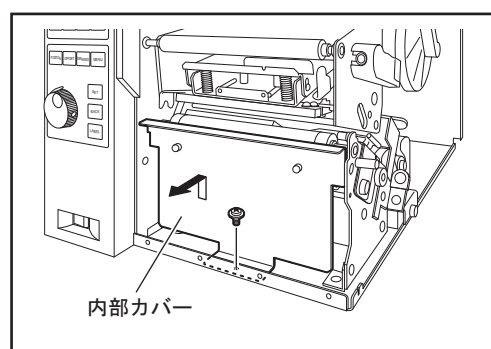
▲ 注意

外したネジ(A)は、剥離ユニットの取り付けに使用しますのでなくさないように注意してください。

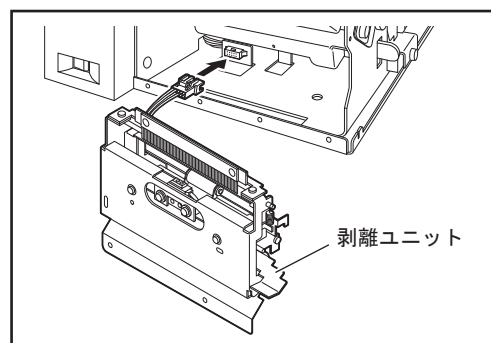
- 5** ネジ2本を外して、フロントカバーを取り外します。



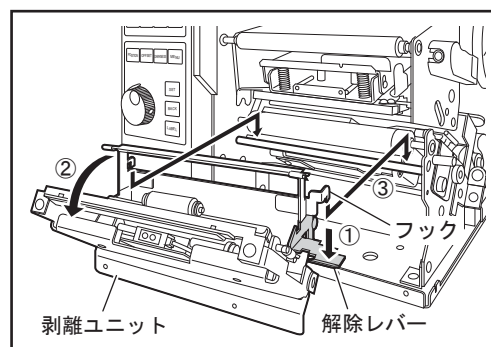
- 6** ネジ1本を外して、内部カバーを取り外します。



- 7** 剥離ユニットのコネクタを接続します。

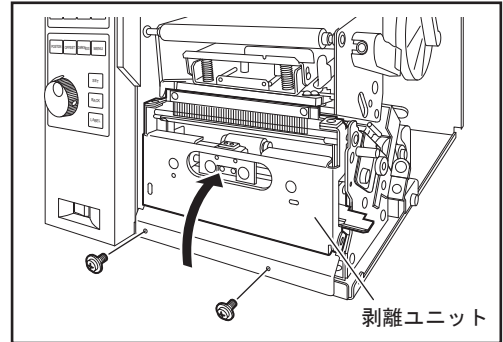


- 8** 解除レバーを押して剥離ユニットを開き、フック(2箇所)を本機に引っ掛けます。



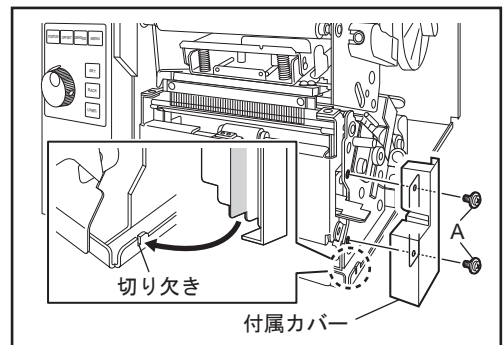
9 剥離ユニットを閉じ、付属のネジ(2本)で取り付けます。

剥離ユニットを奥側に押し込んだときに「カチッ」と音がすると固定されます。その後、付属のネジで固定してください。



10 付属のカバーを本機右側の切り欠きから差し込み、手順5で外したネジ(A)で取り付けます。

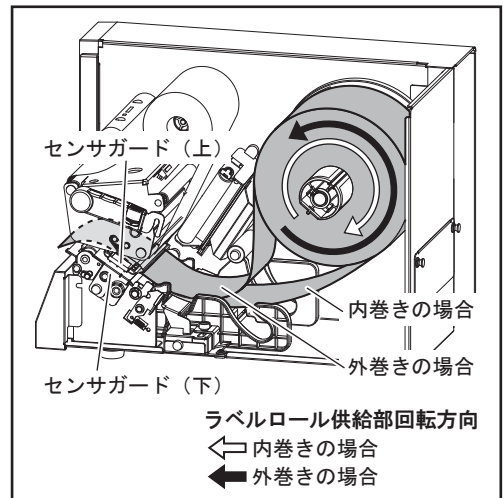
<取り外し手順>
手順10より、取り付け作業の逆の手順で作業を行ってください。



引き続き、P.1-14「1.5 ラベルロールの取り付け」をご覧ください。

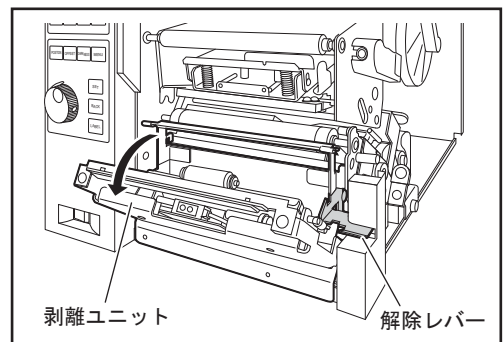
注 記

ラベルロール先端は、サーマルヘッドまで通した後に、以下の手順に従って剥離ユニットに通してください。



5.4.1 剥離ユニットへのラベルロールの通し方

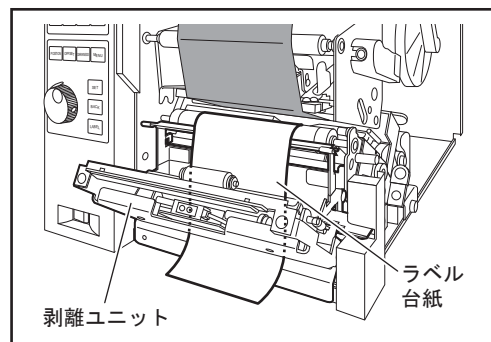
1 解除レバーを押して剥離ユニットを開きます。



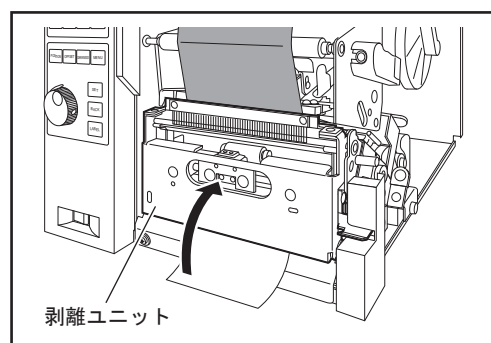
▲ 注意

ラベル台紙は、張った状態でセットしてください。
ゆるんでいると、正常に剥離できません。

- 2** 剥離ユニットにラベル台紙を通します。



- 3** 剥離ユニットを閉じます。
剥離ユニットを奥側に押し込んだときに「カチッ」と音がすると固定されます。





A series of horizontal dotted lines for writing, spanning the width of the page below the pen nib illustration.

第6章

付録

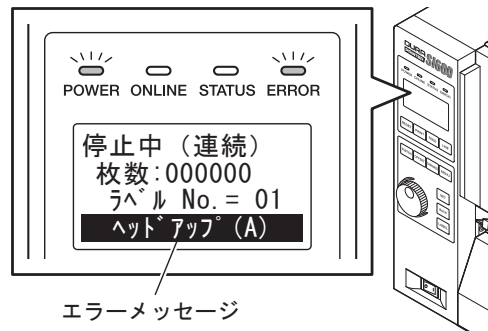
エラーメッセージが表示されたとき、およびその他のトラブルが発生したときの対処方法について説明しています。

また、仕様一覧表と出荷設定値一覧表も掲載しています。

6.1 エラーの対処方法	6-2
6.2 仕様.....	6-4
6.3 出荷設定値一覧.....	6-5

6.1 エラーの対処方法

本機はエラー状態になるとLCDにエラーメッセージが表示されます。
 また、表示と同時にブザーが鳴動し、ERRORランプが点灯します。
 ここではエラーメッセージ、要因、対処方法について説明します。



エラーメッセージ	原因	対策
ヘッドアップ(A)	1. ヘッド部がロックされていません。 2. ヘッド開閉検知用マイクロスイッチの異常です。	ヘッドロックレバーをロック方向へ下げてください。
送りローラーアップ(B)	押さえ部がロックされていません。	押さえ部ロックレバーをロック方向へ下げてください。
ダンパアップ(C)	ダンパアームが開放されています。	ダンパアームを下げてください。
ラベル終了	1. ラベル、用紙がありません。 2. ラベル、用紙が正しくセットされていません。	ラベル、用紙を正しくセットし、 FEED を押してください。
ラベルサイズエラー	ラベルの頭出しが正常に行われていません。	FEED を押し、ラベルを 2~3 枚フィードしてください。
リボン終了	1. リボンがありません。 2. リボンが切れています。	1. リボンを正しくセットして FEED を押しください。 2. リボン搬送ルート of 清掃を行ってください。
カッタエラー	1. カッタ部でラベル、用紙詰まりが発生しました。 2. カッタ刃が所定の位置に戻っていません。	1. 電源を切ってください。 2. カッタ部を清掃してください。 3. 電源を再投入してください。
ヘッド破損	ヘッドのドットに破損があります。	ヘッドを交換してください。 LINE を押し、オンライン状態になります。以降、電源が再投入されるまで、そのドットについての破損は検出しません。
ヘッド加熱	印字中にヘッドの温度が上昇し、加熱状態になっています。	印字が中断されますが、ヘッドの温度が 60 度以下になると、自動的に印字が再開されます。
ファン停止	本体内部のファンが停止しています。	一旦、電源を切ってから再投入してください。それでもエラーが出る場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
受信バッファオーバー	1. 受信バッファを超えるデータを受信しました。 2. 通信プロトコルが合っていません。	通信プロトコルに合うようにシステムを修正してください。

エラーメッセージ	原因	対策
パリティエラー	RS-232C の通信設定が合っていません。	通信条件を確認し、通信条件を合わせてください。
フレーミングエラー	1. RS-232C の通信設定が間違っています。 2. ケーブル接続異常です。 3. ケーブルの種類が違います。	1. 通信条件を確認し、正しく設定してください。 2. ケーブルの接続を確認してください。 3. インターリンクケーブルであることを確認してください。
ヘッド密度エラー	1. サーマルヘッドが装着されていません。 2. ヘッド密度が違うなど、非対応のヘッドが装着されています。	1. 電源を切ってサーマルヘッドを装着してください。 2. 対応しているサーマルヘッドを装着してください。
ヘッドの種類が違います。ヘッドを交換してください。	ヘッド密度が違うなど、非対応のヘッドが装着されています。	対応しているサーマルヘッドを装着してください。
種類が違います。どれかのキーでバージョンアップモードになります。	ファームウェアが機種に合っていません。	機種に見合ったファームウェアにバージョンを更新してください。

●どうしても解決できないときは

どうしてもトラブルの原因がわからないときや、元の状態に戻せないときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。そのときに、事前に次のことを確認して、サービスマンに伝えられるようにしておいてください。

- 装置の機種名
- ご使用条件
- 現象(どのような環境で使用していたのか、何をしているときに何が起きたか、画面にどのようなメッセージが表示されたか)
- トラブルの発生日時

6.2 仕様

■プリンタ標準仕様

商品名	DURA PRINTER SI600	
印字方式	熱転写・ダイレクトサーマル方式兼用	
通信バッファ	4MB	
印字密度	24 dot/mm	
印字幅(最大)	109 mm	
印字長(最大)	400 mm	
印字速度(最大)	150 mm/秒	
用紙厚	0.06~0.268 mm	
ラベルサイズ	ラベル幅 : 15~128 mm 台紙幅 : 18~131 mm 最小ラベル長 (最小ピッチ) : 連続: 5 mm (7.5 mm)、剥離: 5 mm (7.5 mm)、 カッタ: 11 mm (20 mm)、ティアオフ: 5 mm (7.5 mm)	
用紙形態	ロール紙 : 最大外径 180 mm 紙管内径 2 インチまたは 3 インチ 内外巻	
リボン	最大リボン幅 : 120 mm (※1) 最大外径 : 80 mm 巻き方向 : 内外巻き兼用 リボン紙管内径 : 1 インチ ※1 ラベル台紙幅+5~30 mm の事。但し台紙幅が 111~131 mm の場合、リボン幅は 120 mm を使用の事。	
文字種類	英数・記号 カタカナ フォント	X20 5 × 9ドット X21 17 × 17ドット X22 24 × 24ドット X23 48 × 48(太)ドット X24 48 × 48(細)ドット
	漢字フォント	16 × 16ドット JIS 第 1、第 2 水準 (明朝体、ゴシック体) 22 × 22ドット JIS 第 1、第 2 水準 (明朝体、ゴシック体) 24 × 24ドット JIS 第 1、第 2 水準 (明朝体、ゴシック体) 32 × 32ドット JIS 第 1、第 2 水準 (明朝体、ゴシック体) 40 × 40ドット JIS 第 1、第 2 水準 (明朝体、ゴシック体)
	アウトライン フォント	ゴシック体(英数、記号、カタカナ)
	OCR-A	44 × 66ドット
	OCR-B	64 × 72ドット
	1次元シンボル	JAN/EAN-8、JAN/EAN-13、UPC/A、UPC/E、Code39、Code128、 UCC/EAN-128、ITF、NW-7
2次元シンボル	QR、マイクロ QR、PDF417、Maxi コード、Data Matrix	
外形寸法	W275 × D435 × H325 mm	
重量 (ラベル、リボン、オプション を含まず)	約 20 kg	
電源	入力電源	AC100~240 V(±10%) 50/60 Hz
	消費電力	最大値 印刷時: 180 W 待機中: 25 W 以下
使用環境	温度 5~35 °C 湿度 20~80%(結露なきこと)	
オプション	ユニット	カッタユニット、剥離ユニット、外部接点ユニット
	インターフェ ースボード	LAN ボード(10BASE-T/100BASE-TX)、USB ボード(Ver2.0)、 RS-232C ボード(最大 115.2 Kbps)、PCMCIA ボード
通信ケーブル	USB ケーブル、LAN ケーブル、RS-232C ケーブル ※ 通信ケーブルについては、お客様でご準備ください。ケーブルの仕様については、 別途インターフェースマニュアルをご参照ください。	

6.3 出荷設定値一覧

■ラベルセットモード

ラベル No	01	
プリンタモード	連続	
カット位置	0.000 mm	
ハクリ位置	0.000 mm	
ハクリ時間	100 msec	
ティアオフ位置	0.000 mm	
停止位置	0.000 mm	
印字方法	転写	
ラベルサイズ	幅	109.000 mm
	長さ	—(※)
	ピッチ	—(※)
	自動測長	有効
ラベルセンサ	透過 1	
透過 1 センサ調整	光量	—(※)
	しきい値	140
透過 2 センサ調整	光量	—(※)
	しきい値	140
反射 1 センサ調整	光量	—(※)
	しきい値	100
反射 2 センサ調整	光量	—(※)
	しきい値	100
ラベル検出位置	先端	
印字速度	50 mm/s	
印字濃度	95%	
プラテン調整	100.0%	
QR コード印字	標準	
連続紙仕様	連続紙仕様	無効
	ページ間ギャップ	0.0 mm
基点開始位置補正	幅	0.000 mm
	長さ	0.000 mm
指定印字条件	有効	
ティアオフ時間	0 msec	
パルス分割印字	有効	
ラベル・リボン組合せ	0	
ラベルスキップ	無効	

※ 調整値のため、本体ごとに設定値が異なります。

■アドバンスモード

カットのバックフィード		印字前
漢字コード		SJIS
ゼロスラッシュ		しない
漢字フォント		ゴシック
印字濃度調整	「1」の値	50%
	「2」の値	60%
	「3」の値	70%
	「4」の値	80%
	「5」の値	95%
ヘッドチェック		有効
オンライン起動		する
起動時紙送り		しない
エラー時再発行		する
発行ログ機能		無効
単体発行機能		無効
JAN の可読文字		小文字
外部信号		無効
総走行距離		-(※)
ヘッド走行距離		-(※)
プラテン走行距離		-(※)
カット動作回数		-(※)
座標補正		ノーマル
LCD 輝度調整		-(※)
最終ラベル処理		無効
ブザー音		有効
言語		日本語
暗証番号登録		(設定されていない)
キーロック		無効

※ 調整値のため、本体ごとに設定値が異なります。

■インターフェースモード

プロトコル		ENQ
IP アドレス		127.1.0.0
サブネットマスク		255.255.255.0
ゲートウェイ		0.0.0.0
RS-232C プロトコル		RTS ITEM

